滿洲日報
十二月二日發行
發行人 編輯人 印刷人
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

支那代表の要求せる決議案即時起草否決
臨時總會は來る六日召集可決
聯盟十九ケ國委員會

【ジユネーヴ一日發】國際聯盟十九ケ國委員會は最初秘密會議に入つたが午前十一時二十分公開會議となり

イーマンス議長 余は茲に總會を來る六日に召集する件を提議する、この點については各代表も余の意見に贊成されるものと確信する、又余は理事會議長デ・ヴアレラ氏が右臨時總會においては諸國代表各位が充分その意見を吐露し得る機會を與へらるべきものなる事を聲明せられた事を茲に附言して置きたい、而して本問題を先づ十九ケ國委員會に諮る事なくして直ちに總會を召集せんとする理由は一に日支紛爭は二月十九日の總會の決議によつて總會の審議に附せられ居るに基くものである、余は各位が余のこの提案を承認せられん事を望む

と述べたが、何人も發言するものなく、茲においてイーマンス議長は同氏の提議が可決されたものと認むる旨を宣し、茲に**總會移牒の件は投票を用ひずして可決**された、次いで議長は新加入國たるトルコ代表セマール・ヒユスニー・ベイ氏に對する歡迎の辭を述べ、ベイトルコ代表は之に答へ、次いでイーマンス議長は顏惠慶支那代表よりの最近理事會で採擇されたリットン報告書提出期間六ケ月延長の期限は何時終了するかとの十一月二十九日附照會の書翰を朗讀した、同書翰はその末尾において

愛國の熱情に燃ゆる支那人は不法なる外國人による支配を排擊するため滿洲の地において飽迄日本軍との交戰を續け國民は依然塗炭の苦を受けつゝあり、今やこの外國軍隊による侵略を中止せしむるの絕好の時である

旨を陳述してゐる、イーマンス議長は六ケ月延長期間に關し法理的說明を爲した後、左の如く述べた

若し十九ケ國委員會が同意するならば、余は顏惠慶に對し總會が審議を開始するまでは延長期間を決める事は不可能なる旨を通告するであらう、總會は十九ケ國委員會に先立ち報告書及び日支の意見書を審議すべきものと信ずる

ベネシユ氏（チエツコ代表） 余は總會開會次第速かに右延長期限を定めん事を本委員會に要求する

イーマンス議長 臨時總會は來週より報告書の討議を開始すべく、そこで充分討議したる後、十九ケ國委員會を開いて延長期限を定めて之を總會に提案する、最後的決定を爲す事とならう

モツタ氏（スイス代表） 余は延長期間をなるべく速かに決定せん事を要求する、何となれば之は先例となりその結果は頗る重要であるからである、なほ理事會が報告書を討議しなかつた事を賞讚し總會こそ之を審議すべき適當の機關である

エーデン氏（イギリス代表外務次官） 余は議長の提案に贊意を表す、本委員會成立當時の本來の目的が何であつたにせよ、今それを決定するために審議を遲延せしむる事は出來ぬ、問題の重要性に鑑み吾人は總會の結果を俟つべきである

コンノリイ氏（アイルランド代表） 余は凡ゆる審議遲延の原因を除くべき事を主張する、若し本委員會の決定を俟つて總會で審議すべきものとすれば却つて遲延するかも知れぬ

イーマンス議長 顏惠慶が文書で要求した如く委員會として即時決議文を起草するが如き事は會議を更に遷延せしむる事とならう

と反對意見を述べ、斯くて十九ケ國委員會は顏代表の提出せる

支那政府は十九ケ國委員會が日支紛爭の平和的解決に關し總會に提出すべき決議案を即時起草すべき事を要請す

との要求を否決しイーマンス議長は來る六日午前十一時より臨時總會を開くべき旨を述べ午前十一時五十五分散會した

靜觀、解決遷延の爲め
中間的三處置案

【東京二日發】聯盟の空氣はマツク英首相、サイモン外相、エリオ佛首相、デヴイス米代表ら巨頭のジユネーヴ入りを迎へ漸く動かんとしつゝあるが一兩日來ジユネーヴより到達する情報を綜合するに聯盟側は漸く問題の急速なる解決の不可能なるを認め、殊に大國側の意向は滿洲國靜觀乃至解決遷延に傾いて來て、結局聯盟としてもそこに落つく外あるまいといふのが大體の見透しである、只聯盟として靜觀を決議する譯には行かぬので靜觀期間中の中間的處置が問題となるが、これについては大體次ぎの三方式が考案されてゐるやうである

一、直接交涉勸告案
（イ）日支直接交涉に中立委員をオブザーバーとして出席せしむ
（ロ）直接交涉に對し聯盟側委員は側面より居中調停を爲す
（ハ）聯盟側委員は直接交涉の進捗に對し單に善意の斡旋を爲す

一、調停委員會案
十九國委員會を主體とし米露を加へたる調停委員會を設置し二ケ月位の期間を置いて滿洲國の事態を靜觀すると共にその解決策を考究す

三、現地情報委員會案
報告書執筆後、滿洲において發展せる事態（滿洲國獨立、日本政府の正式承認）等を調査するため現地に主要理事國の外交官を以て組織された情報調査委員會を設置し、聯盟は右委員會の報告に基きリットン報告書と新事態の調和を審議考究することゝする

右三案に對する外務當局の觀測は大體左の通りである

一、直接交涉勸告案は現實の可能性が薄いであらう、蓋し日本は滿洲問題に關する限り**第三國の介入を拒絕すると共に、その交涉には滿洲國代表の參加を主張せねばならぬ**がこれは支那側で承諾すまい

一、調停委員會案は日支兩國を除外し居り如何なる調停案が出來ても日本の既定方針に反する限り絕對受諾出來ぬから**調停委員會を設置することそれ自身無駄である**、第三國介入拒絕の原則からいつても反對せざるを得ぬ

一、現地委員會の設置といふことは有り得べき話で、强ひてこれに反對する要は認めぬ、しかし**右委員會は飽迄帝國政府の原則に抵觸する意味のものであつてはならぬ**

右の如く帝國政府としては滿洲問題の解決は滿洲國獨立の事實を承認する外になしとの原則を堅持するもので、この原則に觸れぬならば敢て無理に反對はせぬ、而も之は政府の讓歩でも妥協でもないとの方針を持してゐる模樣である

天皇陛下陸軍大學校へ行幸

陸軍大學校では天皇陛下の行幸を仰ぎ二十九日午前十時五十五分より第四十四回卒業式を擧行した、今年度卒業生は御優等の閑院宮春仁王殿下をはじめ奉り四十八名にして優等學生に對し軍刀一口づゝ下賜あらせられた、寫眞は優等で御卒業の閑院宮春仁王殿下（前列左から御二人目）

形勢は支那に不利
顧の密電に張學良苦惱

【北平一日發】張學良近親者の洩らす所によれば學良宛ジユネーヴの顧維鈞より來電して

滿洲問題は世間に傳へられる如く日本に不利なものに非ず、恐らくは中國の敗北とならん、我國人は表面に現はれた小國側の同情的態度により樂觀し居るが如し、これは實際を知らざるものである、總會開催さるゝも各國の意見は一致し難く、日本に對し制裁を加ふる如きは到底困難にして結局滿洲事件は遷延して我方に不利なる結果を見るに至らん、貴下は當面の責任者として今後の處置を如何に爲すべきや意見伺ひたし

といつて來たと、これが中國側の對聯盟空氣の眞相と思はれるが、これに對し學良は事重大として近親者と何とか返電すべく協議中であるが未だ何等決せず苦惱しつゝあると

委員會の解決案
日本にとり不滿足

【ジユネーヴ一日發】聯盟特別總會が形式的決議を爲した後、問題を十九ケ國委員會に移すことになつて、問題の前途は樂觀を許さぬ狀態にある、卽ち十九ケ國委員會で審議さるべしと豫想さるゝ解決案は日本に執り滿足し難きものだからである卽ち

一、小國の希望の如くリットン報告第一章より八章迄を採擇し、日本の說明にも納得せざれば最後的決意を爲す外なかるべく
二、九國條約署名國會議をして肩替りせしめんとする案には日本は九國條約に違反せずとの立場より之を一蹴すべく
三、極東關係會議に移す案に對しても日本は第三國の參與に嚴格な制限を附すべく聯盟の希望と一致し難い
四、解決案發見困難な理由に聯盟が議事引延しを策する時は極東の不安定を遷延せしむるを指摘し審議促進を要求する

右は何れも日本側より見て成立困難であるが、日本の立場に近き案は問題を聯盟より切離し聯盟はオブザーバーとして參加する案である、而して之により十九ケ國委員會が大國側の秘密會議と併行し實際解決案に向ひ努力すれば日本の希望に近き解決案を得ることが出來るかも知れぬと一縷の望みが繫がれてゐる

總會では到底解決不可能
聯盟理事會議長語る

【ダブリン一日發】第六十九回理事會議長として活躍したデ・ヴアレラ氏は本日當地に歸着したが語る

六日の總會はリットン報告書を十九ケ國委員會に廻附し、同委員會は報告書に對する決議文を起草し、再度總會に移牒しやうが、總會では日支問題解決は不可能であらう

松岡、マツク兩氏會見重大視さる
總會の大勢に影響

【ジユネーヴ一日發】わが代表部は十九ケ國委員會が豫想通りの經過を辿つたのを見屆け午後二時より代表會議と參與會議の合併會合を開き、總會對策を議したが、實質上の展開はマツク英首相、エリオ佛首相を迎へた後の秘密會議に左右さるゝ處最も大なるためその對策を特に考究した、就中三日夕刻と豫想される松岡代表とマツク首相との初會見は總會の大勢を支配するものとして注目されてゐる

委員會出席代表醜態

【ジユネーヴ一日發】十九ケ國委員會の實際議事は馬蹄型の中央部の議長を圍むエデン（英）ベネシユ（チエツコ）氏外二、三名間で進行、馬蹄型の左右端のパナマ、メキシコ、コロンビア諸國代表等はスヰスのモツタ氏の演說頃から居眠り始め、その中の一人は大く一つお辭儀して醜態の限りを盡し、彼等が如何にこの問題に不熱心なるかを示し十九ケ國委員會組織の缺點を遺憾なく發揮した

演說內容は一定不變
松岡代表語る

【ジユネーヴ一日發】本日イーマンス議長と會見後松岡代表は語る

今朝イーマンス議長と會つたのは儀禮的挨拶を兼ね手續問題につき打合せた、總會召集の事で話し合つたが、細かい事には觸れなかつた、余が總會でなす演說草稿はまだ出來ないが、言葉こそ變れ余の言はんと欲する處は理事會における言と何等變りはない、機會有る毎に日本の立場を說明する方針である

松岡代表休養

【ジユネーヴ一日發】松岡代表は休息旁々總會對策を練るため午後三時半列車で矢田スイス公使、小林代議士同伴スイスの首府ベルンに赴いた、公使館に一泊二日午後歸壽する豫定である

顏代表の書翰
各方面で不評判

【ジユネーヴ一日發】本日の會議に朗讀された支那側の書翰は速かに日支問題の處置を執れ、報告延期の期間を限定せよと力說する外、支那が會議の直前に型の如く滿洲における形勢惡化を高調し威嚇を煽らんとしたものであると觀られてをり、委員會のためはねつけられたが各方面で評判が惡い

英首相等赴壽

【ロンドン一日發】マツク英首相、サイモン外相は午後二時ロンドン發ジユネーヴに向つた

市營住宅借入金
六十萬圓を東拓會社に返濟

大連市では市營住宅建築の際大藏省を通じ東拓會社より借入れた資金の中なほ六十萬圓の債務未濟を有するので、市では遞信省より簡易保險金六十萬圓を借り入れ右返濟に充當すべく交涉中であつたが

今回遞信省では簡易保險金運用委員會を開き協議の結果貸出五十六萬餘圓と査定し本年度內に授受する旨回答し來たので、市ではそれに家賃收入を加算しなほ不足額三萬圓を市の基本財產より借入れ東拓の債務を完濟する事にした、なほ基本財產よりの借入れに關しては來る十四、五日ごろ市會を招集し承認を求める筈

大使館設置費
第二豫備金支出

【東京二日發】大藏省は滿洲國大使館設置費十一萬三千四百七十六圓を昭和七年度第二豫備金支出の件勅裁を經たる旨二日發表された

長江以北の剿匪
徹底的肅淸至難 (4)

上海にて 日森虎雄

五、赤區の安定

湖 北、河南、安徽三省の共產軍討伐は一段落を告げ、共產軍は重要なる根據地を放棄して陝西省境方面へ逃れたが、共產軍撤退後の赤區を徹底的に肅淸、救濟することは一般人の想像する程容易なものではない、實に困難な問題である、民衆が共產軍と共に逃れ或は白地（避難せる後の滿目荒涼たる赤區に入つた中央軍は、全く手の附けやうがなく、殊に多數の避難民は河南南部の光山、商城間の野に充ち無衣無食の悲慘なる狀態を呈してゐる、且つ潰走した共產軍は密かに地區委員會を配置し遊擊隊或は赤衞隊を以て民衆を監視しその潜勢力を保持せんと圖りつゝあり、鄂東の黃安、麻城及び鄂中の洪湖の周圍においてもこの方針を採用してゐる、故に目前の救濟の道は歸來した民衆をして中央軍の恩惠を知らしめ殘匪を掃蕩することであるが、蔣介石氏もこの情勢に鑑み避難民を酷遇する事を禁じ、罹災の輕重に應じて田賦の全免、半減、猶豫等を規定し、各縣駐屯軍及び民團に對して行政督察員の指揮を受くべく命令した故に各區行政專員の責任は極めて重大で今後回復した赤區が安定するや否やは一にその努力に懸つてゐるのである

鄂 東方面では共產軍による被害は、黃安が最も甚だしく同縣の匪軍は大部分河南安徽省境方面及び麻城の西北へ逃亡したが、東南の尹家河、祝家埠から三角山に至る一帶の地域には獨立團及び遊擊隊が深山中に潜んでをり、古風嶺以東にも獨立師の一部あり縣城の西方河口、南方八里灣に至る沿道には散匪が潜んでゐる、過日獨立團長劉振鵬は六十團の一部と共に河口を猛擊したが、萬耀煌師のため擊退された、軍隊の力が足らぬため黃安では剿匪義勇軍を組織し縣城から宋埠に至る一帶の地方においても組織中であるが、黃安の保安隊は一部縣城を守り、一部は八里灣に駐屯し、一部は各村鎮を遊擊し、一部は軍隊を嚮導してゐる

最 近は避難先から復歸する民衆が陸續として絕えず、縣へ自首し保護を求めてゐるが、縣では新なる證明書を發給し同時に戶口調査を行つて良民の保護を與へてゐる、田地、家宅等は討伐軍に蹂躙されてゐるので、その整理は容易な業に非ず、各種の徵稅も停頓し學校も開かれず、全縣の周圍は壁壕で埋められてゐる有樣である、省政府でもその救濟の急務を知り既に調査員若干人を派遣して各方面を視察せしめてゐるが、有識者は赤區の肅淸より寧ろ赤區民衆の惡化を憂へてゐる次第である、上海のデリーニユス紙の如きは十月十五日の紙上で次の如くいつてゐる

政府軍は多くの地方において勝利を得てゐるが、共產軍の討伐はその結果の永久性によつて判斷せねばならぬ、第二インターナシヨナルが二十萬と號する共產軍は中部諸省に散在してをり武裝も整ひ、驚くべき多數の機關銃を有してゐる、此等の共產軍は到る處に出沒して政府軍を困惑せしめてゐる、討伐には政府軍の外航行警備中の外國砲艦も非常に重要な役割を果してゐるが、その全幅的討伐の成功はなか／＼容易ではない

哈爾濱事務所長金井氏か

滿鐵二日附社報を以て總務部事務囑託金井清氏はハルビン事務所事務囑託となつたが、氏は上海北平等に永い生活を送り鐵道省…として村上理事、宇佐美部長等と親交あり、國際聯盟調査團には滿鐵…隨員として活躍した、同氏が今回ハルビン事務所事務囑託となつたことは、近き鐵道…次異動と共にハルビン事務所長の椅子を占めるとの說が傳へられてゐる

張景惠氏一行

【京城特電一日發】三十…した滿洲國軍政部長張景惠氏一行十四名は一日午後七時京…從武官長張海鵬氏と落ち七時二十分京城發列車に…國の途についた

ほんこん丸船客

【門司特電二日發】四日…豫定のほんこん丸主なる…小磯關東軍參謀長、副…尉、山下汽船取締役…同船長中原治數、川村…

滿鐵辭令（一日附）

鐵道部港灣課調査係主任を命す 埠頭事務所海運長技師 中川四朗
奉天鐵道事務所營業長を命す 大連鐵道事務所營業長 參事 宇佐美喬爾
哈爾濱事務所事務を囑託す 總務部事務囑託 金井清

蛇角

支那代表の決議文起草要求、十九國委員會で拒否さる、文字通り顏が潰されたわけだ。
◇
逆宣傳が逆宣傳と認められるやうになつたのは一進歩。
◇
顧維鈞より悲觀の電報學良に飛ぶ、學良憮然呻吟、それ見たことかといひ度い。
◇
販賣勝手次第、その銃器よりも恐ろしい法の疑義。
◇
ペンゾイリンの先例もある、法網の不備を潜らんとする不逞漢を警戒せよ。

人事

▲杉浦憲一氏（大連警察署警部補）新任挨拶のため二日市內各方面歷訪
▲竹下又吉氏（同上）同上
▲藥島信司氏（國際運輸重役）二日午前九時入港はるびん丸にて着連
▲福島正雄氏（化學工業取締役）同上
▲木村弘之氏（二等軍醫）同上
▲エイ・アグレン氏（瑞典人技師）同上
▲キユーズイク氏夫妻（エストニア貿易商）同上
▲門野重九郎氏（大倉組重役）同日午前十時出帆うらる丸にて內地へ
▲角野久造氏（福島紡績社長）同上
▲平賀周氏（元石川縣知事）同上
▲北山鼎一氏（滿鐵囑託）同上
▲紺野順氏（滿洲國海關員）同上
▲淺沼謙三氏（實業家）同上

滿蒙の戰慄 (166)

直木三十五作 淺枝次朗畫

大陸晴る 一ノ五

「あゝ、支那だ」

はつきりと、支那らしい物を感じた、その色、その人家――野蠻と、未開と、荒土と、貧乏とを示してゐる、その褐い土と、低い家。

操縱士の手から來たメモには、金州です、と、書いてあつた。

「金州――金州」

麗は、消へ殘る夢のやうな、金州といふ地名を――何處で聞いたか知つたか、思ひ出さうとした。

「金州――たしかに、聞いたのに――」

ぢつと、考へてゐると、低空飛行に移つてゐた機體が、ぐらつと搖れた。はつとして、脚を踏ん張つて、前の椅子を、つかんだ時に

「あゝ――さうだわ。乃木將軍の詩。そうだわ。お父さんのよく唄つてゐらつしやつた乃木さんの詩にあつたわ。金州城外夕陽斜なりつて詩、そうだわ――ぢやもう、二百三高地なんかに、近いのかしら?」

二つの灣が、金州の近くへまで、くびれ込んでゐて、一鍬入れると、二つの灣へ水が通じさうであつた。

「こんな所で、昔、苦戰などしたのだらうか?飛行機だつたら、何んでもないのに――」

そんな事を思ひながら、下を見てゐると、ポプラが、楊柳が、はつきりと見へて、草原がぐん／＼せり上つてきてゐた。

「大連へ着く、お父さんのゐなさる大連へ來た」

麗は、襟卷をとつて、首へ巻きつけた。そして、何も置忘れないやうにと、手提と、手袋と、小さい土產の品とを見廻した。

格納庫か、大きい屋根を見せてゐた、それが、急に近づいて、すぐ消えたかと思ふと、機は、大きく斜になつて、一方には空が、一方には、傾斜した土地が見えると――すぐ水平になつて、エンヂンの音が、微に――そして、やむと、もう、飛行場の草原は、機とすれ／＼の所にあつた。

「着いた。無事についた」

麗は、心のふるへるのを感じた。機體に、ごつん、ごつんと、二三度、强いバウンドがすると、機は地上について、草原の中を、走つてゐた。

事務所の前に、赤い旗をもつた人が、旗を振つてゐた。自動車が三臺あつた。出迎への人らしい人々が、七八人、手を擧げてゐるのが見へた。二人の相客が、鞄をもつて、半分立ち上つてゐた。機は一搖れして、止まつた。扉が開くと

「やれ／＼」

と、云つて、一人が、飛び下りた。

「御歸へんなさい」

一人の子供が、その前へ、走つてきた。次の一人にも、子供を抱いた夫人らしい人が、笑ひながら近づいてきた。麗が降りると、人々は、ぢつと、麗を眺めた。

「誰も、姿を迎へてくれる人はないけど――それでいゝの――」

そう心の中で云ひながら――何うちに、大連の町があるのか?何處へ行けばいゝのか麗は、人々の嬉しそうな笑ひ聲、話し聲を聞きながら、事務所の待合室へ、入つて行つた。事務員が

「御一人ですか」

と、聞いた。

「えゝ」

麗は、微笑しながら

「この人に、宿屋を尋ねて――」

と、思つた。

張殿九軍を追撃して我軍續々と前進
先遣隊札蘭屯を出發

札蘭屯の張殿九軍に對し我軍は猛烈な攻撃を開始し前進中であつたが服部先遣隊に引續き高波部隊の挺進部隊もまた一日午後一時札蘭屯に進入した、宮本部隊は一日午後三時札蘭屯出發列車にて更に敗殘兵を急追中、鐵道沿線方面にては平賀部隊一日午後三時朱家崗に進入しその他の部隊も亦甘南七棵樹の線を通過し前進中【新京電話】

茂木枝隊は東支鐵道沿線の平賀部隊と甘南チチハル街道の服部部隊との中間路の敵を掃蕩しつゝ成吉思汗驛に向つて敵を急追中【新京電話】

東支鐵道沿線の平賀枝隊は十數隊に別れて一日早朝富拉爾基を出發碾子山に向つて進撃中【新京電話】

服部部隊の司令部札蘭屯に入城
附近高地で激戰

服部部隊司令部及びその一部隊は自動車で一日午後一時敵の抵抗を受けず札蘭屯に入城した服部部隊の宮本先遣隊は一日朝札蘭屯驛附近に集結し市街の掃蕩をなしつゝあり又高波部隊挺進隊は一日午前八時札蘭屯に到着、宮本先遣部隊との連絡がなつた【新京電話】

三十日札蘭屯方面にあつた蘇炳文張殿九の叛軍に對しわが軍は總攻撃を開始した、宮本先遣隊は裝甲列車により甘南城方面札蘭屯に前進し、三十日午後一時半札蘭屯東方四キロの高地にある敵を急襲交戰二時間にしてこれを激滅同夜完全に札蘭屯を占據した、主なる官衙わが手中に歸す、同地にあつた敵は張殿九の部下にして機關銃、歩兵砲多數を有し歩兵六百、騎兵二百なり、敵の遺棄死體百、捕虜五十軍要書類多數を鹵獲した【新京電話】

服部部隊及び種村部隊はチチハル營内より札蘭屯街道の南側に沿ひ三十日午前三百の敵を追撃しつゝ前進午後四時四方山の約五百の敵を攻撃敵は數回に亘つて逆襲し來つたが擊退され死體百を遺棄して逃走、馬三十その他鹵獲品多數わが軍の損害なし【新京電話】

朱家崗以東に敵の影なし
わが飛行機偵察報告

わが飛行機の報告によれば一日正午までの彼我狀況左の如し

朱家崗以東には敵兵を見ず、敵は南方十里に退却す、碾子山は陣地に變化なきも鐵道兩側の陣地は未だ嚴重に補裝をなしつゝあり【新京電話】

白衣に包まれて
北滿の戰傷病兵來る

曠漠たる北滿の原野に轉戰し幾多の武勲に輝く名譽の戰傷病兵一等縮鐵工長原雅田氏以下二十六名は今回內地へ凱旋する事となり鐵嶺衞戍病院分部看護官以下看護班に看護されつゝ傷々しい身を白衣に包み二日午前七時大連驛に到着鬼塚二等軍醫を始め陸軍關係者その他公私機關代表者各種團體等官民多數の出迎へ裡に大江町衞戍病院に收容されたが二日午後三時旅順より到着する戰友傷病兵十九名及びさきに來連せる白衣の戰士と合し來る四日午前十時半出帆眞州丸にて廣島より出迎の木村弘之二等軍醫附添ひ故國へ歸る筈である

金福混合列車

金福線では最近旅客と特產出廻り增加にて現行の列車にては輸送が出來ないので五日より[illegible]物混合列車を增發する

▲下り 大連發十一時[illegible]貔子窩着十六時四十分、城子疃着十七時廿五分

▲上り 城子疃發十時卅五分、貔子窩發十一時十九分、大連着十六時廿分

練習艦隊司令官新京を訪問

【海軍公館發表】百武海軍中將の率ゐる練習艦隊軍艦磐手、八雲の兩艦は來る十日大連に入港するが司令官百武中將は幕僚八名並びに兩艦長を隨へ十一日午後四時半大連驛發列車で北行、十二日午前八時新京驛着の上滿洲國執政に謁見し又鄭國務總理、張軍政部長並びに武藤全權を訪問した上同日午後四時半新京發列車で歸連の豫定【新京電話】

國際的足拔き藝妓
新京から滿洲里へ前借踏倒し
石川ツヤ子こと良奴

滿洲里事件の最初の避難民として去る二十八日みすぼらしい姿で來連した石川ツヤ子(二〇)に絡る避難後日物語——若い身空を以て滿洲の最前線たる滿洲里に在つて今度の事件に遭ひ着のみ着のまゝ脫走した哀れ避難民姿で彼女が大連驛頭に立つた時、誰もが同情の淚を注いだものだがその彼女こそ新京城內の料亭富久屋で良奴と名乘つて藝妓稼業中本年六月十六日前借千餘圓を踏み倒して足拔きし滿洲里の知人の家へ身を隱してゐるうち新京警察署の手配によつて滿洲里日本領事館警察の手に取押へられ保護留置の行政處分に附され樓主の井下都也が引取に行くことになつてゐた矢先北滿大水害で旅行不能、つい延々になつてゐたところ今度の滿洲里事件の發生となつた領事館警察に保護されてゐた彼女は在留邦人と共に本格的の保護を受くる身となり第一回の避難民に混つてシベリヤから浦鹽を經由敦賀に出て安奉線で奉天着、それから滿鐵本線で二十八日來連市內伊勢町カフエーOKこと保坂昇方に身を落ちつけたといふ頗る波瀾に富んだ足拔き徑路を辿つた女と判明、新京警察署からは二日附ツヤ子の保護方を手配して來ると同時に樓主は一日特急「はと」で來連し二日朝大連署保安係に出頭ツヤ子を引取るべく說諭方を願出た、そこで二日朝光増警部補が彼女を呼出し不心得を說諭し歸樓を促したところ「新京へは歸りますが富久屋で二度の勤めは嫌です」といふ條件で結局彼女は新京へ連れ戾されることゝなつた【寫眞は良奴】

滿洲國童子團門司市中見物

【門司特電二日發】內地各地で歡迎を受け大喜びで歸途についた滿洲國童子團一行廿名は香港丸で二日門司につくと後藤市長始め婦人團や少年團に迎へられて上陸、自動車で忠魂碑や八幡宮和布刈神社を參拜して門司市役所に到り大いに歡待され門司の少年團と交驩し土產を貰ひ船に歸つた、小學生數百名が日滿國旗を打ふつて見送つたのは殊に嬉しさうであつた

餘榮輝やく故于冲漢氏葬儀
日滿の官民代表參列

滿洲國建設の元勳故監察院長于冲漢氏を弔ふ十二月二日黑石礁于氏邸は黑白の幕をもつてめぐらされ滿洲國側、我が全權部、關東軍司令部、關東廳、滿鐵その他各方面から贈られた花輪をもつて埋まれ門前の接待室內には各方面より贈られた數百本の「對聯」が揭げられてゐる、玄關左側の一定に安置された靈柩の前には故于冲漢氏の前の偉を偲ぶ寫眞を揭げ滿洲國府からの供物、生花、燈明臺、燭臺を立ち籠めてゐる、午前九時息子于靜遠氏を初め遺族一同親く章を捧げ香爐から立ち上る煙が[illegible]祭の儀を行ひ、午前十一時半より成主祭式が執行されその間午前時執政弔使王大忠氏が來訪、靈前に燒香拜禮するところあつ、引續き正午より滿洲國政府代交通部總長丁鑑修氏を初め各部長代理、吉林省長熙洽氏代理林書官各省代表、滿洲國參議袁凱氏、監察院長代理品川主計、憲眞、武藤全權代理林出書記官、關東軍司令部代理板垣征四郎の諸氏及び關東長官代理日下內務局長、林、八田滿鐵正副總裁其他各重役滿洲國中央銀行總裁代理五十嵐保司氏小川大連市長、金新京市長、永井大連民政署長、大內市會議長其他在連名士及友人鐮田彌助氏等約數百名參列、告別式に移り東本願寺を初め在連各宗僧侶約廿名の讀經あり、引續いて道教、佛教兩教の滿洲國僧侶の讀經次いで滿洲國政府代表丁鑑修氏、全權代理林出賢次郎、軍司令部代表板垣征四郎氏らの順序で弔辭外務大臣、全權大使、本庄中將、鮑駐日、滿洲國代表、橋本憲兵司令官の弔電を朗讀し終つて令息于靜遠氏より謝辭を述べ午後四時終了する（寫眞は上圖から故于冲漢氏の靈前、執政府弔使の來邸、告別式參列の林滿鐵總裁）

海拉爾の二邦人を叛軍殺害

【マツエフスカヤ一日發】當地情報によれば海拉爾にありし細野某村上某兩名は海拉爾の東南方伊敏河畔で叛兵のため殺されたる由、東行中であつた川瀨某は扎仙屯附近に逃れてゐるらしいがその詳細不明

滿洲國の籠球軍
一行元氣でけさ來連

來る三、四日兩日午後七時より大連第二中學校體育場に於て舉行する第一回日滿交驩籠球試合に出場する滿洲國代表チーム一行十名は二日午前七時着列車で黑田譽八監督に引率され林田滿洲體育協會主事、原田全大連監督其他選手關係者多數の出迎へを受け元氣よく着連直に奧町中華棧に投宿した、試合日程は左の如くである【寫眞は一行】

三日午後七時 全大連第一回戰
四日午後一時 黑猫戰
四日午後七時 全大連第一回戰

改悟を誓ひ泣き崩る
刑務所の取扱に被告が感激

兵庫縣神戶市前田町生れ住所不定安本義夫(三)は二日午前十時大連地方法院長島裁判長係で強盜、竊盜事件の裁きを受け立會の池內檢察官から懲役八年を求刑されたが裁判長から「何かいふことはないか」と問はれハラ／＼と淚を流しつゝ私は十五年間といふ永い年月を內地の刑務所で暮して來ましたが、罪人に對する待遇は極めて冷たいものです、訓誨師はパンのために口先の訓誨であり却つて社會に對する反抗心を增長させるところです、然るに大連の刑務所は眞に我々に對して溫い慈悲と同情を以つて接して與れます、これに對し私は再び惡事を働く氣にはなれませんと裁判長に改悟を誓つて泣き崩れ傍聽者も貰ひ泣きをした、判決言渡しは來る八日

南洋から自動車運轉手道行
けさ水上署で戀のストップ

◇…南洋サイパン島に結ばれた灼熱の戀に身をこがし狹い內地の人眼をのがれて氷結せんとする滿洲に胸の想ひをしづめんとした年增女と自動車運轉手の道行、戀のストップは遂に大連水上署であつた、二日朝入港のはるびん丸の齎[?]した戀愛劇ナンセンスもの一幕。

◇…二日午前九時入港のはるびん丸で乘船した大連水上署員が同船々客名簿を檢閱中、行先「大連水上署」となつてゐる植草安五郎(三二)及び同姓キミ(三一)の兩名を認め不審に思ひ取調べたる處男は原籍千葉縣橡見川町稻毛住所東京日本橋蠣殼町一の二自動車業植草安五郎(三二)女は原籍東京府南足立郡梅島町梅田會社員沖山一二三妻キミ(三一)と云ひ兩名は三年前南洋サイパン島に於て出稼中知り合ひ戀の實を結んだが沖山キミは夫一二三との間に十五を頭に三兒を抱へてゐたが夫の收入少く生活苦しき處より愛想をつかし本年九月キミは夫や子供を捨て、南洋より內地へ歸つた

◇…その後植草は女の後を追つて同十月歸國し東京に同棲生活を營んでゐたるも世間の人眼も煩さく一層滿洲で氣樂に暮らさんものと知人を賴つて二人手をつなぎ二日入港はるびん丸にて來連したものなる事判明したが水上署では直に鄉里に照會する事となつた

英靈二百二十四體 けふ悲しく故山へ

英靈二百二十四體は、はためく弔旗と、立ちのぼる香煙と、萬餘の市民のしめやかな見送りをうけ靜かに二日出帆うらる丸で故山へ歸つて行つた、これより先、埠頭待合所にはかれて設備された祭壇には二百二十四勇士の遺骨が白布に覆はれた小箱に收められて哀しく祀られる、故歩兵少佐齋藤誠氏、故歩兵少佐林輝人氏をはじめいづれも武勲赫々たるいさほしに輝く英靈である、或ひは拉哈に、泰安に、チチハルに、東邊道に、拜泉に、點々と盡忠の鮮血を滲ませ皇國の軍人として名譽の戰死を遂げた勇士だ、午前八時半より神式をもつて市役所主催の慰靈祭が執行される、關東廳、滿鐵、海軍、學校代表等多數市民の參列あり型の如く式が進行し小川祭主ののりとについで關東長官代理井上民政署庶務課長弔辭を代讀し、ついで林滿鐵總裁、關東廳警務局長の弔辭が次々にしめやかに朗讀される、終るや團體代表の禮拜あつて午前九時より在鄉軍人の手によつてうらる丸甲板上の祭壇に移される、かくて小野寺實歩兵大尉以下三十七名の戰友にしつかり護られ最後に國の鎭めの吹奏裡に見送り市民一同の脫帽敬禮裡に悲しき凱旋の途についた【寫眞は埠頭慰靈祭】

略式命令では密賣處罰さる

大連市紀伊町六山田銃砲店石動朝秀に係る銃砲火藥取締規則第三十五條の違反事件が營業上の行爲として大連地方法院で無罪の判決があつたのは當業者間のみならず一般に驚異の感を以て迎へられてゐるが同じく第三十五條の違反で略式命令を以て罰金八十圓に處せられた大連市彌生町岩崎銃砲店岩崎庄太郎は正式裁判を仰がなかつたゝめに犯罪が確定し罰金を納付する反對の奇觀を呈するに至つた

岩崎の違反は山田銃砲店とは全然關係なく單獨に自己の製造した拳銃を許可を受けずして賣却して罪に問はれたもので仲介者等連累者も同じく處罰されたがこれ等は三十五條には該當せぬので疑問はないが岩崎の行爲は當業者として山田銃砲店と同樣の關係にあり三十五條に該當する點に就て正式裁判を仰がなかつたゝめに馬鹿を見たといつてゐる

山田銃砲店は愈々檢事控訴

銃砲火藥取締規則第三十五條の條文の疑義から無罪の判決を言渡された山田銃砲店こと石動朝秀(三八)にかゝる所謂銃器密賣事件は同規則の有效論を主張する高井檢察官によつて二日附檢事控訴を見るに至つた

鳥井氏講演

去る十五日來連した世界十萬哩徒步旅行者日本開南協會長鳥井三鶴氏は世界各國々情探檢談について三日午後六時より市內敷島町靑年會館に於て講演會を開催する

忌明け寄附

三井物產大連支店員川口彌之助氏は先頃逝去した夫人の忌明に際し市內貧困者等に對し金三十圓を贈りたき旨一日本社に依賴して來たので本社では直ちにこれを大連市役所に取り次ぎその手續きをすることにした

天氣豫報

三日 東北の風(晴)後曇り

各地溫度（二日午前十一時）

大連	二	奉天	零下二
旅順	五	新京	同 二
營口	〇		

けふの小洋相場（十一時）
金百圓 一二四圓丁度

國難日本刀 (172)

高桑義生作　京極佳夕畫

嵐の花（八）

駕籠が二挺。

目のさめるやうにあざやかな、姿の女が駕籠わきに一人、あたりの景色に誘はれて、窮屈な駕籠から出ての漫歩であらう。

避難民ではないらしい。避難民は大抵奥武州を目ざして行く。危險な東海道を、そんな姿で通るものはないのである。

「けばけばしい服裝をしてるぢやないか」

「何者だらう」

若い、美しい姿なので、この血氣の連中は少からぬ好奇心を感じて、口々にいふのだつた。すると

「らしやめんだぜ、ありやあ、あの服裝が、あのいけ圖々しさが――らしやめんに違えねえのだ」

横濱通の清次の言葉に

「なるほど、さうかも知れない」

といふうちに、駕籠が止まつて女の姿は、駕籠のなかに吸はれてしまつた。

「おや〳〵入つてしまつた」

「無理もない。物騒だと思つたのだらう」

「こんな連中が、ぞろ〳〵歩いて來るのを見たら、女でなくても驚れるよ」

「らしやめん奴、引摺り出して、恥かゝしてやれ」

「さうだ。毛唐に尾を振る牝犬だつたら、ほんとうに棄てゝは置かぬぞ」

二挺の駕籠は近づいた。浮足だつて――たれを深くおろしてあつたが、その隙間から隱しても隱しきれぬはでな色彩がのぞかれる。

連中はじろ〳〵と睨んだ。

駕籠舁は、恐怖と警戒を顏に見せて、いそいですれ違つた。駕籠のなかでは、多分若い女が息を殺してゐるのだらう。

とたんに

「待てッ」

と鐵砲彌太が叫んだ。威しだつたのだらう――が、その聲を聞くと、二挺の駕籠は、それッとばかり、あわてゝ走り出した。

「待てッ、待たぬか。待たぬと、ぶッ放すぞ」

彌太の右手はピストルをかまへてゐた。

駕籠は夢中で走る。

「なかなか事があるものだ。何だらう」

駕籠は走つて來た。で、連中も足を止めて、待つた。

やがて、二十間足らずの處まで來ると、駕籠舁は肩を下ろした。すぐに、たれを上げて、若い女があらはれた。けばけばしい姿の、さいぜんの駕籠から出て歩いてゐた女らしかつた。

女は履物もはかずと、裾もあらはに走り寄つた。それをながめてゐる一團の中から

「あッ」

と間宮一は叫んだ。

彌太得意のピストルなのである

鐵砲彌太と呼ばれるのは、このピストルを持つてゐるからで、當時の日本人で、持つてゐる者は數へるほどしかなかつた。

彌太は笑つた。

「撃つてたまるか。もつたいない。たつた一發しかない、大切の彈丸だ」

一同の笑ひが爆發した。

「惜しいな」

と清次がいつた。

「たかが女ぢや。棄て置かつしやい」

年長者の義觀がいふので、一同はそのまゝ先をいそいだ。

まもなく、うしろから

「おうい……」

と呼ぶ聲がした。

清次は振返つた。と意外にもそれは今の二挺駕籠だつた。ほかの者も振返つた。

「おや〳〵、今度は向うで呼んでゐるぜ」

子供舞踊デー

大連舞踊研究所では來る四日午後一時から協和會館でコドモ舞踊デーを開催し、澤モリノが特別助演するが、會費十錢、女學生及び附添者は二十錢で當日のプログラムは左の如くである

▲小鳥のこゑば田村初子、法貴雍子▲波止場のたそがれ山井滿壽子▲なんなん菜の花小澤京子▲十五夜お月さん島根照▲綠の牧場小野京子▲雀のお宿早川マリア▲渡り鳥大政喜代子▲お馬のお鈴田村初子▲故郷の廢家大塚スミエ▲首ふり人形法貴雍子▲夢山井滿壽子▲卵さ殿樣小野京子▲沖の小島大政喜代子▲一寸法師島根照▲號外賣早川マリア▲カヘルさヘウタン小澤京子▲空は靑空稻垣滿壽子、大政喜代子▲キユウピーチヤン早川マリア島根照▲道化師のセレナーデ稻垣滿壽子▲カバチナ澤モリノ▲柳の雨稻垣滿壽子▲ミヌエット（パデレスキー曲）澤モリノ▲麗しき朝稻垣滿壽子、山井滿喜子、小野京子、大政喜代子、早川マリア、島根照、大塚スミエ、田村初子、法貴雍子

噂話

帝國館は陣容を一新して解説部の櫻井滿君が中央映畫館に廻り中央映畫館の香川聲華君が解説部主任として轉じ廣瀬純右と當分二人▲又中央映畫館の解説陣は近く內地から主任を迎へるまで滿愛光君と櫻井君の二人▲宣傳部長は中央映畫館の瀧口良二君が兼務して一切の采配は安田支配人が振ることになつた▲三、四日兩日間中央映畫館では明菓寄贈の明治チヨコレート四千個を入場者に洩れなく贈呈する

本社特選 新棋戰（其二）

平香交 七段▲宮松敏三郎
平手番 先六段△飯塚勘一郎

【圖は四一玉迄の局面】飯塚氏 持駒ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	香	桂		金		王	金	銀	桂	一
		飛		銀				角		二
	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
					歩		歩			四
		歩						歩		五
			歩		歩					六
	歩	歩		歩		歩	歩		歩	七
		角	金			銀		飛		八
	香	桂	銀	玉		金		桂	香	九

(宮松氏 持駒)

▲同 歩　△二四歩
▲二三歩　△同 飛
▲七四歩　△六六飛
▲五三銀　△三六歩
▲六四銀　△五七銀
▲八六歩　△四六銀
▲同 飛　△同 歩

累計二十八手

【土居八段講評】宮松君は後手の番だけに飛車の位置を決めてしまふことは味がないので七四歩以下暫時見合せて銀を繰り出し攻勢的の方針を立てたのは巧妙な指し振りである、尙又八六歩突の處は七五歩、同歩、同銀、二二角成、同銀、八八銀、八六歩、同歩、同銀、八七歩、四四角、二八飛、八七銀、同銀、九九角成と烈しく且つ面白い攻め筋もあるが、その時敵に八四歩と打たれて後が續かざる恐れもあり、後手方は攻撃を繼續することが困難である。

【萩原六段解說】飯塚氏の二四歩は何れ交換する處で飛車の位置が定まつても以下先手の常套手段たる二六飛の浮飛車の作戰のもとに二四歩と指したのである宮松氏の七四歩は此處で敵と對抗して八六歩と飛車先を切るのも順であるが、何時でも飛車先は切れるのと何れ七四歩は指すべき順であるので敵の模樣を見るのと飛車の位置を八四飛又は八二飛の何れかに殘して七四歩と指したのである、飯塚氏の三六歩は此處で一六歩と突くと敵に八六歩と突かれ同歩、同飛、八七歩、八四飛と指されると一六歩の一手の爲め先手後手が逆になり後手に先手を取られる恐れがあるので敵が八六歩と突かず飛車の位置が未定の時は、この三六歩の順が正し

滿洲日報

動議、決議案の內容と報告提出期間の確定

聯盟總會の二重要問題

【ジユネーヴ二日發】總會前のジユネーヴは靜寂ながら息詰まる緊張の小康狀態が續く譯だが、總會開會の曉には**聯盟の立役者總出で聯盟始まつて以來の危機**と稱せられてゐる總會における興味は、總會に提出され、次いで**十九ケ國委員會に附託されるべき諸種の動議乃至決議案の類の內容如何**に集中される譯であるが、これ等の決議案中最も重要なる點は**聯盟が滿洲國に對して執るべき態度如何**であり、この點に關してはアメリカの協力を求める必要上、**結局滿洲國不承認の決議が採擇されるだらう**といふのが一般の觀測である、今一つの重要なる問題は**總會の最終報告提出延期々間を確定**する件で、これは結局總會の討議結果に基いて十九ケ國委員會が決定すべき問題の一つとなる模樣である總會において日本代表は再びその態度を闡明し、今回は理事會における聲明よりも突込んで單に過去の事實を詳說するに止まらず**將來に對する日本の政策にも觸れる**ものと外國側で觀測してゐる

支那逆宣傳材料配布

わが意見書に對抗して

【南京二日發】調查團が支那滯在中顧維鈞が提供した逆宣傳材料は極めて尨大なもので、近く之を印刷し壽府で各國代表に配布し日本の意見書に對抗して專ら宣傳に努むる事となつた

日本誹謗の逆宣傳

紐育にて發表

【ニユーヨーク一日發】當地支那文化協會は對日逆宣傳のため支那政府よりの公文書類を今日發表したが、右公文書類は顧維鈞よりリツトン調查團並に聯盟理事會に對し提出されたる覺書及び同覺書に關する文書より成るもので右覺書の內容は

日本は食糧品、原料品の供給を滿洲に求めることを期待してゐるものに非らずして一九一一年以來滿洲に對する支那主權の分割に努力し來つたものである

と日本を誹謗し且つ支那における排日貨運動が正當の理由ある所以を力說したものである

滿洲國團體の報告反駁書數

リツトン報告書に對する滿洲國民間團體の反駁書は或は單獨に或は外交部を通じて國際聯盟に宛て續々發送されつゝあるが、十一月一日の蒙古各旗民衆代表の反駁書を初めとし十二月一日まで合計電送せるもの十種十通、原文に譯文を添へて送附せるもの二十餘種五十通、原文のまゝ送附せるもの二千餘通の多きに達して居り、電報輸送料の總額一萬數千圓の巨額に達してゐる有樣である【新京電話】

滿洲國民衆の對聯盟意見書並に反駁書は邊境各地より續々新京中央部に達し當局は目下着々整理飜譯發送の手續を進めてゐる現在までに實に三千通の多きに達し如何に民衆が滿洲建國の熱意に燃えつゝあるかを如實に證明してゐる、今これを總括分類すれば大體左の如きものである

一、主要且つ代表的なもの

滿洲建國委員會總代　十一月十六日打電
蒙古各旗民衆代表聯合會　十一月十一日打電
民衆代表會　十一月十八日打電
新京總商會　十一月廿二日打電
新京教育會　十一月廿五日打電
黑龍江省民衆代表　十一月二十四日打電
奉天省營口總商會　一兩日中に打電
奉天省營口農會　一兩日中に打電【新京電話】

利益を提供し

小國側を抱き込む

支那代表部躍起運動

【ジユネーヴ一日發】理事會開會以來の强硬な決意表明と率直な所信披瀝が奏功し、總會出席の大國間に總會劈頭滿洲國不承認等の決議を爲さず、すべて十九ケ國委員會に附託し裏面的解決に努力すべき諒解成立したが、この形勢に驚いた支那代表部の躍起の策動奏功しスペインのマダリアガ氏、スイスのモッタ氏、コロンビアのレストレポ氏等の間には抽象的にでも總會で滿洲國成立反對意思を表示せしめんと考慮しゐると傳へられ樂觀を許さぬ狀態にある、而して利害反する小國と大國間の微妙な動きにより成行が決する譯であるが、イーマンス議長は總て一旦十九ケ國委員會に移し總會においては小國筋に充分論議せしめたる後大國筋が實際に即した穩健な意見を發表し、過激なる決議を牽制せしめんとしてゐる如くである、これがため支那代表部は手段を選ばず利益提供等の陋手段により小國筋を積極的に反日態度に傾かしむるやう狂奔しつゝあるが、何處迄喰ひ込み得るものかと注目されてゐる

馮滿洲國司法部總長入京

日本各地の司法制度視察と治外法權問題に關し意見交換の重要使命を帶び渡日せる滿洲國司法部總長馮涵淸氏一行五名は二十八日午前九時東京驛着で入京した【寫眞東京驛にて（右）馮總長（左）出迎の山岡萬之助氏】

財政の根本的建直し急務

豫算膨脹と我國の財政狀態

（一）

明年度豫算も正式に決定を見たので政府は冬の議會に臨むべく諸般の準備を進めて居る、明年度豫算は二十二億三千九百萬圓といふ巨額であつて、我國財政史上特筆すべき尨大なる豫算である、昭和七年度の實行豫算十九億四千三百萬圓すら既に最近稀有の豫算とせられたのに、更にこの七年度豫算に比し實に二億九千五百萬圓の膨脹となつて居る

（二）

本豫算については來るべき議會に貴衆兩院において論議を盡さるゝであらうが、一部の人々は本豫算を目して我國力に相應せざるものであり、同時にその內容も決して最善のものであるとは謂ひ難いと稱して居る、この見解に從へば歲入總額の約四割――八億九千五百萬圓は公債に據るものでしかもこの公債の殆ど大部分が不生產的である、卽ち赤字公債六億六千萬圓、滿洲事件費公債一億八千六百萬圓であり、生產的事業公債としては電話公債一千三百萬圓、震災善後公債一千八百萬圓、道路公債一千六百萬圓、電信事業公債七十萬圓、これ等を合計して漸く五千萬圓程度を數へるに過ぎぬではないかと評して居る

（三）

明年度豫算中、新規事業の主なる費目は

一、滿洲事件費　一億八千六百萬圓
一、軍事費　陸軍一億千四百萬圓―海軍九千五百萬圓―計二億九百萬圓（このうち時局匡救豫算と看做すべきもの一億九千百萬圓を含む）
一、時局匡救費二億七百萬圓（生產的と見るべきもの）
一、爲替下落に伴ふ差損金八千八百萬圓

等である、しかして政府當局としては一會計年度にたいして八億九千萬圓の公債を發行することは遺憾ではあるが、既に增税を行はないとして閣議一たび確定した以上公債に依る外他に適當の方法がないのである

（四）

又政府が增税反對の理由としては

一、我國民の富の程度は英米諸國とは全くその趣きを異にして居る、卽ち我國における大所得者は英米諸國等に比し極めて少數である、從つて假りに我國においてこれ等大資本に增税するも世上傳へらるゝが如き大なる增收は望み得ない
一、尙若し一般的に所得税、營業收益税等に對し增税を行へば國民の消費力を減退する、從つて購買力が無くなり產業の發達を阻害する
一、政府の時局匡救施設によつて最近折角財界に一抹の生色を帶びて來た、若し茲に增税を實行すれば非常なる打擊となり各般の施設に障害を來たすことゝなる
一、增税するも豫期した增收を擧げ得られないのみならず一般經濟界が萎靡沈衰して租税收入が減少する

大要以上の如き理由によつて增税說は排せられたのである、かくして本豫算は非常時に處する軍事費時局匡救費等いづれも削減を許されない事情にあり、從つて豫算の尨大は已むを得ないと解して居る

（五）

一方增税論者の論據は

一、最近英米各國いづれの國と雖も赤字財政に苦しめられ、これが補塡の爲めに增税方策を採つて居る、必ずしも外國を眞似る必要はないが、我當面せる財政難を處理するに當つては、現在の國民もまた將來の國民も共にその苦を頒つべきである、しかるに現內閣は多額なる公債を發行して將來の國民のみに負擔を嫁せしむることは妥當なる方策とは謂はれない
一、現在は勿論不況時ではあるが擔税力あるものも無しとは限らぬ、相續税、奢侈税等の如き增税の餘地なきか否か考慮する必要があらう

以上がその主要な論點である

（六）

增税の可否は暫く措き、政府當路も財界有力者も我國の財政情態が此儘に推移すれば遂に收拾すべからざる危機に瀕することとは共に憂慮するところであり、かたがた政府は最近の機會に權威ある財政調查機關を新設し赤字防止策―公債償還計畫、增税その他增收方法を檢討し以て根本的方策樹立に邁進すべき意嚮であると傳へられその成行については一般の注目を惹いて居る（東京支社TF）

支那意見書は默殺の態度

大局に影響なしとて

【東京二日發】南京政府が日本の意見書に對抗し近くジユネーヴの支那代表に訓電すると傳へられる支那意見書に就いては外務當局に於いて愼重にその內容を監視中であるが該意見書なるものは顧維鈞が聯盟理事會に於いて陳辯した所と大差なく單にこれを補足すると同時に強いて法律的に根據づけんとしたもので取るに足らずとの意見が強く若し之が聯盟に提起されリツトン報告及び我が意見書と共に討議の要素として討究さるゝとしても單に小國側を喜ばす程度に終り大局的にさしたる影響はなきものとしてこれを默殺することに態度を決したやうである

意見書內容

【ジユネーヴ一日發】滿洲國執政特使丁士源氏は目下ホテルに籠りリツトン報告と支那代表顧維鈞の演說に對し滿洲國執政代表としての意見書の執筆に沒頭してゐるその內容は大體左の如きものである

一、滿洲事件が起らなかりせば張學良の暴政に對し、飢餓に瀕せる農民の暴動が必ず起り、滿洲は兵火の巷と化し收拾し難き狀態となつてゐたことであらう、滿洲事件は單に獨立の契機となつたに過ぎない、この點顧支那代表の演說は誤りであり、リツトン報告書も調查不十分である
一、民族自決はヴエルサイユ條約により生れた、聯盟が滿洲國獨立の事實より眼を塞ぎ、日支紛爭の一部分としてこれを取扱はんとするが如きは不合理である須らく滿洲國を承認し日滿支間それぞれの問題の審議をなすのが本筋である

獨代表赴壽難

【ベルリン一日發】ノイラート男は英佛兩首相の招請に對しドイツの內政的危機が解決される迄はジユネーヴに赴くこと能はざる旨を回答した

日本の長所を採り各方面の刷新必要

張海鵬氏の渡日印象

我陸軍大演習の參觀を終へ歸奉せる張海鵬氏は張公館にて語る

我々一行は貴國に參つて衷心からの歡待を受け非常な喜びに堪へない、將來は勿論兩國民一致協力し兄弟のやうに手に手をとつて東洋平和の確立に邁進し得る確信を得た、今回貴國の陸軍大演習を參觀して日本の軍事統制が如何に立派なものであるかに一驚した、殊に謹んで聞及んではゐたが、天皇陛下に對し日本國民が如何に赤誠を披瀝してゐるかを目の當りに見て異常な感激にうたれた、わが滿洲國も友邦日本の長所をとつてあらゆる方面に大革新を行ふべき時だと思ふ、殊に當面の緊要問題としてわが滿洲國は陸軍の大刷新を行はなければならない、產業の發達も政治機構の完備も先づ軍事的統制を行はなければ駄目だ今回の渡日は余にとつて終生忘れ得ない思出となるであらう、近く機會を得てこの感想記を筆にし永く記念したいと思ふ

なほ張將軍は最後に貴紙を通じて貴國同胞によろしくお傳へ願ひたいと記者に固い握手を交した【奉天電話】

審議遷延策として和協委員會設置か

わが外務省成行注視

【東京二日發】一日の十九ケ國委員會か日支問題の討議を總會に附した結果六日の總會に達し日本は如何なる方策をとるか注目されて居るが二日外務省に到着した情報は最近聯盟事務局と英佛の大國間に和協委員會設置說が眞面目に論議されて居ると右に對し當局は總會が日支問題を右委員會に移し時日の經過を待たんとする方策に依れるものとの見解を有しゐるがその機能構成に關し嚴重に監視の必要ありとしてゐる卽ち

一、委員會に日支兩國を交へざればリツトン調查委員と同一のものとなる
一、若し日支が參加すれば日支直接交渉に第三國を入れることゝなり我が主張に反す

との見解よりいづれも絕對反對することになつた、但し各委員會は單に事態を靜觀するに過ぎぬ程度のものなれば支障なしとして居る【電話】

畏き聖旨を拜して參列將校一同感激

町尻侍從武官新京着

町尻侍從武官は二日午前十時五十分新京飛行場着直にヤマトホテルに入り休憩午後一時廿分關東軍司令部に赴き小憩の後後藤原高級副官の先導にて營庭の式場に臨む、これより先營庭式場には武藤軍司令官以下將校二百餘名が整列奉迎町尻武官は優渥なる聖旨を傳へるところあつた武藤司令官は有難き聖旨令旨に奉答したが參列將校は何れも感激した、傳達式終り後侍從武官は式場舍內で武藤司令官より關東軍管下の軍狀を聽取し後司令部內各科を巡視同三時四十分ヤマトホテルに歸還した、尙畏きあたりよりは在滿警察官六千名に對して有難き御下賜品があつたが斯の如き前例はないと【新京電話】

聖旨令旨傳達

町尻侍從武官は左の如く聖旨及び令旨を傳達した

天皇陛下に於かせられては、[illegible]令官以下一同が和衷[illegible]困苦缺乏に耐へ[illegible]治安の維持[illegible]保護警備[illegible]て重任[illegible]に思ふ、この上とも各自一層自愛してその責務に努力するやう申傳へよ、との聖旨にあらせらる、皇后陛下におかせられては將兵一同が天候の障害、補給の不便等幾多の困難を冐して戰鬪に警備に最も重大なる任務に服し居ること誠に苦勞多きことゝ察す、特に君國のため犧牲となりたる戰病死傷者に對しては眞に氣の毒に堪へず、傷病者は充分に勞はりつかはす、今より寒氣も愈々嚴しき折柄一同一層身體を大切にするやうよく申傳へよとの令旨にあらせらる

[illegible]に對し武藤軍司令官は左の通[illegible]武官を差遣され優渥なる聖旨を賜はり且つ御信[illegible]將校以下に御品を[illegible]には御菓子を下賜[illegible]多き極みにて感激[illegible]激の至りに堪へませぬ、將來彌々部下を督勵し盡忠奉公の誠をいたし以て聖旨、令旨に副ひ奉らんことを期します

倚天皇、皇后兩陛下より特別の思召しを以て軍司令官、師團長、司令官、旅團長憲兵隊長に御目錄の品を將校一同に御品を傷病者には御菓子を下賜せらる【新京電話】

侍從武官日程

侍從武官の日程は二日新京着と同時にヤマトホテルに休憩午後一時半より關東軍司令部營庭で聖旨令旨傳達式擧行三日は同じく駐新部隊の營庭で午前九時半より十時まで各部隊長に對し同十時十分より憲兵司令部においてそれぞれ傳達式を擧行する【新京電話】

首相藏相懇談

【東京二日發】高橋藏相は閣議に先だち齋藤首相と會見、二十六日鈴木總裁と會見し諒解した政友會の對政府態度につき懇談した

閣議散會後も三相鼎坐協議

【東京二日發】本日の閣議席上齋藤首相より財政經濟調查に關し閣僚の提言を要求したが閣議散會後齋藤首相、高橋藏相、荒木陸相は居殘つて鼎坐協議を遂げた

辭令

【東京二日發】本日附けを以て左の辭令ありたり

關東廳技師　加藤了
兼任關東廳醫院醫官（七等）
關東廳事務官兼秘書官　松崎憲司
免兼官

張景惠氏一行奉天着

張景惠氏は一行と共に二日午後一時安奉線にて奉天着、滿洲國側各要人、協和會中野氏等多數の出迎へを受け直に特務機關長板垣少將を訪問の上、午後三時發列車にて新京へ向つた、張氏は一行を代表して語る

今回の訪日は種々な意味で非常に感激する處が多かつた、各大臣方との會見、大演習拜觀、殊に日本國民上下の心からの歡迎は感謝に堪へない、今後一層の日滿親善と日本の滿洲國に對する援助を希望してやまない【奉天電話】

對米第二次通牒

駐米英大使より手交

【ワシントン二日發】英國政府の決定に基き英國大使は本日スチムソン氏に對し戰債問題に關する對米第二次通牒を手交した、內容は大體左の如し

英國政府は戰債支拂が從來不景氣を深刻化し又將來も物價を更に低下せしめ何れの國も免れる事の出來ない不幸な結果を導くものであるとの見地より十二月十五日の戰債支拂延期と戰債問題の一般的再檢討を再び要求するものである、現在の支拂方式を改正せずしてこれを繼續することはアメリカ側及び列國に大なる損失を來すであらう、特に注意を喚起したいのは世界國際貿易は過去三年間に半減したことで債權國が僅か數百萬磅の金を取立てたがため却て世界の混亂を永久化し延いては受取つた金に數百倍する國家收入の不足を來すとしたならば僅かの金を取立てる事は債權國に取り決して利益でない

反對意見を表明

【ワシントン一日發】曩に戰債輕減又は棒引に反對の强硬な聲明書を發したペンシルバニア選出共和黨下院議員マックファッデン氏は本日更に英國の對米戰債に關する第二次通牒に對し議會及び國民は戰債輕減に斷然反對する旨を述べ棒引き輕減反對の態度を表明した

駐獨大使後任

武者小路公使

【東京二日發】駐獨大使小幡酉吉氏は本月十七日橫濱着の靖國丸で歸朝するが、內田外相は氏に對方面の要職に就任を懇憑する筈、なほ小幡大使の後任は瑞典公使武者小路公共子が榮轉しその後任には米大使館參事官齋藤博氏が擬せられてゐる（寫眞は武者小路子）

定期叙位

千三百三名

【東京二日發】畏き邊りでは二日石井菊次郎子以下千三百三名に對し定期叙位の御沙汰があつた主なるもの左の如し

叙正二位　從二位勳一等子爵　石井菊次郎
叙正二位　正三位勳二等功四級子爵　小笠原長生
叙從二位　從三位勳三等伯爵　樺山愛輔
叙正三位

明糖事件

【東京二日發】明糖事件善後策に關する關係各省協議會は二日午後一時より法制局に開會各關係官列席明糖事件が果して脫税なりやの根本問題の判定の前提としてこれに關連する諸法規を正午協議を進めたが司法省、大藏省、法制局の意見一致せず遂に結論に達せず午後四時散會した次回は九日續開する

洋紙輸出增加

【東京二日發】日本製紙聯合會調查によれば十月中の洋紙輸出高は一三八〇萬九千封度で昨年同期に比し二九三萬封度の增加である右は九月以降北支方面關東州滿洲國への輸出が增加したためである

社說

植民地教育 改善と擴充

沿線在住邦人の一般教育に關しては、夙に各方面にその改善が要望されて居るが、近時關東廳並に滿鐵に於ても新たに教育體系の發表を爲すとのことだ。勿論體系といつた所で總體的には大して急激な變化を期待すべくもない。否なさうした改善點にしても餘程考へて懸らぬと、單なる朝令暮改を繰返すに過ぎぬ。折角の改善が却つて改惡に傾するなきを保しない。唯だ吾人が常に痛感して居る問題は、その小中學と專門校とを論ぜず實際に即した教養訓練が缺けて居ることだ。年々幾多の改正刷新が、教授法に、教材に、將た保健行政に試みられて居るが、動もすれば机上の空論や、或は內地から、或は海外から、輸入された儘の先縱を無條件に模倣されたに過ぎぬのが少くない。殊に小中學教育の如き屋上屋を重ねて練熟の違なく、輪奐の美はあり、事務的整頓はあるが、現地に適應した質實強健な內容を有する者に至つては、甚だ遺憾とすべき點が多い。尤も新開植民地の一般生活は、內外共に各方面からの寄合世帶なるが故に、住み馴れて鄕土が有つ慣習の考察照校すべき者が得難い。それが學政當事者と教育者と、若くは教育機關と家庭との間に國民的訓養上最も必要な理解及び連繫を固うすべく、非常な障碍となつて居るやに思はれる。少くともさうした缺陷が、學校と、家庭と、教育行政者との間に、離れ離れな考へを有たせた傾向あるは、當の教育家から屢々耳にする所だ。

◇

植民地教育は土地自體が新開の境域であるだけ、傳統典據の依つて以て範とすべきもの少いが、而もそれだけ又自由奔放な規格を定め、雄大な氣象と清新な人格とを涵養するに適して居る。換言すれば土地の自然が固有する風物氣候を教材となし、その自然への適應性を簡明に暢達成育させ得る長所がある。然るに現時の沿線諸學校を通覽すれば、日本內地の教育機能として適はしく、若くはそれ以上の整頓振りをさへ誇つて居るが、滿洲植民地の教場であり、その鄕土の獨立人たる資格を養成させんとするに於て、却つて頗る識者の眼に慊焉たる所少くない。普通教育上今後の急務は、現地に即した人物を養成するにある。宜しくいへば現地の產物に衣食し、現地の事情に活動基礎を置く常識と實行力とを備へさせることが、それが殊に次の鄕土的細胞たるべき青少年の教育に必要だ。現住後來を問はず、その地の自然に適應して安住し得る素質の完成である。切言すれば所謂內地人らしい日本人を造るのでなく、健全な日系滿洲人を造ることだ。

◇

この意味を擴充して拍車を懸けられねばならぬ事項に、農工業を主とする實業教育がある。沿線初期の實業教育は何處までも日本智識の紹介にあつたが、それは近年土地の實狀を研究し、それに自己を適應させ得る人物の訓練に重きを置かせるやうになつた。沿線各地の農商實習所の如きその實例だが、年歲猶ほ淺く成績の人目を驚かすほどの者はまだないけれど、その出身者の一般傾向は概して好い。地に依り人に依つて種々批判はあつても、それは教育機關その者の責任ではない。寧ろこの際かうした機關を擴充して、內外子弟に勞動哲學と土に即した實地訓練とを注入すべきだ。移民問題は認識の足不足よりも、適應性の有無及び強弱如何だ。これを養成體得させるには先づ子弟の教育から基礎を築かねばならぬ。如何に移植民の方法や組織が論議されても、移植地に關する理解なき生硬な渡來者では駄目だ。而してこの理解は風土を異にする內地の拓殖教育でも、縱しそれが徒勞でないにしても効果は少い。自らその環境の間に起臥して體得せしむべきである。例へば滿洲に於ける商取引のごとき、如何に通商貿易の特質を曉諭しても、親しく國人と接觸し、その人情風俗通貨の日常取引に馴れないでは、眞に鄕土人たる活動はなし得られぬ。農業亦然りで、先づ現地既存の作物手法を理解して、始めて改良利化し得べき方法が發見されるのだ。

◇

且つ夫れ今の內國農家の行詰り狀態を見ても、滿洲農業の傳統技術を加味することに依つて所謂自力更生策に資すべき新方法は幾許もある。殊に領土の七割を山岳高原に依つて蔽はれた日本の農村は、肥料の改良、食料の變化の爲に、さうした地形に適はしい新副業を思ひ立つべき必要と餘裕とを生じて居るがその副業中、範を滿洲農業に採るべきもの甚だ多い。牧畜、果樹、穀種の如き何れもそれだが農家の子弟がこの理を知つて實行し得ざる所以の者は、訓練足らず、若くは訓練啓發さるべき機緣なき爲である。それは恰も加州の出稼者が日本人固有の技巧を以て、太平洋岸の農業界に貢獻すると共に、其地の見聞事物を齎らし歸つて、舊日本が未だ知らざりし果樹蔬菜の種類と利益とを增加させたやうに、滿洲農業の紹介に依つて內國農村に新光明を投ずべき項目は枚擧に違ない。かくて沿線に於ける實業教育振興はその使命を二重に有する。即ち現地への適應性養成と、その適應性の活用を內國の產業界に擴充し得る事とであつて、吾人は特に當局者が思をこの方面の指導誘掖に致さんことを切望する。

大連の爲替市場に不正あらば取締る

噂さほどでは無いと思ふが―― 山田大藏省檢査官談

朝鮮經由來滿、新京にあつて滿洲國財政方面の實情視察中であつた大藏省銀行檢査官山田龍雄氏は同檢査官補大平三郎氏同伴二日夜着連の「はと」で永井民政署長、中澤東拓支店長等の盛んな出迎へを受けヤマトホテルに向つたが、折柄爲替思惑による市場攪亂に對し政府が斷然彈壓を加へると傳へられる際とて各方面で注目されてゐたが驛頭「自分は單に滿洲における金融狀況と銀行業務を調査に來たもので二十日新京に到着ずつとその方の調査をしてゐたもので思惑云々の件なら三日に湯本書記官が來られる筈だ」と前提し左の如く語つた

大連筋の爲替思惑による銀流入その他のスペキュレーションは傳へられる程の大袈裟なものとは思はぬ、そう神經を尖らすには至當ぬが、その間不正の意思を以てやるものがあれば斷乎として處置せねばならぬ、滿洲中央銀行は創業が七月でその業態については輕々に善惡を話すことは避けたい、舊官銀號の發行紙幣回收は非常にうまくやつてゐる、三千萬圓の國債は日本內地で募集してゐるが、これを如何なる計畫のために使用するか詳しいことは知らぬ

なほ兩氏は大連に四五日滯在この間關東廳を訪問する豫定である

十一月の海運界

大連港を中心とする

大連港を中心とする十一月中の海運市況を概觀するに先づ近海方面においては月初北洋材積取一巡と共に小型船腹北方より復歸し、局部的に船腹幾分緩和し、且南北支方面の市況依然

混沌狀態 にあり、滿洲特產物出廻り又遲々として出廻り近海の荷動き活潑ならざりし爲、海運市況も一服の狀況を示し、若松、橫濱間(石炭運賃は先月末の一圓十錢より一圓に降下を見せたその後爲替關係に基因する遠洋方面の大型船腹拂底の度は愈々加はり勢ひ近海就航船腹の遠洋への轉航を誘致し偶々中旬に至り內地沿岸を襲ひたる暴風のため永濱泊船又は海難船多數を出し、適船の拂底益々甚だしく一方南支の排日緩和北支の荷動き恢復、滿洲特產物出廻り開始、內地農工業方面立直りによる需要力擡頭等により市況は硬化し、若松橫濱間石炭は忽ちに反撥して一圓十五錢となり下旬更に一圓二十五錢に昂騰した

大連輸出 としては滿鐵貨車の他線出動のため甚だ潤澤ならざる影響を受け、出廻思はしからず、船腹拂底の割合に市況の硬化を見なかつたが、中旬以後出廻漸增と共に活況を呈し中旬において豆粕阪神八錢、橫濱伊勢灣九錢、九州瀨戶內海方面十錢、下旬各々一錢高を示し巒口積終了と共に今後愈々出廻旺盛を豫想せられ目先き更に二、三錢高を以て越月した、次に歐洲方面にあつては一時旺盛を見せた大豆引合は先月末より軟調を辿り月初期近二十七志、先物二十六志半に反落し荷主、船主共に形勢を觀望し市況は稍閑寂を呈したが

歐洲より の社外配船艤は印度、滿洲方面へも活躍するため豫期の如く本航路に復歸するもの少く適船愈々僅少となり中旬以後出廻り期に入るや買氣俄然復活し適船難に刺戟せられて運賃率も反撥し遂に二十九志取極實現し三十志近きを思はせる活況を呈した、更に米國方面に於ては爲替關係好轉の影響を受け大平洋沿岸向豆粕商談稍活況を見せ月間成約三千噸內外に達したが需要力に自から限度あるため他航路方面に比し尚閑寂狀態を脫しない

大連のプロムナード(3) 河野想

ルンペンの恐怖

北西の風、時々曇霧多し 最低零下二十五度

滿洲は寒い、滿洲は寒い! 空は凍てついた雪模樣、冬、冬、冬 を男は感じた

此事實を何と見る 義憤生

五十行以內 投書歡迎

◇近頃よく遺骨並に負傷兵士の送迎に關し一時の熱は何處へやら最近の大連人士の無關心さに就ては本欄に於ても警告されてゐるのを見受けるが、卅日朝埠頭に於て展開された事實を見ては [illegible] かうとする獨立 [illegible] 新入兵の若々しさ溢 [illegible] 若芽が、蕾立ての白紙にも [illegible] べき彼等青年が滿洲への第一歩を踏んだ其の瞬間大連人士否在滿日本人に對する第一印象として如何なるものを受けたであらうか。

◇僅々四五十人の商工學校の學生のグループ、神明高女生等の女生徒の群が二三十人、あと在鄉軍人が若干に一般市民が數十人と例の汚れた町內會の紫の旗が何十本か(幸ひ最近結構なことには旗持が大部分日本人に代つた) [illegible] 埠頭で大部隊の兵 [illegible] の群は實に寥々 [illegible] の感なきを得な [illegible] 指揮官の「熱烈なる國民の歡呼の聲に送られ」「今茲に大連市民各位の熱誠こめたる歡迎を受け」と云ふ二つの言葉の裏の事實を比較して見よ!そして序に丁度同時刻頃の入船出船の客を見送つた美婦人連の雜沓と對照して見よ!

◇「もう彼此一年以上も連日の樣にやれ遺骨、やれ白衣の勇士のやれ何々と悉く出かけては仕事にならん」と云ふ申し譯をする者がある、斯う云ふ筆者も可成無沙汰することがある。

◇然しながら獨立守備隊の入營、凱旋などさう度々あるものではない、せめて斯うした場合だけでももつと大勢都合して出迎へる事が出來ないものだらうか、遺骨に對しても勿論冷淡であつてよいといふ譯ではないがこれは靜に冥福を祈るといふ方法も他にあるであらう。

◇だが生ける人間には眼があり耳があるのだ、彼等の受けた印象が今後の彼等の働きに又內地への土產話に如何なるヒントを、どんな結果を齎すだらうか、云ふ迄もない事だ、今後もある事だから將來の爲に卅日の埠頭の事實を例證として敢て市民諸君の猛省を促す所以である。

王道政治の精神徹底

平賀周氏語る

さきに來滿以來滿洲國の現狀について視察中であつた前石川縣知事平賀周氏は二日出帆うらる丸にて歸國の途についた、氏は語る

滿洲國の治安については日滿協力の結果漸次回復されつゝあるが、何分滿洲國は建國以來日なほ淺くなされねばならぬ事が多い王道政治を以て建國の精神とする滿洲國の急務とする處は王道政治の實際を國民に知らしめる事で例へば日常必需品の鹽等をもつと安く國民に供給し國民の生活を安易ならしむる事は最も必要である、滿洲國に對する投資についても一般的投資は時期尚早と思ふが、滿洲國政府への融資はよからう、これによつて國內の治安を回復し、總ての基礎が出來れば將來は輝かしい樂土とならう、移民問題も政府補助の移民は補助ある間はよいが永續性に乏しく、日本人として勞働移民は些か無理である鮮人等の勞力移民は可能だが日本內地人は寧ろ資本を有する農村經營者の移民でなければ駄目なのではあるまいか、何れにしても移民も今慌ててやる必要はないやうに考へてゐる

奉天鐵西三工場復活方法を立案

奉天商議工業部門會

奉天鐵西の閉鎖工場製麻、製糖、製粉の復活問題につき奉天商議工業部門會では右の解決は債權者の金融業者と債務者だけでは交涉困難の點あり、拓務省の介添へで處理圓滿解決を期待し野添氏に立案を一任した【奉天電話】

新設各課の分課規定

滿鐵職制改正により新設された各課の分課規定は左の如くである

資料課 (一)情報及資料の蒐集整理保管及印刷に關する事項(二)社業に必要なる一般統計に關する事項(三)調査機關の連絡統制に關する事項

監理課 關係會社の管理に關する事項

審査役 (一)業務の考査に關する事項(二)會計の檢査に關する事項(三)業務の改善に關する事項

計畫部業務課 (一)新規事業の立案及企業化に關する事項(二)試驗及研究項目の統括に關する事項

鐵道部營業課 (一)旅客及貨物の運輸營業に關する事項(二)倉庫營業に關する事項(三)旅館及その附帶業務に關する事項(四)客車の運用に關する事項

輸送課 (一)列車の運轉に關する事項(二)車輛(客車を除く)の運用に關する事項(三)車輛の運用に關する事項(こ)の管理に關する事項

工作課 車輛及機械施設、改良及保存に關する事項

改制後最初の重役會議

滿鐵では二日職制改正後最初の重役會議を開いたが、午前中は石炭液化問題について水谷離開から詳細な經過を聞き午後は今夏北米およびアラスカに出張し砂金採取法および機械設備の研究を終へて一日歸連した地質調査所矢部技術員から視察研究結果の報告を聞き五時散會した

滿鐵各部室の配置替へ

職制改正に伴ふ恒例の各部の室の配置替へは、一日直に總務部庶務課で立案し二日相談を開始した、最初の案では商事部を新館に入れ監理課と審査役をその後に持つて來る筈だつたが、商事部が肯ぜぬため取止めとなり、經調の新館行きその他の說も出たが、これまた色々難點あり、結局當分はこのまゝとして大移轉は行はぬことに決した、たゞ總務部の渉外事課が廢止され一部は文書課へ、他は鐵道部と地方部に分散することゝなり空室となるので、かねて埠頭に因つて來て不便を喞つてゐた經調の一室を本社に返して渉外事課室に入れることゝなつた

大連港檢疫數

海務局の調査による十一月中檢疫人數その他、いづれも增、增、增の傾向を示し景氣は海からの感が深い、船舶數三百四十二隻その總噸數九十萬七千三百四十八噸、檢疫人員數四萬六千六十名、昨年同月に比較すると隻數で二十五隻、噸數で九萬七千七百九噸、人員數で七千九百八十四名の增を示してゐる

橋本課長赴任期

【東京特電二日發】滿鐵本社主計課長に榮轉した東京支社橋本經理課長は後任者に事務引繼のためと滿鐵來年度豫算說明のため關係官廳に出頭する必要上年末まで滯在來春早々赴任の筈である

ロシア政府の對滿商業政策轉換

新情勢を考慮して

ソ聯政府當局においては滿洲の新情勢に適應する對滿商業政策の轉換を計るもの、如く、ソ聯國の滿洲における商業的前衛として活動してゐるソ聯國駐滿商事代表部においては近くその

商業方針 を根本的に改革することゝなつた、卽ち從來ソ聯商品の滿洲內における販賣は在滿商事代表部において本國より輸出品を取寄せ在滿の商業機關と折衝しこれを販賣してゐたもので多くの商品は常に右代表部に多數ストックされてゐたので、注文の都度直に荷渡しを行つてゐたのであるが、今回の商業政策の轉換から今後はこのストックを廢し注文に應じその都度本國よりこれを取寄せ荷渡しすることになつた、またこれと同時に從來各代表部に

ストック してある商品も一應本國に送還することになつたので、目下奉天のソ聯商事代表部においては、送還準備を行つてゐる、右ソ聯國政府の對滿商業政策の轉換は在滿商人に取引の遲延を來し非常な打擊となるが何が爲め斯かる商業政策の轉換を行ふに至つたか各方面から非常な注視の的となつてゐる

商策轉換は全くデマ 奉天代表部長談

右につきソ聯側の意嚮を糺すべく駐奉ソ聯國商事代表部長クリートフ氏を訪れると氏は、この事實を固く否定し

それは全く何かの間違ひでせう此處には何等さうした通知は來てゐない、通商代表部を廢止するとか、或はさうした色々のデマが飛んで甚だ迷惑をしてゐる ソ聯國の商事代表部は資本主義國家における個人的商業經營とは違つて國營のものであるから千や萬の商品を何を苦しんで再び本國に送還する手數を必要としやう、ソ聯國は滿洲國內における今後の商業的取引の擴展により大なる希望をかけてゐる、現に石油の如き日を逐ふてその需要品は增大してゐる、しかし今日においては鐵道聯絡が惡いためソ聯國からの商品輸送がないのでストック商品も殆んどなくなつてゐる、これが爲め商品の販賣も思ふやう運ばず手持無沙汰な位で鐵道の連絡さへつけば今後一層滿洲國內への商品の輸送を欲求してゐる【奉天電話】

對米戰債とポンド爲替慘落

考察すべき二原因

戰債問題の紛糾に連れてポンド爲替が益々下がり各方面のセンセーションを起してゐる本月中旬には戰債解決の時見直し氣配であつた、然るに一月三日に至りフーヴァー大統領拒絕のステートメント發したので俄然急落、未曾有の落込んだのである

一方ポンド爲替の慘落に連れて二十五日のニューヨーク [illegible]

[illegible] 當時においては支拂年額は三千三百萬ポンドにしか當らなかつた、それがポンド爲替の下落で今日では五千六十萬ポンド、更に物價の下落を考慮に入れると右は實に九千萬ポンドにも相當するこれはドーズ案によるドイツ賠償年額の四分の三にも匹敵するものである、のみならずアメリカの關稅障壁で物資による支拂ひは益々困難になつた卽ち一九二三年のイギリス對米輸出は六千百萬ポンド(戰債年額の約二倍)であつたが一九三一年には僅かに千七百萬ポンドに減つてこれで戰債を賄ふとなると三、四年かゝる有樣である ×

然しポンド爲替が斯く動搖するに至つた原因に關して考察すべき點が二つある、卽ち

一、國際貿易萎縮の結果、爲替市場が小さくなり僅かの賣り物買ひ物にも市場が容易に影響されるやうになつた事

一、金本位を離脫した結果、季節資金の移動に容易に左右されるに至つた事である

勿論金本位を離脫せる場合においても季節的若くは人爲的浮動を調節し得る方法はある、然しこれが爲めには、爲替資金を充分持つてゐる事並に當局者がレートの購買力比價について確乎たる認識を持つてゐる必要がある

然しイギリスが十分の資金を持つてゐるかどうかは一般には知る由もない、政府は一億七千五百萬ポンドの爲替平衡資金を持つてゐる筈であるがそれがどうなつてゐるか——資金がなくなれば議會に要求して補充し得る事になつてはゐるもの、その事に就いて何等聞かない、兎に角理由は判明しないながら巧く運用されてゐない事だけは確である

更にポンド安定の目安などこに置くか、その經濟的パリチー如何といふ問題に就ても、政府は明確なる認識を持つてゐない——と一英誌は政府の態度を非難してゐるこの事は同時にわが國についてもいへるであらう

大觀小觀

理事會から總會へ總會を開くには先づ以て十九國委員會を開く▲十九國委員會から總會へ總會から又何かの委員會に持つて行く積り▲國際聯盟といふ所は、自分では仕事をせず、何でも他人に押しつけんとする所▲仕事が早く片づくを好まず、徒らに時日を遷延せんとして、あたら月日を如何に空費せんかに苦心する所▲成る程松岡代表の言ひ草でないが、歐米人の氣の長さ天下無類▲さすがの支那もシビレを切らして、期限延期の期限をきめろと云ひ出した▲日本ももつと勉强して、氣長く構へ込んで然るべし▲一日の十九國委員會における支那の要求も一も二もなく蹴飛ばさる、聯盟は最早支那を眼中に置かず▲顧維鈞から張學良に宛てたと云はるゝ悲觀電報說も此分では決して無根とは云ひ難し▲ドイツ外相ノイラート男、內政の危機解決さるゝまで、ジュネーヴに出掛け難しと打電す▲二回引續きの總選擧に、二度共第一黨を占めた國粹社會黨を除け者にして內閣を作らんとの大統領の計畫▲ファッショとファッショとの鉢合せで、實際危險千萬の國情にある。

人事

▲中西敏憲氏(滿鐵地方部長) 新任挨拶のため二日市內各方面歷訪

▲武部治右衛門氏(商事部長) 同上

▲竹中政一氏(滿鐵理事) 二日「はと」にて上京

▲宇佐美寬爾氏(滿鐵哈爾濱事務所長) 同上奉天へ

▲林顯藏氏(滿鐵總務部庶務課長) 二日新任挨拶のため市內各方面歷訪

▲宮本通治氏(同資料課長) 同上

▲山田龍男氏(大藏省銀行檢查官) 二日「はと」にて來連ヤマトホテル投宿

▲大平三郎氏(同檢查官補) 同上

▲グリーン氏(トーマクック東洋支配人) 同上

滿洲國童子團 香港丸で歸國

【門司二日發】訪日滿洲國童子團代表一行は歸國の途香港丸にて門司着官民多數に出迎へられ少年團と交驩したる後市內見物をなし大連に向つた

山成副總裁歸任

【東京特電二日發】日本シンヂケート銀行團に對し三千萬圓借款のため滯在中の山成中銀副總裁は既に用務を果したが滿鐵時代ナショナル・シチイ・バンクより借款せる問題に關し同銀行の東京支店長と屢々會見協議の結果折合もついたので二十九日夜九時四十五分東京驛發朝鮮經由で歸任することになつた

市況(二日)

株式

東新株新高値 當市も强調

內地の後場東新の新高値を入れて當市も諸株共騰りに引けた

特產

買氣旺盛で大豆堅調

後場の定期は大豆は南支及油坊筋の買に堅調を辿り豆粕は邦商買に強含を呈し豆油は不申高粱は軟に強調を辿つた

錢鈔

材料薄で保合閑散

後場爲替變らず閑散裡の保合に引けた

商品

麻袋强保合 綿糸昂騰

綿糸 大阪三品の後場各限三圓高を入れ當市もマバラ買で小締み高を入れ當市もマバラ買で小締みをみた

奧地市況

市場電報

神戶特產 / 東京株式(短期) / 東京株式(長期) / 大阪株式(長期) / 大阪株式(短期) / 大阪期米 / 神戶期米

物騒な歳の暮

▼…いよ／＼物騒な歳の暮がやつて來ました、暮には各警察刑事部の犯罪統計は、毎年きまつて激增を示してゐます、殊に本年は母國、滿洲を通じて大事件が續發し、近來稀な殺伐の時代相を現出してゐますので、この年末は一層氣づかはれてゐます

▼…當局でも皆樣が安心して生活出來るやうに、早いところは十二月一日から非常警戒に當つてゐますが、この際唯當局にばかり頼らず、自ら被害を防いで、民衆警察の實を擧げることに努めれば、如何に兇暴な強盜窃盜の類も、各家庭の一寸した注意で案外容易に除かれるものであります

▼…防犯の注意としては、戸締の用心、勝手口の注意南京錠を使ふな……等々、色々とありますが、是非とも行つていたゞきたいのは外燈、街路照明等の施設の完備であります、經濟的事情もありませうが「屋外の照明は無言の警官」といふ標語すらある程です、各家庭各町會は是非屋外照明に今一段の意を用ゐられたいものです

ソフトの被り方

斯うすれば理想的

◇…東洋人は百人が百人まで帽子を被ぶるときや脱ぐときに帽子の山を指三本でつまむ惡い癖がありますが、このために高いお値段の品物も僅かな間に指のあたるところに孔があいて臺なしになるばかりでなくスタイルを全くくづしてしまひます(寫眞上)

◇…で、帽子を被ぶつたり脱いだりするときには何といつても右手で前ツバを持ち、左手で後ツバをもつのが理想的で、これなら決して型の崩れる心配もなく帽體に孔をあける惧れもありません(寫眞下)

◇…西洋人はながい習慣も手傳つてゐませうが、東洋人のやうに帽子を無雜作に取扱ひませんので彼等の帽子はいつもキチンとしてゐます、モボをもつて自ら任ずる彼や彼氏、帽子の被り方をお改めになつては如何です

婦人靴の選び方

先づ第一に自分の體格や足の形と相談が必要です

極く自然な型が無難

小さい 時から下駄や草履を履き馴れた日本人の足は一體に巾が廣くて扁くおまけに甲が高くて洋靴を穿くには不恰好ですがそれでも靴の選び方によつて相當誤魔化せるものです、足が大きいからといつて無理矢理に小さい靴を穿くのは却て大きく見せるやうなもので横の深さも相當あることが必要です、足のはみ出るやうな窮屈な靴を、さも痛さうに引摺つて歩くのは見られたものではありません、このごろ流行の紐も釦もないパンプスは足を大きく見せますから足の大きな方には禁物です淺く編上げて稍幅の廣い紐を結ぶと一寸足の

大きさ がかくされますが最も効果的なのはT字型のストラップ(釦かビジョウでかけ紐をとめる式のもの)で、ストラップのために足を半分に區切られて細く見えます、踵は高い加減の方が細く見えるのは、無論ですが靴に馴れない方や扁平足の方には不向です、馴れない方がハイヒールでお歩きになるのは見るからに危つかし氣ですし、扁平足の方がハイヒールで遠みちでもなさらうものならそれこそ新調の靴を投げ捨ててしまひたい位足の筋がつゝばるからです、日本婦人にはこの

扁平足 が案外多いやうですがさういふ方は幅の廣い踵の低い靴に限ります、スラリとしたスタイルのよい方には先の細いパンプスのハイヒールもシックですが、極端に背の高い方ならヒールは餘り高くない方がお得でせう、ズングリした方には勿論ハイヒールが効果的ですが、餘りヒールの華奢なのは寧ろ滑稽ですから相當肉のあるハイヒールをお選び下さい、小さい時から靴ばかりで育つた歐米人でさへ足に合はない靴には隨分惱まされるものと見えて先年トウ(爪先)の極端に細いポイント型が流行つた當時にはドイツあたりでも靴の型録には必ず靴まめの廣告がついてゐたと聞きます

今では こんな非衛生的な靴はアチラでは殆ど影を潛めて圓味のあるごく自然な型にかへりつゝあるのですから、特別に足先の扁たい日本人が今更この弊に倣ふまでもありますまい、お正月の靴でもお選びになるやうでしたら先づ第一に自分の體格や足の形と相談する事が必要ですが、わけても中年以後になつてはじめて靴を穿かうといふ方はよほど愼重に考へて、靴の恰好より何より先づ自分の足に履き易い足の疲れないものといふモットーの下にお選びになるべきでせう、それにはヒールの極端に高いパンプスは不向ですが、ストラップのついた二吋位の踵で爪先の圓い廣目のものなら大がい御婦人方に歩き易くて醜くないと思ひます

齒と健康……(上)

大連醫院齒科醫長　田中貫一

口は禍ひの門と申します、醫學上の見地から見ましてもまた、この言葉に眞理があると思はれるのであります、多くの病が口から入つて參りますことはこゝに申し上げる迄もないのでありますが、最も明かな場合を申しますと「コレラ」にしろ「チフス」にしろ又は赤痢にしろ、いづれも口を通して入つて參ります(勿論口を通らず入つて來る病も澤山ある例へば「ペスト」の如き)其等の病はいづれも急性の病で流行の時等と云ふものが大體に於て一定して居り且つ防疫方法もよく行屆いて居りますから、かなり避け得られるものであります、罹病する人の數も、今日では著しいことはない、文化の程度の進んだ都市では殆ど之れ等の病に對して心配する事はなくなつたのであります、我大連は殘念乍ら未だ其の程度にはなつて居りません

▼……▲

今申しました樣な急性の病に對しては、人々は可成り敏感でありまして、非常に注意を致しまするが、慢性の病即ち非常に徐々にやつて來る病、言葉を替へて申しますれば、徐々に健康を害して、尊い生命を短くするといふ樣な病に對してはあまり關心をもたないのが一般であります、死と云ふ事に對しては、誰しもが恐怖を有するが、これに直面しない間は忘れてゐる、これはそうなくては人は生きて行かれない、が然し死を恐れる必要はないにしても、之れある事を忘れずに、一日でも長く生きなければならない事を願はなければなりますまい、勿論國家有事の際に、一命を捨てる事は誰れしもしなければならない事で有りますが、其れにしても健康なる身體を不斷から養つて居なければ、たゞ犬死に終る樣な事さへも起り得るので有ります

▼……▲

諸種々なる慢性の病、又は不知の間に健康を害する樣な事は口に其の源を發して居る場合が非常に多いのであります、口と申しますが、こゝで云ふ口とは、主として齒を指すので有ります、口の病で主なるものは卽ち齒の病で有るからで有ります、齒の病を大別しまして齲齒と齒槽疾患(齒グキの病)との二つにする事が出來ます、齲齒と申しますと、齒牙硬質の缺損を來すもので之れに引續いて起る種々の病を總括して假に齲齒と申します、齒槽疾患と申しますと、齒牙實質には關係なく齒牙を支持して居る周圍の細織、主として骨粘膜及び結締織の病であります、今之の主なる二つの病が全身の健康に如何なる影響を與へるかを暫く述べて見度いと思ひます

▼……▲

口は消化器系統の一器官として如何なる役目をするかと申しますと、我々が食物を口の中へ取りますと先づ齒を以て嚙み碎く其の際に如何なる變化が起るかと申しますと、第一に大きな塊を細く細くして次にそれを粉の樣に平たくする、この作用が非常に必要なのでありましてこれによつて食物の表面を廣くする卽ち消化液が作用し易くなる樣にするのであります

例へば氷砂糖を水に入れても中々溶解しないがこれを碎き細かくすると早く溶解する之は水が作用する表面を大きくした爲めである其れと同じ理由で有ります、其れから口の中にある唾液でありますがこの中には「プケアリン」と稱して「タカヂアスターゼ」と同じ作用を有する酵素が含まれて居て含水炭素卽ち米、野菜の主成分を糖化するのであります、斯樣にして嚙み碎かれて一部分酵素により消化された食物は胃並に腸に送り込まれ、そこで又胃液膵液の作用を受けるのであります

▼……▲

今假に消化器系統の門戸である口の機械的並に化學的の作用(この二つの作用を一所にして咀嚼と申します)に不完全な處があつたとしますると、其の不完全な部分だけ胃又は腸で補つて行かなくてはならない、卽ち胃又は腸はそれだけ餘分の働きを常に營む爲めに破損し易くなるは理の當然な事であります、其れ故に胃腸を健康に保つ上に咀嚼機能を完全にしておくと云ふ事は絶對必要な事であります、この問題について統計的に調べて見ると、胃腸病者の多くの人に咀嚼機能の不良の者が多い、又日本の或大學で實驗的に咀嚼機能の不良な人で然も胃腸病で入院して居る人の咀嚼機能を完全なる義齒を以て回復した結果いづれも非常な好成績を得たと云ふ實驗報告があるのであります。

滿洲婦人歌壇

前島泉竹

○滿洲の野に秋たけて降る雨の露に山べのもみぢ染めゆく

○晩秋の風の間に／＼落葉せしポプラの並木路淋し夕ぐれ

○この日頃風いと寒く學びやに出で行く子の身思ひやる朝

○霜月の風吹き荒るゝ曠原に戈とる皇國ますら夫を思ふ

○いかづちの荒るゝ夕べは南山ゆ吹き來る風もすさまじきかな

家庭顧問

肝油をのませた三人の子の耳がたゞれた

【問】三歳と五歳と七歳の子供に二十日程前から肝油を服用させてなりますが飲みにくがりますので葡萄酒の上に落してやつてゐます、ところが四五日前に氣づいたのですが三人共耳の附根がただれた樣になつてカサブタが出來てゐます、肝油のために出來たのでせうか(大連一愛讀者)

肝油の爲でなく誰かの濕疹が傳染したもの

金子甚藏

【答】たゞれたのは肝油のためでなくたま／＼誰かに濕疹が出來、それが傳染したのだらうと考へます、お子さんに肝油をお上げになるのは結構ですが一時的に多量與へるのは害あつて効果が尠いから、少量づゝ永續して用ゐられるやうおすゝめします、飲みにくければ砂糖水、サイダーなどに浮して用ひてもよいが酒精性の飲料はお子さんの發育に害がありますから葡萄酒に浮すのはよくありません、年齢によつてはドロップでもよいでせう、下痢や消化不良の際には服用を中止して元氣な時にやるやうになさい、虚弱な腺病質の子供には肝油は大變効果がありますが健康な營養狀態の良好なお子さんには一般食餌に注意すれば肝油は寧ろ不必要です。

お料理のメモ

牛肉の白菜巻

▲材料(五人前)＝牛肉七十匁、白菜五六枚、葱少々、砂糖五匁、醬油一勺半

調理 牛肉の挽肉に葱又は玉葱を細かく刻んだものをまぜます白菜は大きなやはらかな葉をえらびサッと熱湯に通し爼の上にひろげて固い所をこそげとり一枚一枚少しづゝずらして重ね乍ら並べます、前の牛肉を棒狀にまるめて白菜の手前の端に置きクル／＼と端から巻いて鍋に入れ、分量の砂糖と水八勺を加へてとつぷり煮込み醬油をさして更に暫く煮ます、内部まで程よく味がしみましたら小口から五六分に切揃へ、深皿に恰好よく上向に並べ上から煮汁を少しかけて供します、お好みによりその上から胡椒、七色唐辛子等をかけたのも風味がありませう。

里芋田樂

▲材料(五人分)里芋三合、味噌五十匁、青柚子一個、砂糖大匙一杯、煮出汁少量

調理 里芋は俗にまご芋といふ小粒の圓つこいなるべく粒の揃つたものを選びます、これを擂鉢に入れれんぎでゴロ／＼擦つて皮をよく落し綺麗に洗ひ上げます、鍋に湯をたつぷり煮立てて前の里芋を軟かになるまで茹で後水にとつてヌラ／＼を洗ひ去り笊にあげておきます、柚子は丸ごとよく洗ひ周りの青いところを卸し金で摺り卸して置きます。味噌は擂鉢でよく摺り砂糖を加へ、更に適宜の煮出汁を加へてドロリとした加減に摺りのばし裏漉しにかけて置きます、前の里芋を一つづゝ布巾に包み水氣を拭きとつてそれから芋の頭を指でつまんで好みの形につけ、金串に三つ四つづゝさして中位の炭火で兩目に焼き目を一寸つけます、串から抜いて皿に恰好よく盛ります、味噌は前に準備したものを鍋に入れ火にかけて適當に練り上げ、お芋の上からかけ、その上に摺り卸した柚子を振りかけてあたゝかいうちに供します、もし金串がなければ金網で焼いてもよく、炭火の代りに瓦斯で氣永に焼いてもかまひません

滿日各地版

沿線市民涙の中に 白衣の勇士を送る

二百二十三體の芳骨を乘せ 悲しみの列車南下

【遼陽】[illegible]細矢分會長、聯合婦人會長多門師團長夫人其の他の燒香騎兵〇隊の捧銃敬禮裡に靈柩車は靜かに離遼南行した

【鞍山】北滿大安鎭並に蘇炳文の部下張殿九の部下との戰ひその他で名譽の戰死を遂げた二百二十三勇士の芳骨は一日午前九時二十四分鞍山驛通過内地へ悲しい凱旋の途に上つた、驛頭には上田大隊長を始め守備隊幹部、小野時局委員長、泉警察署長並に幹部加藤協會長、阪元理事、矢澤日向校長、林地委議長、上田驛長、在鄕軍人分會、青年團、小中學生、時局婦人會其他官民多數の迎送者ありホームに於て佛敎團の讀經各代表者の燒香があり靈柩車は悲しく凱旋の途に上つた

【大石橋】北滿の曠野に皇軍の威武を發揚し名譽の戰死を遂げたる第〇〇師團の二百二十三體の遺骨は午前十一時二分着第十六列車にて通過したが定時前既に各官公衙代表者を初めとし一般官市民、小學校、家政女學校、幼稚園其他婦人聯合會員驛頭を埋め最も嚴肅裡に之れが靈柩を見送つた

【瓦房店】北滿に於て壯烈なる戰死を遂げた悲しき勇士の遺骨二百廿三體午後二時十七分着第一六列車にて通過驛頭には松井中隊長外〇〇名、大内警察署長、越智地方事務所長、學校生徒、在鄕軍人、警察官其他日滿官民多數驛ホームに整列一同最敬禮、豫て用意の燒香壇に松井守備隊長、越智地方事務所長、大内警察署長、上野郵便局長、雪本校長、深井國際警察隊長、上野局長夫人代表して燒香冥福を祈つた

市民に迎へられ 入營兵到着

元氣で守りの第一線へ

【大石橋】本日午後一時十五分着第一九列車にて當地獨立守備第三大隊附赤尾軍曹引率の下に各中隊〇〇名の新入營兵士が到着した驛頭には一般官市民を初めとし小學生家政女學校幼稚園各生徒を初め婦人聯合會その他各團體各自に國旗を打ち振りつゝ出迎へたが列車到着と共に長途の旅の疲れ顏にも出さぬ新兵勇士ホームに降り立つや平尾地方事務所長は一般を代表して歡迎の辭を述ぶれば新入兵總代神崎正若之れに答へ意義深き滿洲國に威風堂々其の歩を進び熱狂的官民各學校主催の萬歳聲裡に守備隊に入つた

瓦房店到着

【瓦房店】滿蒙の權益擁護重き使命を帶びて生命線に勇み立つ入營兵今關武保等外四十一名は十二月一日午前九時四十三分着第一九列車にて着任驛頭松井中隊長〇〇名越智地方事務所長、大内在鄕分會長、在鄕軍人、警察官、學校生徒其他日滿官民多數出迎へ萬歳の嵐日丸小旗を振り翳しホームに整列越智地方事務所長市民を代表して神州健兒の氣慨を感謝し青年斯にある新興滿洲國と提携して樂土建設の大偉業の完成につとめられたしと熱誠罩めて挨拶を述べ武運長久を祈つた、入營兵を代表して今關武保氏大和民族天賦の使命を全うし皆樣の期待にそふことを誓ふと底力ある口調で答辭を述べ大内鄕軍分會長の發聲で入營兵の萬歳を三唱し威風堂々憧れの兵舍に入つた

到着した入營兵 瓦房店にて

熊岳城入營兵

【熊岳城】溫暖の内地より滿洲守備の大任を背負つて寒さの滿洲に向つて今回熊岳城部隊に入營すべき新入兵四十五名は十二月一日午前十一時三十分着列車にて驛頭に下り立つたが驛頭には在鄕軍人を始め學生々徒、婦人會員、一般在住民の出迎へ多數であつた就いて居住民代表者古川地方委員議長は昔乍らの軍人タイプをどつかと構へ新入兵一同に對し出迎への挨拶を述べた之れに對し代表者衣川敬次氏一場の挨拶をなし終つて堂々と兵營に向つた

傷病兵轉療

【鞍山】北滿の兵匪討伐に曠野を轉戰し幾多の功績を樹て新京衞戍病院に入院加療中の傷兵を始め公主嶺、奉天、遼陽等の二十七勇士は今回内地へ轉療することゝなり一日午後十時四十五分鞍山驛通過の列車にて内地送還の途に上つたが驛頭には時局委員會を始め在鄕軍人分會其他各方面代表有志多數の見送りがあつた

感激の歡迎 われらの愛國號

熊岳城市民の熱狂

【熊岳城】三十日午前十時過ぎ我等の滿洲號が飛來すると云ふので定刻前練兵場に集まつた群集は十一時近く既にコースが違つて東山方面を南方に飛び去り既に萬家嶺通過の電話にたゞ呆氣なく待ちぼけうけたのみで歸途に着いた、十二月一日新京への歸途感謝飛行を行ふとの

通知 に今日こそはと午前九時半既に大日章旗を中心に小學生、公學堂生其他婦人會員一般居住民と小旗を手に手に練兵場めがけて押し寄せて來た群集は機影の現はるべき南方の空を見つめて今やおそしと待ち構へた清く澄み渡つた空に銀翼をきらめかした二機の雁行する姿が南方はるかに黄旗山のあなたに見え出したと見るや一同は小旗を打ち振り歡呼の聲を上げたが歡迎場を認めた二機は急速度にも一直線に頭上に現れ急回旋飛行をなし鮮かに愛國六十二號六十三號の文字を見て滿洲號の大文字が讀めた、又一しきり萬歳の叫びに機上高く打ち振る空の勇士の姿さへ群集の眼に映つた二回三回宙返り横轉逆轉の妙技を行ひ傍らの電燈會社煙突に正面衝突をなすべしとさへ思はるゝ思ひ切つた

低空 飛行に手に汗を握り肝を寒からしめた瞬間すばやくも左に急轉し最後の一回旋をなしつゝ悠々北方にコースを取つた、見送る群集の眼には喜悅の涙と驚きの涙とが光つて我が滿洲號の偉大なる戰鬪力發揮を祈り君國に報ゆる偉勳の輝かしさを念じて機影の遙かに北方に消ゆる迄見送つた

愛國號歡迎

【瓦房店】愛國號第六十二第六十三號の二機は三十日瓦房店に襲來する旨通知に接したるを以て瓦房店地方事務所庶務藤井辨助氏は市報で哀願したるに快諾を得直に市民に通知、瓦房店市民は老も若きも一人殘らず驛前公園に集り今かくと鶴首して待つてゐた定刻より二十分遲れて午前十時四十分市の上空に爆音勇ましく雄姿を現し無返し逆轉低空航空あらゆる高等飛行をなし市民の熱誠なる歡迎に四回旋回四十五分普蘭店に向け雄姿を沒した

營口の歡迎

【營口】全滿二十餘萬邦人及滿洲國有志の熱誠をこめたる我滿洲號六十二及び六十三號の飛行機は報告飛行の爲め一日午前十時頃營口の上空に雄姿を現はし約十分間市街の上空に於て數回の旋廻飛行をなし市民に敬意を表した、二機は市民及小學生徒の歡呼に應へて一々機上より手を打振り挨拶するさまが手に取るやうに見えた二機は機首を東に萬歳の聲に送られつゝ爆音高く遙かに大石橋指して雲のまにく消えて行つた

邊防歸順式 第二回目を擧行

邊防重ねて誠意を誓ふ

【大石橋】海城縣牛莊に根據した邊防は其の宿望たる歸順認許されたるが、牛莊を根據とし附近一帶の警備に就く關係上十一月二十八日同三十日の二日間に亘り海城野砲聯隊練兵場に於て海城及鞍山大石橋各日滿官民代表者參列の下に盛大嚴肅裡に擧行された第二回歸順式は分馬隊、歩隊に對しては前回同樣十一月三十日正午より野砲練兵場にて擧行され、前回同樣獨立守備歩兵第三大隊長岩田中佐を初め孫海城縣長野砲第二聯隊殘留部隊長若尾大尉、奉天省警務廳片岡總務股長大石橋原田署長その他海城大石橋日滿官公衙長以下有志多數參列したが邊防は部下二百名と共に整列の上前日同樣の次第に依り最も嚴肅裡に歸順の意を表し午後一時三十分無事終了した

邊防は本年七月十三日部下二百餘名を率ゐ牛莊城に侵入し以來勢力頓に加はり爾來海城縣第五區農商自衞團大隊を組織し該地方に於て保險制度を敷き徵税を爲して居たが其の間自ら其の非を覺り漸く心境良好を加へ八月二十八日牛莊商務會長外十數名を使者として海城守備隊分遣隊及海城憲兵分遣隊に歸順の認容方を海城縣長に請願し傍ら附近の匪賊を討伐する等誠意を表して使者を送る事三度に及んだので本人の眞意を確めた上孫縣長岩田大隊長及奉天省主務廳と協議の上今日正式歸順の運びに至つたものである

邊防の誓詞左の如し

[illegible]顧に際し謹んで[illegible]不肖[illegible]國政等幼時より浮浪に育成し智識不充分にして血氣迷惑の間恰も野盜蜂起に際し人民の被害莫大なるものあり生命の危險飢寒逼迫に遂に仁義を忘れ匪類に誘惑され身を匪軍に投じ以來今日に及ぶ今回縣長並に大日本官憲及び北方士紳の多大なる寛心を以つて容赦されたる恩義は終生忘るゝことなし國政等幸にして過去罪跡を赦免され茲に重職を授けらる國政等爾今有終の美を發揮すべく一意改心に全力を捧げ絶體に我縣長の命令に服從し地方の保衞に盡力す若し將來改心せず匪賊に復し或は人民に對し逼迫等を爲し國政等萬一法綱に觸るゝ時は必ず天誅を甘受す茲に謹んで宣誓す

大同元年十一月三十日、林國政、張繼田、陳殿鳳、王占元、郭榮武、李鳴周外一同

大滿洲國大同元年十一月三十日

スケートシーズン

奉天の準備 撤水開始

銀盤上諸行事決る

【奉天】銀盤上で跳躍するスケーターの待ち構へてゐたウイタースポーツのシーズンが到來したので滿鐵スケート部では豫て國際運動場にスケートリンクを開設すべく撒水中であるが昨今の溫かさに結氷が十分でない、しかし今少し寒氣が加はれば十分スケーチングが出來るので萬端の準備を整へてゐる、本年もスケートリンクの設備は大體例年と變りなく殊に本年は初歩のものにも三日間位で完全に滑走出來るやう親切にしかも無報酬で指導される事となつてゐるので希望者は滿鐵社會係又は國際運動場スケート場に申込まれたいと尙今期の氷滑行事及び料金は左の通りである

▲氷滑行事 十二月四日スケート場開場、同十五、十六、十七日三日間講習會、同十八日リンク開き、同廿九日奉天レコード會一月五日安奉對抗競技大會、同八日全滿中等學校氷滑大會、同十五日全滿選手權大會、同二十二日奉天選手權大會並にスケート祭、同二十九日全滿初等學校大會、紀滿大會(於安東)二月五日納會

▲料金 大人一般一期間一圓五十錢、滿鐵社員一圓廿錢、學生軍人一圓、兒童五十錢、一回券十錢、時間午前六時から午後九時まで

營口商業學校

再興の運動

【營口】先に自然廢校を餘儀なくされた營口商業學校は目下營口在住の同校出身者に依り母校の廢滅は惜しとして忍び難く又滿洲國成立後の日滿關係頓に緊密となつたため斯の如き學校の存在は今後愈々其必要を感ずるので營口商實業局長孫奎俊氏を會長とし母校再興運動達成に邁進を謀る事となつた

關東廳圖書館で 美術印刷展覽會

三日四日の二日間開催

【旅順】關東廳圖書館では十二月三日四日の二日間午前九時から午後四時迄左の如き美術印刷(珂羅版)展覽會を開催する

▲卷物の部 國寶北野天神緣起、閻立本、隨身庭騎圖卷、御物繪師草子、顧愷之作品、芭蕉[illegible]

▲軸物 榮之、之信、宗達、雅邦雪舟、松花堂(四本)大觀、兆殿司、不明(寒山拾得)山陽、默庵龍子栖鳳、啓書記

▲帖、其他 時代裂、沈石田畫冊、王石谷畫冊、宋元明清名畫大鑑支那古明器泥像圖鑑、東洋歷史圖譜、古瓦圖鑑、聚樂、南都十大寺大鏡、支那古畫、周漢遺寶

右はいづれもその色彩風韻の點を傳へたるもので苟くも美術鑑賞家考古研究家の決して見逃すことの出來ないものである

奉天鞍山間に 一列車運轉

【鞍山】奉天―大石橋間經油動車は上り下り共に乘客激增し鞍山驛より奉天鐵道事務所へ蒸汽動車に變更方申請中の處此程認可になり一日より三等客車二輛を連絡して運轉されることゝなり一般乘客は頗る便利となり非常に喜ばれて居る

滿鐵大風一過の跡

馘首なき朗かさ 頭株外の異動は

大體還元した奉天

【奉天】滿鐵の今回の職制改正に依つて奉天事務所は解消され奉天地方事務所に還元し鐵道事務所と販賣事務所が分離しまた人事では粟野公所長の地方事務所長、荒木地方課長の新京地方事務所長等の入替りで奉天としては相當大きな變化ではあるがこれ等は大體において內々豫想されてゐたところであつたし、それにいつもの職制改正に伴ふ馘首者が今度は出ないのでどこも朗かに落着いてゐる、しかし發表された人事は頭株だけでこれから各內部の異動がポツく行はれるであらうから歲末を控へ相當の慌しさを呈するであらう、榮轉の粟野新地方事務所長を訪へば語る

ナニ一寸横に押しやられただけのことだ、公所をどうするかは未だ社報を見ないから分らぬが多分地方事務所の內に涉外係りででもいふのを置くやうになるのぢやないかと思ふ、いづれにせよ明日宇佐美ハルビン所長が來るから十分打合せが出來ると思ふ

鞍山の波動

部內の異動豫想さる

【鞍山】滿鐵職制改正に當り鞍山製鐵所も人事の異動を免れず富永前次長は社員部長制に則つて鞍山製鐵所長に榮進し右近前庶務課長は新設の計畫部業務課長兼滿蒙資源局長に榮轉し右近前庶務課長の後任には長井前人事係長が拔擢せられて其椅子を襲ひ榮進したので一日午前八時半から各課各工場幹部一同を應接室に集め富永新所長から職制改正に伴ふ人事異動の發表があつて富永所長の挨拶、右近前庶務課長の挨拶、長井新庶務課長の挨拶等があつたが、今回の所長、課長の榮進に伴つて製鐵所內の人事異動が行はれるものと觀られて居る

右近前庶務課長は昭和五年八月五日製鐵所庶務課長として來任し昭和製鋼所はもとより鞍洋セメント工場計畫其他に盡瘁し鞍山になくてはならぬ人であるが一方計畫部、業務課長として製鋼所等の各種計畫に參畫することは鞍山住民の意を強ふする所である

因に右近前庶務課長並に長井新課[illegible]

長は一日午後警察署、地方事務所郵便局、銀行會社其他各關係方面を歷訪して挨拶をなした

關屋所長榮轉

【遼陽】滿洲事變突發の數日前着任爾來一年有四ケ月時局に直面して附屬地警備上に軍警と協力在住民をして不安なからしめ一面時局委員長として寢食を忘れて之に專念して遺憾なからしめ又多年遼陽の懸案であつた太子河堤防を完成して氷の都から救出し將來商工業の最適地として企業家招致を畫策し遼陽區列車區の移轉に因る在住者の窮狀に對しては深厚なる同情を以て本社と折衝して之が解決を告ぐる等關屋地方事務所長が一年有餘の在勤中殘した功績は實に多大なるものがあり在住民は恰も氏を慈母の如く敬愛し沸れ行く遼陽の振興發展上同氏をまつ事多かりしに一日附安東地方事務所長に榮轉の旨發表され在住民は惜別處か寧ろ驚愕して居る位である、幸ひに後任石岡武氏は數年前地方係長として在勤され遼陽の事情に精通されて居る事を喜び關屋氏の榮轉を祝福して居る

南滿神社奉建に 旅順で資金募集

取敢へず五千圓決定

【旅順】南滿神社奉建資に關する協議會は三十日午後二時から旅順市役所に於て各關係者並に各町總代三十餘名參集の上磯山助役より從來の經過を述べ武藤長官の意嚮を參酌の上取敢ず工費は二十萬圓とし之れが募集方法の第一歩として第一回の緣資は市中から五千圓を集めたき旨を述べ種々意見の交換を行ひたる結果原案の如く右五千圓は各町總代委員に依つて募集することゝなりその額は大體戶別割標準を以て徵收することゝ決定散會せるが右募集開始は領收證その他諸準備完了次第直に實行する由

三澤氏轉任

【鞍山】鞍山滿鐵醫院庶務長三澤[illegible]氏は今回は旅順醫院に榮轉し後任は遼陽醫院庶務長市村四郎氏が近く着任の豫定である

旅順放送

▲旅順市役所では二日午後二時から市會議員對時局市民會員の參集を求め去る十一月十六日新京に於て開催された全滿居留民總親會に關する報告會を行つた

▲二十九日夜島貫刑事部長が末廣町三井質店を臨檢すると忠海町村田方吉田武雄と名乘り鞨毛皮及びオーバー一枚を十七圓で入質した者があり、不審を抱き取調べの結果此者は去る三十日東町春海樓に登樓中を發見種々取調べた處果して前科二犯の原籍熊本縣鹿本郡華彬村字木留七八〇現在住所不定富永武男(二八)と呼ぶ男で友人の大連聖德街五ノ三九遠藤新方より竊取せる旨自白

▲旅順警察署員一同は一日午後六時から壽に於て岡野警部補に對する盛んなる送別宴を開催した

▲外山新聞店では來る三日昭和園に於て午後六時から十一月行はれた陸軍特別大演習映畫其他を公開する由

▲遞信局加藤航空官は關東廳に航空整備設置等により關係密接となつたので囑託となるに內定

▲久下沼監察官、山口衞生課長はいづれも卅日夜發新京に向ふ筈

▲關東廳新京出張所高倉理事官は滿洲國入りに內定した

會と催し

▲奉天入營者送別會【奉天】三日午後四時から奉天居留民會主催となり敷島小學校において本年の新入營者送別會を催す會費金一圓

▲營口鄕軍役員會【營口】營口在鄕軍人分會は三十日午後六時半より禪隆寺に於て評議員會を開催冬期中の警備團の活動補備に關し種々協議する所あつた

▲瓦房店本願寺報恩講【瓦房店】瓦房店本願寺にては十一月二十九日より十二月一日迄報恩講を修行毎日午後二時夜六時の二回法要說教殊に三十日晝は御俗姓拜讀夜は御傳鈔拜讀三十日夜の說教は大黑の道と題して福池布敎使祖德を偲びて杉本布敎使眞の報恩義職原本願寺住職自覺の眞意義津村支那開敎總長の熱烈なる說敎ありて佛敎婦人會から甘酒湯し饅頭の接待近來稀に見る參拜者が多かつた

▲西田天香氏講演會【大石橋】大石橋地方事務所社會課及修養團主催にて左記に依り修養講演會あり多數御來聽を乞ふと

▲日時十二月四日午後七時より ▲場所滿鐵社員俱樂部 ▲講師西田天香師

▲金州入營者祈願祭【金州】金州から今回入營する外村政幸君外四名の武運長久を祈る爲め市民會及在鄕軍人分會主催で行はるゝ筈の祈願祭は一日午後四時より南山祠前に於て嚴修された、尙午後五時より小學校講堂に於て送別會を開いたが出席者百餘名非常な盛況

沿線往來

▲平井秀記氏(警部) 奉天署より關東廳新京出張所に轉勤の同氏は一日赴任

▲杉浦警部補 大連署に轉勤の同氏は一日赴任

密輸で破産した上 四萬圓の罰金
その判決を冥土まで背負ひ越した 大鐵橋を繞る悲喜劇

【安東】悠容と流れ〳〵て二百餘里、滿鮮を劃する水路鴨綠江に架けられた東洋一の大鐵橋！この鐵橋を繞つて映畫のそれの樣に展開される悲喜活劇は殆ど數へ切れぬ程だ……ギャング式の密輸團の横行もあれば巧妙な手段を弄して税關吏の目をごまかすものもある、江上に起る税關吏と密輸者の活劇や、ピストルに射たれて水中に躍り込みはかない最後を遂げるもの追ひつめられて鐵橋上の鐵路を反對側に渡らんとして江中に墜落したり、等々數へ上げれば限りがない

△▽

昨年秋には安東からの金塊密輸で思はぬ大金を掴んだ者も少くない然も牡丹式に密告で忽ちの内に成金になると云ふ事はあまりにも多かつた、この樣な金塊密輸事件で未だ世人の記憶に殘つてゐるのは罰金四萬圓事件で有名な白善一であらう、彼は數十年前から安義を股にかけていろ〳〵の商賣をしてゐたが、豪腹な彼は領事館運轉手買收の金塊密輸事件にも關係し初め數回は首尾よく成功したのに味を占めた彼等は「一層の事全財産を投げ出して大きな仕事をやらう」と財布の底をはたいて巨額の金塊を買入れ又も領事館運轉手に頼んで自動車で運搬させたのが身の破滅だつたのだ、何故ならば運轉手が金に目が眩み約束を裏切つてこの彼等の全財産を鐵橋脇の支那海關（滿洲國接收前）に運んだ爲め現品は沒收されて仕舞ひ運轉手は何萬圓といふ密告料で一躍成金になりすまして了つたのだから……そして彼等の黄金の夢は破れた、この密輸事件は當時（本年春）の安義は勿論全國を賑がせたものだ

△▽

斯くて彼等は明日の食にも困つた巨萬の財産は海關の金庫の底に唸つてゐるのだが、取つて來よう術がない、彼等はたゞ諦めた、そして第二の方法に取りかゝつた、今度は逆に朝鮮の輸出禁制品を安東方面に密輸出し始めたのである、そして彼等の財布は段々と重くなつて來た、然し喜んだのも束の間新義州税關の探知するところとなり彼等一味に身の危險が迫つたので某所に集合して協議の結果、全責任を誰か一人が負ふ事になり白羽の矢は一味中の年長者である白善一に當てられた、そして白は新義州裁判所の法廷に立つたのだ

△▽

公判の結果は驚くべし罰金四萬圓彼はこれを不服として平壤覆審法院に上訴したが前の判決を覆すことは出來なかつた、そしてそれに服す爲め安東に舞ひ戻つたもの、前の同僚は眞面目に相手になつては呉れず白善一人老の身に悽慘のその日を淋しく暮らしてゐたが去る十月末遂に六十二歳を一期に浮世の苦しみから解脱し去つた、そして罰金四萬圓は實體の消滅に伴ひ自然解消して了つた結局一味の身代りに罪を引受けた白善一は罰金四萬餘圓の判決を背負ひ込み冥土に墜ちて行つたのだ

スケート場新設

【四平街】スポーツ區長を擁する機關區では冬季と共に專用スケート場の設置を目論んでゐたが清般岩永區長の斡旋に依り、區友會其他の費用にて黎明寮西側に建設を終り、近く開場式を擧行の筈

悲觀の新臺子が空前の景氣
事變が産んだ奇現象

【鐵嶺】事變前より衰退の一方を辿り前途が悲觀されてゐた新臺子は時局の安定と銀の暴騰によつて著るしく恢復し殊に特産の出廻期に入つて以來頓に活況を呈し本年春頃まで市中の空屋は五、六十軒を數へてゐたが、最近は一戸の空屋もなく貸家拂底し雜貨店の如き一日三千元以上の賣行きを見るなど空前の景氣來で市中雜踏してゐる、新臺子驛も昨今の埠貨平均二百五六十車に達し九月以來の發送千車を超え諸井驛長以下三十餘名の驛員は休日もなく輸送業務に繁忙を極め到着貨車も一日六、七車を下らぬといふ殷賑である、市中商店繁榮の理由は奥地の兵匪跳梁し民家を荒して滿團は勿論衣類に至るまで悉く掠奪し盡したゝめ農民達は特産を搬出して金に代へ冬の準備に全力を注いでゐる結果で殊に警備充實せる附屬地居住の希望者多く滿洲人に對しても附屬地の借地權が興へられたので土地を借り家を建て或は移住し來る者多く人口も急激な増加を示してゐる

十六ミリ初映寫 今後毎月一回

【鳳凰城】今回鷄冠山小學校二十周年記念に購入された十六ミリ映寫機の初映寫を三十日午後六時より鳳凰城分教場に於て擧行されたプログラムはロスアンゼルス國際オリンピックニュース一卷、健康美一卷、爆彈三勇士二卷で午後九時過ぎ終了したが、時局柄八月以來こうした催しも一度もなく又十六ミリ活映の狀況を見たいとの念願から定刻前から參會者引もきれず無慮三百五十名の多きにより收容の餘地全くなく技師（鷄冠山校教員）の不馴れも映畫の内容にひかされて多大なる感動を興へた因に此の活映會は今後毎月一回擧行される豫定で當地の一大慰安會になるであらう

圖書館荒し豫防 讀者カード作製
安東圖書館で工夫

【安東】靜かな冬の夜を書齋にこもつて愛書をひもどくに相應しい昨今、安東圖書館の館外帶出圖書の數もなか〳〵多くその整理も一通りでないが、數ある貸出書籍の中には往々にして行方不明となつたり紛失したりするのも可成あり然も故意に出鱈目の住所を認め僞名で借り出し日限が來ても返本せぬ者もその後の調査に依つて屢々發見する狀態なので圖書館としてもその不德行爲を默許する譯にゆかず今般讀者カードを作製し整理する一方、ブラックリストを備へてかゝる不德行爲を爲した者に對しては斷然貸出を拒絶し且つ讀者カードから排除する方針をとることゝなつた

安東輸出の穀物に 鄧鐵梅が徴税
強制執行に村民不安

【安東】目下根據地にあつて種々策動中の匪首鄧鐵梅は既報の如く兵器廠、被服廠を設置してその内容整備に努めてゐるが、その後の情報によれば彼は凡ゆる方面より綜合して近く日本軍の討伐あるを豫想し大體左の如く防禦陣地を構築し部下にも訓練を興へてゐる模樣である

一、安東縣第四區長泡子に第二團長四馬子以下四百名を特派して防禦工事に着手した
二、鳳城縣第六區大房身に第三團長曹常身以下三百名を派し工事中
三、鳳城縣第三區長山子に黄世德第四團長以下三百名の大刀會を派し工事中
四、鳳城縣第六區四家子に謝長渉及び李子榮を特派して部下五百名を督勵しつゝ工事中
五、鳳城縣尖山嶺の兵器廠に使用すべき技師數名を各地より募集しなほ大工をも徴發して築城に從事せしつゝある

なほ鄧鐵梅は目下食料に窮しつゝあるので去る廿三日以來安東縣第三區宮内佛爺嶺村に部下を派遣し安東市内に移出すべき穀物に對し次の如く徴税を實施しつゝあり萬一之に應じない者は現品を沒收し荷主を嚴罰に處する旨の布告を爲すと共に強制執行を斷行してゐるので附近居住民は極度の不安に陥られてゐると

粳一石に付　徴税小洋　三三錢
大豆　同上　七七錢
小豆　同上　七七錢
包米一石以上は絶對搬出を禁ず

旅順弓道大會

【旅順】在旅順弓道同好者は斯道の先達下田檢察官長及び青木旅順署長歡迎の意味にて來る四日午後一時より武德會道場にて弓道大會を、夜は六時より新花月に於て歡迎宴を開催するに付多數同好者の出席を望むと（申込は二日中に竹馬氏電話八五まで會費三圓の由）

運命の板倉機 搭乘者死體搜査
特務機關、滿鐵より派遣

【チチハル】去る九月廿七日運命の板倉機が北滿朱家壙北方五德屯子附近に於て機體故障のため不時着陸の已むなきに至り遂に八名の搭乘者は匪賊頭目黄明九のためにはかなき最後を遂げ北滿不毛の野に空しく死體をさらした渡邊少佐以下八名の死體搜索のため松野滿鐵情報部員ならびに保刈チチハル特務機關情報部員の兩氏は二十九日午後四時龍口驛發列車にて道家に内蒙古人チヤオチーハイを帶同皇軍の先發部隊と共に遭難現場に向つて出發した

弓道巡回段級試驗延期

【四平街】十一月下旬當地に於て擧行される豫定であつた大日本武德會弓道巡回段級試驗は時局柄延期となり明春早々を期して實施する由

露美人と駈落の旅費に窮し窃盗
元警視廳の巡査

【吉林】原籍東京府北豐島郡岩淵町赤羽四二〇生れ瀧屋德彌（三二）假名は去る二十七日まで吉林省城大馬路魚鱗藤木方店員として働きつゝありしが二十七日午後十一時頃附近のカフェー松花に情婦のロシア美人と同行食事中家人の不在を機會に帳場の金庫中より金三十二圓を窃取し何喰はぬ樣子でゐたのを逸早く帳場の知る處となり直に取りおさへられ目下取調中、瀧屋は大正十四年十月より昭和四年九月まで警視廳の巡査を拜命して居た事もあり事の動機は前記情婦と大連方面に行く相談中なりしも旅費不足なる爲遂に惡心を起したるものにて取調べの係員に對しても自己の非を悔い以後改心すべき樣申し居る爲當局でも近く寛大なる處置を取るものと見られて居る

安東商議委員會開催

【安東】安東商工會議所では關税問題をはじめ企業、土地、鐵市、度量衡、移民等の諸問題に關し二十九日午後三時より商工、理財兩部の委員會を開催、協議したが十二月十一日新京に於て開催される關東軍主催にかゝる在滿官民懇談會への提出意見取まとめの爲め近く再び同委員會を招集することゝなつた

高波部隊 克山出發

幽囚四十餘日 死線を脱して（下）
チチハル 下枝少佐談

手足共 自由を失つてしまつた今となつては我輩は死ぬにも死ぬ方法がなくなつてしまつた無論彼奴等に殺されるよりは自分で死を急いで帝國軍人の體面を保つことの勝れるを知つて居たけれども、兩手兩足共縛られた儘では仕方がないから靜かにその時機の來るを待つことに更に覺悟を極めた、そうなると不思議なもので、我輩の心境は又一變した、所謂「戰場上一點の雪」と云つた

心境に 樣な生死の境を脱した一種の悟道に到達した時不思議にも我輩の心に一種の落着きが出來た、それは決して自暴自棄ではない、生の喜悦より以上な喜悦である禪宗の所謂法悅と云ふ樣なものかも知れない、そんな事で我輩は此心境に達する事に依つて一種の安眠が出來た、中一日置いて十四日の朝になつて樓旅が愈々明十五日の朝は日本軍討伐に出發すると云ふ事を我輩に傳へて來た、其

任務は 處で我輩は「此處に至つて我輩の任務は既に終つた、我輩の身體も生命も既に必要を認めない今日、出征の血祭りに我輩を殺して呉れ、それが我輩帝國軍人として名譽でもあり、本望でもある」と樓旅長に傳へて呉れと頼んだ、すると後から營長が態々來て「樓旅長の命により貴下を優遇する事になつた、決して殺さぬ」と傳へた、其晩になつて參謀長が來て「個人に對しては

不都合 な事はしない、事が濟めば放還する」と云つて居た、愈々十五日には司令部が出發すると云ふので北門に連行された劉團長がゐて我々を縣政府に護送した、それから公安局に移されて監獄に放り込まれ、十八日からは南京虫や牛鳳子のお友達と同居すると云ふ生活さ、其後一ケ月有餘精神肉體兩樣の多大の苦痛は受けたが、併し一種の

死線を 越ゆると云ふ心境にも到達した、八日には又々司令部へ引張り出された、今度こそは鄧文に殺される事だらうと思つて居たが日暮れになつて歸された、それから此四十餘日の間影になり日向になつて我輩をかばつてくれた二人の男がある、監獄長の白と劉團長である、白は表面では我々二人を虐待する樣に見せて裏面では何彼と面倒を見て呉れた

劉團長 に至りては更にそれ以上であつて、我輩に好意を寄せて呉れた事が遂に累を爲して鄧文に殺されたとの事である、我輩は此點に於て劉團長の靈を慰める言葉さへ持たない、それから鄧文は拜泉城に這入つて來て居たが其後の反滿軍の勢ひは日に非なるものがあつて、遂に十八日の朝には「日本軍を殲滅する」と

豪語し て手兵二千を率ゐて爆竹を放つて出て行つたさうだが、皇軍の一擊にあつては「鎧袖一觸」遂に四散潰走又收拾する能はず、二十日には高波部隊威風堂々あたりを拂つて拜泉入城、我輩も牛鳳子と同居四十日全く奇蹟的に救出されたのである、實に走馬燈の樣な四十餘日、靈肉共に多大の

體驗を 得、文字通りに生死の間に出入して映畫を地でやつて來た樣な氣持ちがするれ、何れ折があつたら此體驗を筆にしたいと思つて居る（完）

とんだ見込違ひで 兩替屋ベソをかく
日本の對外爲替を悲觀して大痛手

【新京】國際聯盟理事會が新京に生んだナンセンス一つ——囂々たる世界の輿論が東亞の一角に産聲をあげた新興滿洲國の上に注がれ總結末を鬪る理事會の雲行きが注目されてゐるが、新京に於てもその結果は非常に注視せられてゐるかうした市内の空氣は割合に實情にうとい滿洲國商人の間に漸次

不安 の念を起させ新京に幾十となく營業を續けてゐる滿人兩替屋では二十一日から開かれた理事會を中心に彼等一流の悲觀的見解から町の噂の種となつてゐる

それは最近の金の値は理事會を中心に一新機轉を現出するものと考へ始めた事に始まる、各種各樣の新聞紙は理事會の開會に先だち種々な下馬評を加へ世人の興味をそゝつた結果、各國の輿論から得た滿洲國、ひいては日本に對し割合

悲觀 的な記事をのせて宛然輿論の中心をなしてゐた形であつたので諸新聞の論調を見た兩替屋達は結局に於て日本に對して香しからぬ結末を見れば日本の對外爲替はより以上に暴落するは必然であり現在の手持金は次第にその價値を失ふに至るべしと恐れた兩替屋連中は、思ひ合した樣に二十一日前後一齊に賣に出て手持金を放出してしまつたところ二十八日現在の國幣對金の換算率は百一圓七十錢といふ金の

強調 ぶりを示し之を理事會開會の二十一日換算率百八圓四十錢に比較べると彼等の考へた理事會の悲觀的材料が反對に金の價格に好結果を齎したといふ珍現象を來したわけで、途方もない見込違ひで痛手を喰つた彼等は泣くに泣かれぬ有樣で頭を捻りつゝベソをかいてゐるといつた狀態である

喜び地に溢る 建設へ、建設へ
服部部隊作「建國頌歌」

最近東方面に向つて意氣軒昂兵匪討伐の途に上つた服部〇〇部は東邊道に在つた頃、滿洲國建國を頌する爲め左の歌を作り一般滿洲人にも教へたところ、此頃では到る處で彼らの口に歌はれてゐると

一、あまれきや光の如く
喜び地に溢る
東に國は興りぬ
共存共榮の爲めに
建設へ、建設へ
足音高く

二、空行くや日輪の如く
觸るゝもの皆伏し靡く
東に國は興りぬ
共存共榮の爲めに
建設へ、建設へ
諸手を伸べて

文化椅子と卓子
優美堅牢 簾價至便
折りたためば
広げれば

株式会社
大連 山葉洋行 奉天
大連市信濃町・電代表四一四〇八

弊社工場製
製産→消費
S S
洋釘
株式會社 進和商會
大連市佐渡町三〇
電話八一二七番

期節向新形御履物
御結婚用各種
流行ダンス草履
新着
磐城町扇芳ビル隣
三福屋履物店
電話四九一七番

フレーク石鹸
毛糸、毛織物、絹物の洗濯に缺くべからざる必需品なり
マルセル石鹸同質の優良品にして使用至つて輕便効果極めて絶大なり
FLAKE
For All Fine Laundering
MANCHURIA SOAP MFG. Co. LTD.
滿洲石鹸株式會社
各地有名なる洋品店化粧品店毛糸店、藥店にあり

氣の利いた
飾装と具家は
カーテン・敷物
ブラインド・リノリーム
壁紙・其他
商店陳列設計
大連伊勢町滿銀向
滿蒙工業所
電七九六八番・振替大連三一〇九番

秋のお化粧料は
全世界に誇る
獨逸モウソン會社製品
其他歐米各國有名化粧品會社
特約店
髙新洋行
大連伊勢町二一
電話八二五九番

ミミ・ハナ・ノド・ノビヨウキ
森本耳鼻咽喉科医院
入院隨意
大連市大山通三越隣り
醫學博士 森本辨之助
電話五三七〇番

ナニワホテルの特色
一、室料の低廉なこと
一、位置は第一等御便利な所にあること
一、サービスが行届いて而も一割チップなこと
室料
一圓六〇錢 二圓四〇錢 二圓八〇錢
三圓二〇錢 (バス付)三圓六〇錢 (バス便所付)四圓
大連市浪速町
ナニワホテル
電話代表七一六四番

各種毛糸
大連市信濃町市場
電話四四五七番
山本洋行

強腦精力 千五番
適切有効 千五番
能率增進 千五番
家庭圓滿 千五番
新定價金三円 千五番
・有名薬店ニアリ・

内科 小兒科
肺尖・肋膜及慢性諸病
腎臓・血壓及婦人内科
呼吸器及消化器慢性病
肺門淋巴腺炎及發育不良
西公園町春日小学校前
醫學博士 澁谷創榮
電話六五六六五一番
X線完備 入院隨時

永原小兒科醫院
大連市南山麓柳町二三(共營住宅電車停留所前)
電話七九八〇七番

安價と美味 そして清潔と氣持のよい事は邦人の經營する弊館の誇り

三階食堂
新年宴會 結婚御披露には
忘年會 三百五十人樣迄は樂で御座います
內地よりの視察團、軍人學生團體見學の方々 日本座敷も四室御座います

二階食堂
一室四百人樣迄は大丈夫で御座います小は一卓半卓よりどし〳〵御利用を歡迎いたします其清新なる裝飾と氣持のよい事は吃度皆樣のお氣に召す事と存じます。

一階食堂
主として民衆的一品料理肉うどんの一杯から二、三人樣の小會食にもお氣に召す樣に別に御家族室も御座います
料理は飛切り日本酒は菊正宗で御座います

珍味の中心 人氣の焦點
北京料理
大連連鎖街銀座通榮町角
扶桑仙館
電話 日人専用 二一一〇 華人専用 二一〇九 三階 二六四一

婦人。子供服地は 連鎖街 デルコ

サーワ白粉

華麗にも瀟洒にも
チタニウムを主劑に特殊の成分を配合せる

懸賞

愛用家御優待

賞品

等	賞品	員數
一等	錦紗繪羽羽織 一組宛	十名
二等	錦紗小紋著物 一本宛	十五名
三等	鹽瀬丸帶 一本宛	十五名
四等	流行柄本御召 一反宛	二十名
五等	婦人持クローム側腕時計 一個宛	四十名
六等	又はモンパレス長襦袢 一枚宛	四十名
七等	姫鏡臺 一臺宛	八十名
八等	最新流行銘仙 一反宛	百五十名
	サーワ化粧品詰合せ箱 一箱宛	三百五十名
	サーワ固形白粉 一個宛	五千名

規定

やさしい懸賞の課題

一、サーワ白粉の發賣元で發賣してゐる石鹸は何ですか
一、この懸賞を御覧になつた新聞名は何ですか

答案の書き方と送り方

三木元子女史創製 サーワ白粉と化粧品
サーワ固煉白粉(白・肌色) 各六十錢・三十五錢
サーワ煉白粉(白・肌色) 各三十五錢
サーワ水白粉(白・肌・濃肌・新肌色) 各三十錢・五十錢
サーワクリーム白粉 五十錢
サーワ化粧水 四十錢
サーワ白粉下 三十錢
サーワヴアニシング・クリーム 三十錢・五十錢
サーワコールド・クリーム 五十錢・七十錢

上記化粧品の外裝(外箱)全形の裏面白地に「サーワ化粧品の懸賞課題」の答案と御住所御氏名(なるだけ詳しくお書き下さい)を明記の上 開封(二錢切手貼付)にて左記宛御送り下さい。又は他の用紙
答案送り先 東京市日本橋區米澤町三ノ五 丸見屋商店懸賞係
◎懸賞課題の正解者に對しては、公正なる抽籤の上、當籤者へ賞品を御贈呈申上げます。
◎答案を書いた外裝(外箱全形)は御一人で何枚でも多いほど賞品の當る率も多いわけです(二十九匁まで郵税は貳錢です)
▲締切 昭和八年三月末日
▲抽籤發表 昭和八年五月中紙上を以て發表
▲賞品發送 當籤發表後二ケ月以內

三木元子女史創製 サーワ白粉と化粧品

品名	定價
固煉(白・肌色)	各 金三十五錢・金六十錢
煉(白・肌色)	各金三十五錢
固形(白・肌色)	各金十錢
水(白・肌・濃肌・新肌色)	各 金三十錢・金五十錢
粉(白・肌・濃肌・新肌色)	各 金二十錢・金四十錢
クリーム白粉	金五十錢
化粧水	金四十錢
白粉下	金三十錢
ヴアニシング・クリーム	金三十錢・金五十錢
コールド・クリーム	金五十錢・金七十錢
頬紅	金三十五錢
口紅(婦人と棒紅)	各金三十五錢
眉墨	金三十五錢
打粉(長出用・中蓋付)	金二十錢

(內地以外は關税運賃を加ふ)

ミツワ石鹸本舖 サーワ白粉發賣元
◎ 丸見屋商店
東京・兩國(日本橋區米澤町)
振替東京七一〇番・電略〇ミヤ
電話浪花(67)代表番號 一〇〇〇番 四四〇〇番 四四三〇番 六四一八番

賣捌
信用ある化粧品店・藥店・雜貨店・百貨店、に若し無き時は本舖へ(運賃本舖持ち)郵便切手代用三圓以下よろしく東京市内は一壜一箇にても配達

わが軍の猛擊に遭ひ 張軍の損害甚大
敵主力は西北方に逃走

興安嶺東北の永原を移進した服部先遣部隊は三十日午後四時二十分札蘭屯東方高地を占領してゐた敵を急襲して交戰約二時間の後これを擊破し午後五時完全に札蘭屯を占領した、敵は張殿九匪賊軍の機關銃歩兵砲等を有する歩騎兵聯合の約八百名でわが軍の猛烈なる攻擊に遭ひ非常な損害を受け死體百を戰場に遺棄してその主力は西方に逃走した、わが軍は捕虜五十を獲たる外兵器彈藥糧食及び重要書類等を無數に捕獲し目下これを整理調査中である、尚わが軍は何等の損害なし【新京電話】

夕食を分捕つて士氣揚る

【チチハル二日發】茂木部隊の主力は一日午前十一時一棵樹に進出、同地の敵は食事の準備中であつたが我軍の急襲に逢ひ西方に向つて退却したが我軍は敵の遺棄せる豚、鷄等多數を鹵獲し夕食に供し士氣大いに揚つた

【チチハル二日發】空中偵察の報告に依れば礦子山の敵は約一團で主力は礦子山の西南李三家方面に退却せるもの〻如く白雪の街道には入り亂れて多數の足跡が殘つてゐる

未釋放邦人の運命 目下の處大丈夫か
但し蘇軍に兵變の懼れ

蘇炳文、張殿九軍の反省を促すためわが軍は最後的手段をとるに至りわが軍の總攻擊は彼等に非常なショックを與へ從つて未釋放監禁邦人に對し最惡の運命を招致するに至つたのではないかとも想像されぬではないが○○方面では蘇炳文が部下部隊に威令の行はれぬ限り絶對に右の如き運命を想像するには及ばぬとの見解を有してゐる、たゞ條理をわきまへぬ部下が兵變を起す惧れありといふ【新京電話】

黑省の長老會議 チチハルで開催
韓省長の新しい試み

【チチハル二日發】韓省長は官民一致して地方治安の維持に努力する爲省内各縣の長老を省城に招集した、省内の古老連は先日來續々と參集しつゝあつたが全省九十四名の多きに達し十二月一日第一回長老會議を開催した、引續き一週間續行せられ各縣各鄉の希望を聞き將來施設を行はんとする省長の新しい試みには參加長老一同の感激せるところでその効果は頗る期待されてゐる

愛國機 盛んに活躍す

【チチハル二日發】我○○機は今朝チチハル出發敵情偵察を行つたが其の報告に依れば午後零時半兵匪、防長、廣島等愛國機は景星鎭一帶並に礦子山西南方約二十キロの波家庄の敵に大打擊を加へ東支鐵道沿線並にチチハル部隊は中間の敵を掃蕩しつゝ前進中

敵地の邦人 慘殺か

情報によれば海拉爾、滿洲里で賊軍に捕はれた山川博、大山毅、林正義、高橋護、山内繁、三好義晴、山下明氏等の安否につき氣遣はれてゐるが山川、大山、林だけは救助され他の四名には慘殺說が確實化して來た高橋氏はそれでも尚生存說がある【新京電話】

滿洲里集中 殘留邦人全部

【ハルビン特電二日發】海拉爾からマツエフスカヤに引揚げた邦人は五十九名にして寺田少佐、米[illegible]顧問、領事館警察關係者併せて八名と滿洲里領事館に移された、滿洲里領事館に收容された邦人は二十一名となつたこれで沿線における邦人全部の滿洲里集中は成功した、海拉爾には尚支那人妻となつてゐる邦人五、鮮人五あるがこれ等は引揚を望まないものである、イレクテの札免公司社員五家族は無事の模樣である

徐景德歸順か

馬占山の第一の腹心であつて現在黑河に在る徐景德は反滿行動の前途に見切をつけ歸順を申出でんとする模樣である【奉天電話】

黑省警備軍 匪賊を擊滅

【チチハル特電二日發】在望奎の黑省警備軍旅長王克敏が部下劉雅軒、馬振榮の騎兵二團を指揮して附近の匪賊を討伐中であつたが二十八日王軍は望奎東方約三十キロの蓮花鎭で鄧文、檀自新、崔剛、吳天石の匪賊聯合軍を包圍攻擊してこれを擊破した、匪賊は散々の態で潰走し匪首鄧、檀、崔は命辛々逃走した模樣だが吳天石は王軍に逮捕され身柄は近くチチハルに護送される筈

助けた甘少佐が 空閑少佐の墓參
佐賀の菩提寺を訪ふ

【長崎二日發】悲痛極まりなき最後に全國民を泣かせた故空閑少佐が江灣鎭の激戰にて重傷人事不省となり武運拙く支那軍に捕へられた際敵將ながらこれに手厚い看護を加へ日本軍に送還した戰場美談の主、現駐日支那公使館附歩兵官甘少佐は故空閑少佐墓參の爲め一日午後零時二十九分佐賀着で來佐、故少佐の嚴父をはじめ官民多數の出迎へを受け菩提寺正隆寺に至り墓前に額づきしばし默禱地下の英靈を弔ひ空閑家を訪ひ遺族達を慰めた、三日發別府に向ふが甘少佐は語る

墓參する氣持は只悲しいばかりです、嚴父遺族の方と會ひ空閑さんを目の當り見る氣がします助けた私は支那人で素より祖國を愛しますが一個の人間たる以上また同樣人間を愛する人類愛を持つて居ます、そんな氣持で看護しました

竹林女史 自演の映畫を 上海へ賣りに

【神戸二日發】自演映畫「千九百三十二年の冊」のフイルムを携へ上海に赴く竹林文子女史は二日午後三時神戸出帆の榛名丸で出發したが文子女史は語る

上海に行つてフイルムをうんさ高く賣つて來るつもりです、出來れば南京へ行つて蔣介石と懇談二十日頃大連へ赴き飛行機で歸京したいと考へて居ります

叛軍の挑戰的態度を 反擊するは武人の分
討伐開始の重要發表

【チチハル特電二日發】チチハル○○團鈴野、齋藤兩大佐は一日午後三時呼倫貝爾叛軍討伐開始に關し左の如き重要發表をなした

呼倫貝爾叛軍に對しては忍ぶべからざるを忍び誠意を盡して和平交涉によつて解決せんとしたが叛軍は誠意を示さず剩へ我に挑戰的態度を示して北滿平和を擾亂した、斯くて既に叛軍は邦人を抑留し世界交通幹線の東支鐵道を停めること七十日、全く世界人道のためにも是以上忍ぶは武人に非ず、增長せる叛軍は次第に我に向つて輕侮の態度益々露骨となつたので一大鐵槌を加へることは世界正義である、斯くて我等は興安嶺に向つて作戰を開始した次第である、併し乍ら我方は依然としてその反省を希望し彼が邦人を釋放し態度を改めて誠意を披瀝するなら我にも是を許す雅量はある、然らざる場合は更に爾後の行動に移る準備は出來て居り一段と叛軍攻擊を進めるつもりである

札蘭屯へ 進擊中
平賀部隊も

【チチハル特電二日發】平賀部隊は二日午前十時半礦子山陣地を攻略、一隊は同地西方の後礦子山も賊に占據し正午過ぎには主力礦子山に入り、礦子山、前後礦子山共に完全に占領した、茂木部隊は成吉思汗占領、一部隊は成吉思汗の跡を越えて一部隊は札蘭屯に進擊中である

五十キロ噸もある 怪物の陸揚げ
昭和製鋼所使用電氣モーター

北ロイドドイツ汽船所有トラーベ號によつて運搬された昭和製鋼所使用電氣モーターは何分その重量五十三キロ噸である上に曾て昭和五年に陸船マイン號が揚荷の際これを陷落せしめ約三十萬圓の損害を受け目下滿鐵、船會社間と紛爭中だけに今回の揚荷作業も注目されてゐたところだがト號は二日午前入港六番バースに繫留、直に滿鐵側の電氣モーター陸揚に關し協議が行はれ、午後四時より本船デレッキによつて揚げられることとなつた埠頭事務所よりは關根所長、中富營業長、藤津計畫主任、高山助役その他關係者多數集まり本船側よりも船長トムデック氏、一運メリアンソン氏等が指揮のもと關係者多數の緊張裡に徐々に揚げられ約三十分を費し無事重量貨車に積み取ることを得たが何分五十三キロ噸の重量だけに七千五百噸もある本船さへユラリ／＼と動搖しハラ／＼させた午後五時十五分前漸く作業を終つたがさすがに無事陸揚した時はワツと歡聲があがつた【寫眞ははら／＼させたモーターの陸揚げ】

積出地は天津か
主謀者を目下嚴探中

北滿にリンゴ輸送と見せかけて巧妙な大量阿片を密輸せんとして一日朝市內入船町埠頭稅關檢查所にて發見された密輸事件について小崗子署では二日正午その出荷人たる市內西崗街小崗子市場野菜商協盛德主人楊德明(三)を引致取調中であるが楊は去る十九日新京より知人の紹介にて來連した前記密輸主謀者の依賴を受けて成功の際は報酬を受ける契約のもとに精巧な知りつゝ二重底仕掛けの箱にリンゴに阿片を詰める等荷造り一切を同人がなし輸送したものでこの大量阿片は天津方面より密輸したものらしく主謀者某は當時現場に居合せたが發覺と同時に姿を晦ましたので同署では目下手配搜查中

滿鐵旅館のサービス改善
和式にも室料制

滿鐵旅館事務所では一日から一部規定の改正を行ひ、サービス改善をなすことゝなつたがそのうち主なものは左の如くである

一、チエック・アワー制度を設けしかもその時間を三時間とする(外國は通常二時間)
一、一日未滿の食事附部屋代を廢止し、卽ち未滿のものは食事代を別として宿泊客の便利を圖る
一、北平扶桑館宿泊料はその後銀高により三七%の値下を斷行
一、新京滿洲屋旅館は市中との釣合と、設備の改善に伴ひ一九%の値上を斷行
一、和式旅館の短時日の室料を制定、卽ち從來和式旅館は部屋だけにすることを認めてゐなかつたのを以上の如く改正

今後も同樣事件は 用捨なく檢擧摘發
銃砲取締と法院の解釋に對し 檢察局の方針決定

既報、銃砲火藥取締規則第三十五條に關し大連檢察局では地方法院が如何なる解釋を下さうとも、それに拘らず依然各銃砲店に於て許可證を所持せぬ者に販賣した場合は規則違反として

檢擧 摘發するに方針決定した、右につき檢察當局では語る

銃砲店なれば何人に銃器を賣つても勝手たるべしといふ法院の解釋であれば、どんな不逞の徒の手に銃器が渡るやも知れず、現下の如き暗殺團やギャング團橫行時代に社會の治安は絕對に保たれない、行政官廳の銃器取締にしても所持者は嚴重に取締らるゝが肝腎の販賣元は取締らぬさあつては頭隱して尻隱さずの矛盾も甚だしく、また賣つた者は罰せられないが買つた方だけ罰になるではこれ亦社會の秩序が保たれない、取締規則の第三十五條の立法の精神はこれらの

意味 が含まれて作られてゐるもので、たとひ法院で無罪の判決を言渡したとはいへ、檢察局では今後同樣の事件が起れば用捨なく檢擧する方針である

顏の似た鞄で
飛んださわぎ

既報、大連列車區松本勝明氏の拳銃一挺、實彈十發入りの手提鞄が列車內で盜難にかゝつた事件は其後取調の結果金州民政署佐藤稅務官の手提鞄と同樣のため旅務係員が佐藤氏が置き忘れたものと思ひ持ち歸つたものであることが判明この旨一日大連署に屆出た

酒は涙か溜息か 醉中夢遊行
ビツクリ飲み助夜話

市內大正通居住奧田某が、つい先日市內西通カフエーチヤールストンで女給七、八名に取卷かれ午後九時から午前一時までにシヤンペンだ、カクテルだと景氣よく散財し六十三圓六十錢の勘定を請求されてポンと八十圓を放り出し「釣錢はチツプだよ」と女給テル子外九名に提供、いゝ氣持ちになつて深夜の街に出たところ、飲んだ酒はだん／＼冷めるにつれて本性に還り家を出る時持つて出た財布の金が一文なしになつてゐるのに驚きてつきりカフエーチヤールストンで飲んでゐるうち女給に掏り取られたと感違ひし窃盜の告訴を大連署に提出した、同署司法係佐藤刑事がチヤータストンの女給、帳場に就いて取調べたところが前記ナンセンスと判明し佐藤刑事口アングリ

迷ひ子の犬が 無錢で居つゞけ
拾ひ主の大フンガイ

市內日出町十一番地江頭仁三は本年七月或る日常盤橋附近を通行中後からついて來た一匹のブルドツグがいくら追つてもついて來るので始末に困り常盤橋派出所へブルドツグを連れて「出頭どうかして下さい」と犬の說諭願ひを申し出た、係官も持て餘して當分君の家で飼つておけといはれ、自宅に連れて歸り十一月末まで飼つて置いたところ最近ブルドツグの持主が市內榮町二番地石田梅次郎と判明そこで持主に對し飼育料約四ケ月分を持つて犬を引取るべし、と交涉の結果犬だけ引取つたが飼ひ料を交換はぬと憤慨、二日石田を相手取り說諭願を大連署へ提出した

ラヂオ聽取者

ラヂオ季節となつて當關東廳遞信局にもなほ新規聽取施設の許可を出願する者少くないが十一月中の許可數は二百四十一件で同月末現在の施設數七千三百五十五件に達した

これを施設地別にすると大連が三千五百四十七件、撫順五百八十三件、新京五百九十二件、奉天四百二十一件、安東三百八十四件、旅順二百九十四件、鞍山百六十九件、四平街百五十六件、鐵嶺百四十七件、遼陽百三十二件の順である

不遇の鮮人一行
上海から來た四十餘名 遂に宿屋を追出さる

ストライキの犧牲となつて上海から送還された朝鮮人四十六名の一行は宿料二百餘圓滯つた爲め遂に十三日限り市內監部通り九六番地朝鮮旅館及び大黑町二〇番地大同旅館を追ひ出され文化峯十八番地朝鮮人會に身を寄せたが、こゝでも食事は給されぬので、四十六名が所持品を持ち寄つて入質し漸く四十圓を得、これによつて數日露命をつなぐことゝなつた、所轄大連署高等係へは每日代表者が訪れ救濟方を嘆願してゐるが不況の際とて就職口もなく哀れな一行に同情が寄せられてゐる

故于沖漢氏 埋葬式
明春遼陽にて

滿洲國監察院長故于沖漢氏の遺[illegible]は二日午後盛んなる告別式を終つたは黑石礁の自邸の一室に安置し遺族の人々によつて護られることゝなつたが葬式は明年始め頃遼陽において盛大に執行されるはずである

氷上競技聯盟
會長に小川市長

大連氷上競技聯盟では二日午後一時より滿鐵社員俱樂部會議室において林田、大賀、柘植、高橋、川井、山田、中川、栗栖、富吉、城本、岡澤、立上の準備委員集合の上協議の結果愈々スケート場氷結次第聯盟發會式を擧行することゝなつた、同聯盟は上記の名稱を以て新設し當分の間事務所を關東廳體育研究所大連運動場におき會長に大連市長を推すこととなり委員長に林田學氏就任し常務委員、競技委員等は近日それ／＼發表する筈である、又聯盟はシーズン中に各種目選手權大會及び講習會等を開き、聯盟加入の學校團體等に競技員を派し大會の管理指導等に當らしめることとなつた

高木中尉容體

滿洲派遣部隊として活躍中不幸敵彈に名譽の重傷を蒙つた松江部隊歩兵中尉高木三郎氏は內地歸還療養中であつたが最近漸く正坐出來步行は四里位出來るやうになつた、然し激動をなすには尚一年位要する旨二日本社を通じて厚く在滿當時の配慮を感謝して來た

けふの滿日講堂

▲ラグビー十周年記念展覽會午前九時より午後五時迄(入場無料)

安樂椅子

何事でも罰金制度の滿鐵阿彌陀會、二日の會合で左記の如き罪名?の下に罰金徵集の決議を致しました その罰金額は讀者諸氏の御想像におまかせ致します。

……◇……

まづ「職制改正好評祝」が總裁、副總裁、十河、伍堂、村上、山西、竹中、河本、大瀬、山崎の各理事、しかも「重役分擔事務確定祝」といふので同額を取られ更に「重荷卸し祝」で副總裁十河、伍堂、村上、竹中、山西各理事に追課される。

……◇……

「一人三役祝」は山西理事たゞ一人だが「榮轉祝」はこれは又多い。石本、中野、廣崎、田所、谷川、由利、西田、粟屋、山鳥、伊藤武、佐藤達、林田、三輪、松本、西脇、八木、根橋、深水、岡村、市川、羽田、清水賢、郡、野中、猪子、佐藤應、山領、太田、小須田、下津、中西、富田、武部、大垣、伊藤太の各氏。

……◇……

「勢力擴張祝」の適用を受るのは石本、中野、根、右近、山口、武部、中西、羽田「肩荷卸祝」は伍堂理事「新京地方事務所長二人任命祝」といふ恐ろしく長い罪名は土肥氏である。

……◇……

「出戻り祝」は石本、田所、小須田、下津、郡、中西、武部、大垣、八木。

……◇……

「出稼ぎ祝」は富田、谷川、由利、佐藤達、粟屋、伊藤太「三界に家無し祝」は西田氏で取られながらに微苦笑もの。

……◇……

さて「上京祝」の竹中理事「仲間入祝」の富田氏など鑑定狂ひなしとの評判。

海と空と（42）

高杉晋一郎作　橋本清史畫

手紙（一四）

「遲くなつて濟みません」

それが裏に對する詫でもあるやうに云つて暢が細い身體を見せたのは二十分ほどもしてからだつた。谷は早速食卓を圍む事にした。

正子の手で各々のコップにビールが注がれると谷は「お互に勝手な事のために乾盃だ」と云つてコップを擧げた。裏は苦笑してコップを上げたとも上げぬともつかぬ手附きのまゝそれを口へ持つて行つた。

「暢君は酒は嫌ひなんでしたね」

「弱いし美味くないんですよ。正直に」

と暢は最初の一口は氣持よく飲んで云つた。

「さうか、ぢや無理に勸めませんから食ふ方をやつて下さい」

さう云つて達也が食卓の上をくろ〳〵と指さし廻すと、正子は赭い顔をした。

暢はそれでもコップ一杯は干した。それで最早頬と瞼へぽつと紅を上せて、後を注がうとした正子の手を止めた。色白の上品な暢の顔が桃色にほてつてゐるのは男ながらも「美しい」と云ふ感じだつた。裏はそれを冷たい眼で横眼に眺めてゐた。

「ところで君はまだ當分ぶら〳〵してゐるつもりなのか」

と谷はビールのさかなに花あられを摘まみながら云つた。

「さうだらうな……食へるんだから別に職に就く必要も無い」

「食へるつて親父をか」

「さうさ。今の所いくら食つたつて親父は痩せないし、食へない連中の狙つてゐる席を何處の席だらうと奪ふ必要はないぢやないか」

「ふんそれで氣持が濟んでゐればそれでいゝのさ」

と谷は微笑で云つて

「さうすると暢君なんが滿鐵に勤めて、餘計な事をしてゐるわけだな」

裏はじろつと暢の顔を見て「うむ」と云つた。暢は俯むいてトマトの皿へ箸を持つて行つてゐた。

正子は何か不安さうな顔をして兄と裏のコップの隙へビールを滿たしてゐた。

「暢君には御飯にするといゝ、ビールはこつちで勝手にやるから、まだこれから暫時飲むんだから」

と達也は笑ひながら妹の手からビールを取上げて

「お前は お給仕をしてあげて呉れ」

「えゝ」

何故ともなく正子は暢と顔を見合せると、はにかむやうに微笑んだ。

それからも裏と谷はなかなか飲む方を切上げやうとはしなかつた。話は先日からの手紙の上の議論をむし返して次第に暢の存在を忘れる形だつた。有產者の子弟はなまじ人道主義的な顔をして結局噓をつく事になるより利己に固まつてあく〳〵してゐる方が餘程汚く無くてよいと云ふ裏の言葉に達也は少し宗教的な口吻さへ交へてさう反動的に個我に固まる必要もない事を說いた。「君が一氣に闘士にならうとするから君の本體と君の行爲との間にギャップを見出して苦痛なんだ。尤も實を云ふとそのギャップとの無限の鬪爭が非常に尊いんで、社會的自己の認識が充分ならば假令大ブルジョアの子弟でも闘士にならうとせざるを得ないのだがね。事實としてはさうさう階級戰線が一列に先頭だけに並列される筈もなし必要もないんだ各々の立場から愛情で動いて行けばいゝんだ。單なる正義感ぢや駄目、それは君の云ふ通りで、愛情と云ふ奴は漠然としてゐるが底の力だぜ、理窟ぢやないよ」

そんな事を達也は頬に指を當てながら少しづゝ云つてゐた。

正子は取殘された暢の相手をして、暢と同じ課にゐる同室のタイピストの話などをしてゐた。先刻から臺所にばかりゐた母親も出て來て、年寄らしい冗談などをその間へ交へた。三人とも時々側の裏と達也を眺めたが、二人の世界は全然別だつた。

お互に勝手な事のための乾盃だ

第十三回 滿日特選碁戰

四段 向井一男氏
三段 加藤三七一氏

黑	白
六一ロの三	六二ヌの五
六三リの五	六四への五
六五ニの四	六六リの六
六七リの四	六八ソの十一
六九カの九	七〇ソの十
七一ソの九	七二チの六
七三への五	七四リの十五
七五への十六	七六チの十二
七七ルの十四	七八チの十五
七九ルの十五	八〇ワの十三

—【4】—

對局者の感想

白曰く　六八の手が早く打ちたいのですが其の時機がきませんでした六十八でこの手が打てゝこの手を打つては白たしかに面白くなつたと思ひます

黑曰く　六八の當は先手ですから早く打つのでした

白曰く　七四は打過でしたでせう七十五におしてよかつたように後から思ひます、それで七十六と打つたのですで八十と四目を取ることの出來たのはよいやうに思ひます

けふの放送

大連 JQAK

▲三日午後七時 ニユース（七時十分子供の時間）▲童話「古いゆり籠」竹田幸雄 ▲獨逸語講座「テキスト第六十四課」大連語學校講師萩榮 ▲ピアノ連彈「ベートウベン第三交響樂全章」（一名英雄交響樂）照井和子、同興子 ▲箏曲（一）時鳥の曲（二）六段、箏 星野夫人、榎本光子、富山文子 替手藤森勾當、尺八磯崎章洲、北村壽堅 ▲職業紹介事項 ▲ニユース ▲氣象通報

東京 JOAK

三日午後六時三十分 ▲講演（未定） ▲獨唱と二重奏（七時）（新交響樂團練習所より）獨唱 藤原義江、ピアノ伴奏木村三郎、二重唱ソプラノ三上たかよ、テナー藤原義江、管絃樂伴奏日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラット（一）獨唱（ピアノ伴奏）（イ）旅人の唄（佐伯隆雄作詞、指本國彦作曲）（ロ）ウキウキパリ（森巖作詞、松山吉則作曲）（ハ）荒城の月（土井晩翠作詞、瀧廉太郎作曲、山田耕作々曲）（ニ）佐渡おけさ（堀内敬三編曲）（ホ）遙のサンタルチア（マリオ作曲、伊庭孝譯詞）（ヘ）フニクリフニクラ（デンツア作曲、藤原義江譯詞）（二）二重唱（管絃樂伴奏）歌劇ラボエーム第一幕より（プッチニー作曲） ▲忠臣藏花屋第三（七時四十五分）義太夫（大阪より）「假名手本忠臣藏鹽谷判官館の段」淨瑠璃竹本旭襖、三味線同廣春

滿日俳壇 募集規定

次回課題「枯野」「炭」「水鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月十二日▲大字にて楷書の事▲雅號氏名及び封筒には「滿日俳句」と明記のこと▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿洲日報
十二月二日發行
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本 治
印刷人 木村 武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

支那代表の要求せる決議案即時起草否決

臨時總會は來る六日召集可決

聯盟十九ケ國委員會

【ジュネーヴ一日發】國際聯盟十九ケ國委員會は最初秘密會議に入つたが午前十一時二十分公開會議となり

イーマンス議長 余は茲にル・ヒユース・ニユー・ベイ氏に對する歡迎の辭を述べ、ベベイトルコ代表は之に答へ、次いでイーマンス議長は顏惠慶支那代表よりの最近理事會で採擇されたリットン報告書提出期間六ケ月延長の期限は何時終了するかとの十一月二十九日附照會の書翰を朗讀した、同書翰はその末尾において

愛國の熱情に燃ゆる支那人は不法なる外國人による支配を排撃するため滿洲の地において飽迄日本軍との交戰を續け國民は依然塗炭の苦を受けつゝあり、今やこの外國軍隊による侵略を中止せしむるの絶好の時である

旨を陳述してゐる、イーマンス議長は六ケ月延長期間に關し法理的説明を爲した後、左の如く述べた

若し十九ケ國委員會が同意するに總會を來る六日に召集する件を提議する、この點については各代表も余の意見に賛成されるものと確信する、又余は理事會議長デ・ヴアレラ氏が右臨時總會において諸國代表各位が充分その意見を吐露し得る機會を與へらるべきものなる事を聲明せられた事を茲に附言して置きたい、而して本問題を先づ十九ケ國委員會に諮る事なくして直ちに總會を召集せんとする理由は一に日支紛爭は二月十九日の總會の決議によつて總會の審議に附せられ居るに基くものである、余は各位が余のこの提案を承認せられん事を望む

と述べたが、何人も發言するものなく、茲においてイーマンス議長は同氏の提議が可決されたものと認むる旨を宣し、茲に**總會移牒の件は投票を用ひずして可決**された、次いで議長は新加入國たるトルコ代表セマール・ヒユース・ニユー・ベイ氏に對する歡迎の辭を述べ…

ベネシユ氏(チエッコ代表) 余は總會開會次第速かに右延長期限を定めん事を本委員會に要求する

イーマンス議長 臨時總會は來週より報告書の討議を開始すべく、そこで充分討議したる後、十九ケ國委員會を開いて延長期限を定めて之を總會に提案する、最後的決定を爲す事とならう

ならば、余は顏惠慶に對し總會が審議を開始するまでは延長期間を決める事は不可能なる旨を通告するであらう、總會は十九ケ國委員會に先立ち報告書及び日支の意見書を審議すべきものと信ずる

モッタ氏(スイス代表) 余は延長期間をなるべく速かに決定せん事を要求する、何となれば之ば先例となりその結果は頗る重要であるからである、なほ理事會が報告書を討議しなかつた事を實議蓋し總會こそ之を審議すべき適當の機關である

エーデン氏(イギリス代表外務次官) 余は議長の提案に賛意を表す、本委員會成立當時の本來の目的が何であつたにせよ、今それを決定するために審議を遲延せしむる事は出來ぬ、問題の重要性に鑑み吾人は總會の結果を俟つべきである

コンノリイ氏(アイルランド代表) 余は凡ゆる審議遲延の原因を除くべき事を主張する、若し本委員會の決定を俟つて總會で審議すべきものとすれば却つて遲延するかも知れぬ

イーマンス議長 顏惠慶が文書で要求した如く委員會として即時決議文を起草するが如き事は會議を更に遷延せしむる事とならう

と反對意見を述べ、斯くて十九ケ國委員會は顏代表の提出せる支那政府は十九ケ國委員會が日支紛爭の平和的解決に關し總會に提出すべき決議案を即時起草すべき事を要請す

との要求を否決しイーマンス議長は來る六日午前十一時より臨時總會を開くべき旨を述べ午前十一時五十五分散會した

靜觀、解決遷延の爲め 中間的三處置案

【東京二日發】聯盟の空氣はマック英首相、サイモン外相、エリオ佛首相、デヴイス米代表ら巨頭のジユネーヴ入りを迎へ漸く動かんとしつゝあるが一兩日來ジユネーヴより到達する情報を綜合するに聯盟側は漸く問題の急速なる解決の不可能なるを認め、殊に大國側の意向は滿洲國靜觀乃至解決遷延に傾いて來て、結局聯盟としてもそこに落つく外あるまいといふのが大體の見透しである、只聯盟として靜觀を決議する譯には行かぬので靜觀期間中の中間的處置が問題となるが、これについては大體次ぎの三方式が考案されてゐるやうである

一、直接交渉勸告案
(イ)日支直接交渉に中立委員をオブザーバーとして出席せしむ
(ロ)直接交渉に對し聯盟側委員は側面より居中調停を爲す
(ハ)聯盟側委員は直接交渉の進捗に對し單に善意の斡旋を爲す

一、調停委員會案
十九國委員會を主體とし米露を加へたる調停委員會を設置し二ケ月位の期間を置いて滿洲國の事態を靜觀すると共にその解決策を考究す

三、現地情報委員會案
報告書執筆後、滿洲において發展せる事態(滿洲國獨立、日本政府の正式承認)等を調査するため現地に主要理事國の外交官を以て組織された情報調査委員會を設置し、聯盟は右委員會の報告に基きリットン報告書と新事態の調和を審議考究することゝする

右三案に對する外務當局の觀測は大體左の通りである

一、直接交渉勸告案は現實の可能性が薄いであらう、蓋し日本は滿洲問題に關する限り第三國の介入を拒絶すると共に、その交渉には滿洲國代表の參加を主張せねばならぬがこれは支那側で承諾すまい

一、調停委員會案は日支兩國を除外し居り如何なる調停案が出來ても日本の既定方針に反する限り絶對受諾出來ぬから調停委員會を設置するとそれ自身無駄である

一、現地委員會の設置といふことは有り得べき話で、強ひてこれに反對する要は認めぬ、しかし第三國介入拒絶の原則からいつても反對せざるを得ぬ

右委員會は飽迄帝國政府の原則に抵觸する意味のものであつてはならぬ

右の如く帝國政府としては滿洲問題の解決は滿洲國獨立の事實を承認する外になしとの原則を飽く迄堅持するもので、この原則に觸れぬならば敢て無理に反對はせぬ、而も之は政府の讓歩でも妥協でもないとの方針を持してゐる模樣である

天皇陛下 陸軍大學校へ行幸

陸軍大學校では天皇陛下の行幸を仰ぎ二十九日午前十時五十五分より第四十四回卒業式を擧行した、今年度卒業生は御優等の閑院宮春仁王殿下をはじめ奉り四十八名にして優等學生に對し軍刀一口づゝ下賜あらせられた、寫眞は優等で御卒業の閑院宮春仁王殿下(前列左から御二人目)

形勢は支那に不利

顧の密電に張學良苦惱

【北平一日發】張學良近親者の洩らす所によれば學良宛ジユネーヴの顧維鈞より密電して

滿洲問題は世間に傳へられる如く日本に不利なものに非ず、恐らくは中國の敗さならん、我國人は表面に現はれた小國側の同情的態度により樂觀し居るが如し、こは實際を知らざるものである、總會開催さるゝも各國の意見は一致し難く、日本に對し制裁を加ふる如きは到底困難にして結局滿洲事件は遷延して我方に不利なる結果を見るに至らん、貴下は當面の責任者として今後の處置を如何に爲すべきや意見伺ひたし

といつて來たと、これが中國側では聯盟空氣の眞相と思はれるが、これに對し學良は事重大として近親者を何とか返電すべく協議中であるが未だ何等決せず苦惱しつゝあると

委員會の解決案

日本にとり不滿足

【ジユネーヴ一日發】聯盟特別總會が形式的決議を爲した後、問題を十九ケ國委員會に移すとともになつて、問題の前途は樂觀を許さぬ狀態にある、卽ち十九ケ國委員會で審議さるべしと豫想さるゝ解決案は日本に執り滿足し難きものだからである卽ち

一、小國の希望の如くリットン報告第一章より八章迄を採擇し、…

日本の説明にも納得せざれば最後的決意を爲す外なかるべく

二、九國條約署名國會議をして肩替りせしめんとする案には日本は九國條約に違反せずとの立場より之を一蹴すべく

三、極東關係會議に移す案に對しても日本は第三國の參與に嚴格な制限を附すべく聯盟の希望さ一致し難い

四、解決案發見困難を理由に聯盟が議事引延しを策する時は極東…

演説内容は一定不變

松岡代表語る

【ジユネーヴ一日發】本日イーマンス議長と會見後松岡代表は語る

今朝イーマンス議長と會つたのは儀禮的訪問を兼ね手續問題につき打合せた、總會召集の事で話し合つたが、細かい事には觸れなかつた、余が總會でなす演説草稿はまだ出來ないが、言葉こそ變れ余の言はんと欲する處は理事會における言と何等變りはない、機會有る毎に日本の立場を…

松岡、マック兩氏 會見重大視さる

總會の大勢に影響

【ジユネーヴ一日發】わが代表部は十九ケ國委員會が豫想通りの經過を辿つたのを見屆け午後二時より代表會議を開き、總會對策を議したが、實質上の展開はマック英首相、エリオ佛首相が延べた後の私的會議に左右さる、處最も大なるためその對策を特に考究した、就中三日夕刻と豫想される松岡代表とマック首相との初會見は總會の大勢を支配するものとして注目されてゐる

總會では到底解決不可能

聯盟理事會議長語る

【ダブリン一日發】第六十九回理事會議長として活躍したデ・ヴアレラ氏は本日當地に歸着したが語る

六日の總會はリットン報告書に對する決議文を起草し、同委員會は報告書を十九ケ國委員會に迴附し、再度總會に移牒しやうが、總會では日支問題解決は不可能であらう

右は何れも日本側より見て成立の不安定な遷延せしむるを指摘し審議促進を要求する

問題を聯盟より切離し聯盟はオブザーバーとして參加する案であるが、日本の立場に近き案は…

委員會出席代表醜態

【ジユネーヴ一日發】十九ケ國委員會の實際議事は馬蹄型の中央部の議長を圍むエデン(英)ベネシユ(チエッコ)氏外二、三名間で進行、馬蹄卓の左右端のパナマ、メキシコ、コロンビア諸國代表等はスキスのモッタ氏の演説頃から居眠り始め、その中の一人は大きく一つお辭儀して醜態の限りを盡し、彼等が如何にこの問題に不熱心なるかを示し十九ケ國委員會組織の缺點を遺憾なく發揮した

實際解決案に向ひ努力すれば日本の希望に近き解決案を得ることが出來るかも知れぬと一縷の望みが繋がれてゐる

顏代表の書翰

各方面で不評判

【ジユネーヴ一日發】本日の會議に朗讀された支那側の書翰は速かに日支問題の處置を執れ、報告延期の期間を限定せよと力説する外、支那が會議の直前に例の如く滿洲における形勢惡化を高調し感情を煽らんとしたものであると觀られてをり、委員會のためはねつけられたが各方面で評判が惡い

英首相等赴壽

【ロンドン一日發】マック英首相サイモン外相は午後二時ロンドン發ジユネーヴに向つた

松岡代表休養

【ジユネーヴ一日發】松岡代表は休息旁々總會對策を練るため午後三時半列車で矢田スイス公使、小林代議士同伴スイスの首府ベルンに赴いた、公使邸に一泊二日午後歸壽する豫定である

哈爾濱事務所長金井氏か

滿鐵二日附社報を以て總務部囑託金井清氏はハルビン事務所囑託となつたが、氏は上海等に永い生活を送り鐵道畑の親交あり、國際聯盟調査團に顧問として村上理事、宇佐美部長等と鐵首席隨員として活躍した人、同氏が今回ハルビン事務所なつたことは、近き鐵道關係次異動と共にハルビン事務所長の椅子を占めるとの説が最も有力に傳へられてゐる

拓の債務を完濟する事にしたが基本財産よりの借入れに關しては來る十四、五日ころ市會を招集し承認を求める筈

張景惠氏一行

【京城特電一日發】三十日夜入京した滿洲國軍政部長張景惠氏一行十四名は一日午後七時京城着同從武官長張海鵬氏と落ち合ひ七時二十分京城發列車にて一路歸國の途についた

ほんこん丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定のほんこん丸主なる船客は小磯關東軍參謀長、副官有馬大尉、山下汽船取締役納賀雅信、同船長中原治敷、川村數郎

滿鐵辭令(一日附)

埠頭事務所海運長技師 中川…
鐵道部港灣課調査係主任を命
大連鐵道事務所營業長…
參事 宇佐美…
奉天鐵道事務所營業長を命す
總務部事務囑託 金井…
哈爾濱事務所事務を囑託す

蛇 舌

◇支那代表の決議文起草要求が九國委員會で拒否され、文字通り顏が潰されたわけだ。
◇逆宣傳が逆宣傳と認められるやうになつたのは一進歩。
◇顧維鈞より悲觀の密電學良に飛ぶ、學良憮然呻吟、それ見たかといひ度い。
◇販賣勝手次第、その銃器より恐ろしい法の疑義。
◇ペンゾイリンの先例もある、統制の不備を潜らんとする不逞を警戒せよ。

市營住宅借入金

六十萬圓を東拓會社に返濟

大連市では市營住宅建築の際大藏省を通じ東拓會社より借入れた資金の中なほ六十萬圓の債務未濟を有するので、市では遞信省より簡易保險金六十萬圓を借り入れ右返濟に充當すべく交渉中であつたが今回遞信省では簡易保險金運用委員會を開き協議の結果貸出五十六萬餘圓と査定し本年度内に授受する旨回答し來たので、市ではそれに家賃收入を加算しなほ不足額三萬圓を市の基本財産より借入れ東…

大使館設置費

第二豫備金支出

【東京二日發】大藏省は滿洲國大使館設置費十一萬三千四百七十六圓を昭和七年度第二豫備金支出の件勅裁を經たる旨二日發表された

長江以北の剿匪

徹底的肅清至難 (4)

上海にて 日森虎雄

五、赤區の安定

湖北、河南、安徽三省の共産軍討伐は一段落を告げ、共産軍は重要なる根據地を放棄して陝西省境方面へ逃れたが、共産軍撤退後の赤區を徹底的に肅清、救濟することは一般人の想像する程容易なものではない、實に困難な問題である、民衆が共産軍と共に逃れ或は白地へ避難せる後の滿目荒涼たる赤區に入つた中央軍は、全く手の附けやうがなく、殊に多數の避難民は河南南部の光山、商城間の野に充ち無衣無食の悲慘なる狀態を呈してゐる、且つ潰走した共産軍は密かに地區委員會を配置し遊擊隊を以て民衆を監視しその潜勢力を保持せんと圖りつゝあり、鄂東の黃安、麻城及び鄂中の洪湖の周圍においてもこの方針を採用してゐる、故に目前の救濟の道は歸來した民衆をして中央軍の恩惠を知らしめ殘匪を掃蕩することであるが、蔣介石氏もこの情勢に鑑み避難民を酷遇する事を禁じ、罹災の輕重に應じて田賦の全免、半減、猶豫等を規定し、各縣駐屯軍及び民團に對して行政督察員の指揮を受くべく命令した故に各區行政專員の責任は極めて重大で今後回復した赤區が安定するや否やは一にその努力に懸つてゐるのである

鄂東方面では共産軍の禍害は、黃安が最も甚だしく同縣の匪軍は大部分河南安徽省境方面及び麻城の西北へ逃亡したが、東南の尹家河、祝家塅から三角山に至る一帶の地域には獨立團及び遊擊隊が深山中に潜んでおり、古風嶺以東にも獨立師の一部あり縣城の西方河口、南方八里灣に至る沿道には散匪が潜んでゐる、過日獨立團長劉紱崑は六十團の一部とともに河口を猛擊したが、萬耀煌師のため擊退された、軍隊の力が足らぬため黃安では剿匪義勇軍を組織し縣城から宋埠に至る一帶の地方においても組織中であるが、黃安の保安隊は一部縣城を守り、一部は八里灣に駐屯し、一部は各村鎭を遊擊し、一部は軍隊を嚮導してゐる

最近は避難先から復歸する民衆が陸續として絶えず、縣へ自首し保護を求めてゐるが、縣では新なる證明書を發給し同時に戶口調査を行つて良民の保護を與へてゐる、田地、家宅等は討伐軍に荒されてゐるので、その整理は容易な業に非ず、各種の徵税も停頓し學校も開かれず、全縣の周圍は壕で埋められてゐる有樣である、省政府でもその救濟の急務を知り既に調査員若干人を派遣して各方面を視察せしめてゐるが、有識者は赤區の肅清より寧ろ赤區民衆の惡化を憂へてゐる次第である、上海のデリーニユス紙の如きは十月十五日の紙上で次の如くいつてゐる

政府軍は多くの地方において勝利を得てゐるが、共産軍の討伐はその結果の永久性によつて判斷せねばならぬ、第二インターナショナルが二十萬と號する共産軍は中部諸省に散在してなり武裝も整ひ、驚くべき多數の機關銃を有してゐる、此等の共産軍は到る處に出沒して政府軍を困惑せしめてゐる討伐には政府軍の外航行警備中の外國砲艦も非常に重要な役割を果して來たが、その全幅的討伐の成功か──容易ではない

人事

▲杉浦憲一氏(大連警察署警部補)新任挨拶のため二日市内各方面歷訪
▲竹下又吉氏(同上)同上
▲築島信司氏(國際運輸重役)二日午前九時入港はるびん丸にて着連
▲福島正雄氏(化學工業取締役)同上
▲木村弘之氏(二等軍醫)同上
▲エイ・アグレン氏(瑞典人技師)同上
▲キニーズイク氏夫妻(エストニア貿易商)同上
▲門野重九郎氏(大倉組重役)二日午前十時出帆うらる丸にて内地へ
▲角野久造氏(福島紡績社長)同上
▲平賀周氏(元石川縣知事)同上
▲北山雅一氏(滿鐵囑託)同上
▲細野順氏(滿洲國海關員)同上
▲淺沼謙三氏(實業家)同上

滿蒙の戰慄 (166)

直木三十五作
淺枝次朗畫

大陸晴る 一ノ五

「あゝ、支那だ」

はつきりと、支那らしい物を感ぐ消えたかと思ふと、機は、大きく斜になつて、一方には空が、方には、傾斜した土地が見える…

…三臺あつた。出迎への人らしい人々が、七八人、手を擧げてゐるのが見へた。二人の相客が、既にも…

…の椅子を、つかんだ時に──さうだわ。乃木將軍のだわ。お父さんのよく唄つしやつた乃木さんの詩わ。金州城外夕陽斜なりそうだわ──ぢやもう、地なんかに、近いのかし…

…衛生をとつて、首へ卷きそして、何も忘れない、手提と、手袋と、小さ品とを見廻した。…が、大きい屋根を見せてれが、急に近づいて、す…

…つて、半分立ち上つてゐた。機は一搖れして、止まつた。扉が開くと、

「やれ〳〵」

と、云つて、一人が、飛び下りた。

「御歸へんなさい」

一人の子供が、その前へ、走つてきた。次の一人にも、子供が掩いた夫人らしい人が、笑ひながら近づいてきた。扉が降りると、人々は、ちつと、麗を眺めた。

「誰も、妾を迎へてくれる人はないけど──それでいゝの──」

そう心の中で云ひながら──何うちに、大連の町があるのか？何處へ行けばいゝのかは、人々の嬉しそうな笑ひ聲、話し聲を聞きながら、事務所の待合室へ、入つて行つた。事務員が

「御一人ですか」

と、聞いた。

「えゝ」

麗は、微笑しながら、

「この人に、宿屋を尋ねて──」

と、…

張殿九軍を追撃して 我軍續々と前進
先遣隊札蘭屯を出發

札蘭屯の張殿九軍に對し我軍は猛烈な攻撃を開始し前進中であつたが服部先遣隊に引續き高波部隊の挺進部隊もまた一日午後一時札蘭屯に進入した、宮本部隊は一日午後三時札蘭屯出發列車にて更に敗殘兵を急追中、鐵道沿線方面にては平賀部隊一日午後三時朱家崗に進入しその他の部隊も亦甘南七棵樹の線を通過し前進中【新京電話】

茂木枝隊は東支鐵道沿線の平賀部隊と甘南チチハル街道の服部部隊との中間路の敵を掃蕩しつゝ成吉斯汗驛に向つて敵を急追中【新京電話】

東支鐵道沿線の平賀枝隊は十數隊に別れて一日早朝富拉爾基を出發碾子山に向つて進撃中【新京電話】

服部部隊の司令部 札蘭屯に入城
附近高地で激戰

服部部隊司令部及びその一部隊は自動車で一日午後一時敵の抵抗を受けず札蘭屯に入城した服部部隊の宮本先遣隊は一日朝札蘭屯驛附近に集結し市街の掃蕩をなしつゝあり又高波部隊挺進隊は一日午前八時札蘭屯に到着、宮本先遣部隊との連絡がなつた【新京電話】

三十日札蘭屯方面にあつた蘇炳文張殿九の叛軍に對しわが軍は總攻撃を開始した、宮本先遣隊は裝甲列車により甘南城方面札蘭屯に前進し、三十日午後一時半札蘭屯東方四キロの高地にある敵を急襲交戰二時間にしてこれを激滅同夜完全に札蘭屯を占據した、主なる官衙わが手中に歸す、同地にあつた敵は張殿九の部下にして機關銃、歩兵砲多數を有し歩兵六百、騎兵二百なり、敵の遺棄死體百、捕虜五十、重要書類多數を鹵獲した【新京電話】

服部部隊及び種村部隊はチチハル管内より札蘭屯街道の南側に沿ひ三十日午前三百の敵を追撃しつゝ前進午後四時四方山の約五百の敵を攻撃敵は數回に亘つて逆襲し來つたが撃退され死體百を遺棄して逃走、馬三十その他鹵獲品多數わが軍の損害なし【新京電話】

朱家崗以東に敵の影なし
わが飛行機偵察報告

わが飛行機の報告によれば一日正午までの彼我狀況左の如し
朱家崗以東には敵兵を見ず、敵は南方十里に退却す、碾子山は陣地に變化なきも鐵道兩側の陣地は未だ嚴重に補裝をなしつゝあり【新京電話】

白衣に包まれて
北滿の戰傷病兵來る

曠漠たる北滿の原野に轉戰し幾多の武勲に輝く名譽の戰傷病兵一等鍛工長原雅田氏以下二十六名は今回内地へ凱旋する事となり鐵嶺衞戍病院分部看護官以下看護班に看護されつゝ傷々しい身を白衣に包み二日午前七時大連驛に到着鬼塚二等軍醫を始め陸軍關係者その他公私機關代表者各種團體等官民多數の出迎へ裡に大江町衞戍病院に收容されたが二日午後三時旅順より到着する戰友傷病兵十九名及びさきに來連せる白衣の戰士と合し來る四日午前十時半出帆備州丸にて廣島より出迎の木村弘之二等軍醫附添ひ故國へ歸る筈である

金福混合列車

金福線では最近旅客と特產出廻り增加にて現行の列車にては輸送が出來ないので五日より左の旅客貨物混合列車を增發することとなつた
▲下り 大連發十一時四十五分、貔子窩着十六時四十分、城子疃着十七時廿五分
▲上り 城子疃發十時卅五分、貔子窩發十一時十九分、大連着十六時廿分

練習艦隊司令官新京を訪問

【海軍公館發表】百武海軍中將の率ゐる練習艦隊軍艦磐手、八雲の兩艦は來る十日大連に入港するが司令官百武中將は幕僚八名並びに兩艦長を隨へ十一日午後四時半大連驛發列車で北行、十二日午前八時新京驛着の上滿洲國執政に謁見し又鄭國務總理、張軍政部長並びに武藤全權を訪問した上同日午後四時半新京發列車で歸連の豫定【新京電話】

滿洲國童子團 門司市中見物

【門司特電二日發】内地各地で歡迎を受け大喜びで歸途についた滿洲國童子團一行廿名は香港丸で二日門司につくと後藤市長始め婦人團や少年團に迎へられて上陸、自動車で忠魂碑や八幡宮和布刈神社を參拜して門司市役所に到り大いに歡待され門司の少年團と交驩した、土產を貰ひ船に歸つた、小學生數百名が日滿國旗を打ふつて見送つたのは殊に嬉しさうであつた

國際的足拔き藝妓
新京から滿洲里へ前借踏倒し 石川ツヤ子こと良奴

滿洲里事件の最初の避難民として去る二十八日みすぼらしい姿で來連した石川ツヤ子(一〇)に絡る避難後日物語――若い身を以て滿洲の最前線たる滿洲里に在つて今度の事件に遭ひ着のみ着のまゝ脱走した哀れ避難民姿で彼女が大連驛頭に立つた時、誰もが同情の淚を注いだものだがその彼女こそ新京城内の料亭富久屋で良奴と名乘つて藝妓稼業中本年六月十六日前借千餘圓を踏み倒して足拔きし滿洲里の知人の家へ身を隱してゐるうち新京警察署の手配によつて滿洲里日本領事館警察の手に取押へられ保護留置の行政處分に附され樓主の井下都也が引取に行くことになつてゐた矢先北滿大水害で旅行不能、つい延々になつてゐたところ今度の滿洲里事件の發生となつた領事館警察に保護されてゐた彼女は在留邦人と共に本格的の保護を受くる身となり第一回の避難民に混つてシベリヤから浦鹽を經由敦賀に出て安奉線で奉天着、それから滿鐵本線で二十八日來連市内伊勢町カフエーOKこと保坂昇方に身を落ちつけたといふ頗る波瀾に富んだ足拔き徑路を辿つた女と判明、新京警察署からは二日附ツヤ子の保護方を手配して來ると同時に樓主は一日特急「はと」で來連し二日朝大連署保安係に出頭ツヤ子を引取るべく説諭方を願出た、そこで二日朝光増警部補が彼女を呼出し不心得を説諭し歸樓を促したところ「新京へは歸りますが富久屋で二度の勤めは嫌です」といふ條件で結局彼女は新京へ連れ戻されることゝなつた【寫眞は良奴】

餘榮輝やく 故于沖漢氏葬儀
日滿の官民代表參列

滿洲國建設の元勲故監察院長于沖漢氏を弔ふ十二月二日黑石礁于氏邸は黑白の幕をもつてめぐらされ滿洲國側、我が全權部、關東軍司令部、關東廳、滿鐵その他各方面から贈られた花輪をもつて埋まれ門前の接待室内には各方面より贈られた數百本の「對聯」が掲げられてゐる、玄關左側の一定に安置された靈柩の前には故于沖漢氏の生前の俤を偲ぶ寫眞を掲げ滿洲國政府からの供物、生花、燈明臺、勲章を捧げ香爐から立ち上る煙が祭壇を立ち籠めてゐる、午前九時令息于靜遠氏を初め遺族一同親く禮祭の儀を行ひ、午前十一時半より成主祭式が執行されその間午前十時執政弔使王大忠氏が來訪、親く靈前に燒香拜禮するところあつた、引續き正午より滿洲國政府代表交通部總長丁鑑脩氏を初め各部總長代理、吉林省長熙洽氏代理林秘書官各省代表、滿洲國參議袁欣凱氏、監察院長代理品川主計、憲眞、武藤全權代理林出書記官、關東軍司令部代理板垣征四郎の諸氏及び關東長官代理日下内務局長、林、八田滿鐵正副總裁其他各重役滿洲國中央銀行總裁代理五十嵐保司氏小川大連市長、金新京市長、永井大連民政署長、大内市會議長其他在連名士及友人鎌田彌助氏等約數百名參列、告別式に移り東本願寺を初め在連各宗僧侶約廿名の讀經あり、引續いて道教、佛教兩教の滿洲國僧侶の讀經次いで滿洲國政府代表丁鑑脩氏、全權代理林出賢次郎、軍司令部代表板垣征四郎氏らの順序で弔辭外務大臣、全權大使、本庄中將、鮑駐日、滿洲國代表、橋本憲兵司令官の弔電を朗讀し終つて令息于靜遠氏より謝辭を述べ午後四時終了する(寫眞は上圖から故于沖漢氏の靈前、執政府弔使の來邸、告別式參列の林滿鐵總裁)

海拉爾の二邦人を叛軍殺害

【マッエフスカヤ一日發】當地滿鐵報によれば海拉爾にありし細野某村上某兩名は海拉爾の東南方伊敏河畔で叛兵のため殺されたる由、東行中であつた川瀨某は扎仙屯附近に逃れてゐるらしいがその詳細不明

英靈二百二十四體 けふ悲しく故山へ

英靈二百二十四體は、はためく弔旗と、立ちのぼる香煙と、萬餘の市民のしめやかな見送りをうけ靜かに二日出帆うらる丸で故山へ歸つて行つた、これより先、埠頭待合所にはかれて設備された祭壇に二百二十四勇士の遺骨が白布に覆はれた小箱に收められて哀しく祀られる、故歩兵少佐齋藤誠氏、故歩兵少佐林輝人氏をはじめいづれも武勲赫々たるいさほしに輝く英靈である、或ひは拉哈に、泰安にチチハルに、東邊道に、拜泉に、點々と盡忠の鮮血を滲ませ皇國の軍人として名譽の戰死を遂げた勇士だ、午前八時半より神式をもつて市役所主催の慰靈祭が執行される、關東廳、滿鐵、鄉軍、學校代表等多數市民の參列あり型の如く式が進行し小川祭主ののりとについで關東長官代理井上民政署庶務課長弔辭を代讀し、ついで林滿鐵總裁、關東廳警務局長の弔辭が次々にしめやかに朗讀される、終るや團體代表の禮拜あつて午前九時より在鄉軍人の手によつてうらる丸甲板上の祭壇に移される、かくて小野寺實歩兵大尉以下三十七名の戰友にしつかり護られ最後に國の鎭めの吹奏裡に見送り市民一同の脱帽敬禮裡に悲しき凱旋の途についた【寫眞は埠頭慰靈祭】

南洋から自動車運轉手道行 けさ水上署で戀のストップ

◇…南洋サイパン島に結ばれた灼熱の戀に身をこがし狹い内地の人眼をのがれて氷結せんとする滿洲に胸の想ひをしづめんとした年增女と自動車運轉手の道行、戀のストップは遂に大連水上署であつた、二日朝入港のはるびん丸の

した戀愛劇ナンセンスもの一幕。
◇…二日午前九時入港のはるびん丸で乘船した大連水上署員が同船々客名簿を檢閲中、先行「大連水上署」となつてゐる稻草安五郎(三二)及び同姓キミ(三二)の兩名を認め不審に思ひ取調べたる處男は原籍千葉縣檢見川町稻毛住所東京日本橋蠣殼町一の二自動車業稻草安五郎(三二)女は原籍東京府南足立郡梅島町梅田會社員沖山一二三妻キミ(三二)と云ひ兩名は三年前南洋サイパン島に於て出稼中知り合ひ戀の實を結んだが沖山キミは夫一二三との間に十五を頭に三兒を抱へてゐたが夫の收入少く生活苦しき處より愛想をつかし本年九月キミは夫や子供を捨て、南洋より内地へ歸つた
◇…その後稻草は女の後を追つて同十月歸國し東京に同棲生活を營んでゐたるも世間の人眼も煩さく一層滿洲で氣樂に暮らさんものと知人を頼つて二人手をつなぎ二日入港はるびん丸にて來連したものなる事判明したが水上署では直に郷里に照會する事となつた

滿洲國の籠球軍
一行元氣でけさ來連

來る三、四日兩日午後七時より大連第二中學校體育場に於て擧行する第一回日滿交驩籠球試合に出場する滿洲國代表チーム一行十名は二日午前七時着列車で黑田善八監督に引率され林田滿洲體育協會主事、原田全大連監督其他選手關係者多數の出迎へを受け元氣よく着連直に奥町中華樓に投宿した、試合日程は左の如くである【寫眞は一行】
三日午後七時 全大連第一回戰
四日午後一時 黑猫戰
四日午後七時 全大連第一回戰

改悟を誓ひ泣き崩る
刑務所の取扱に被告が感激

兵庫縣神戸市前田町生れ住所不定安本義夫(三五)は二日午前十時大連地方法院長島裁判長係で強盜、窃盜事件の裁きを受け立會の池内檢察官から懲役八年を求刑されたが裁判長から「何かいふことはないか」と問はれハラ〳〵と涙を流しつゝ「私は十五年間といふ永い間を內地の刑務所で暮して來ましたが、罪人に對する待遇は極めて冷たいものです、訓誨師はパンのために口先の訓誨であり却つて社會に對する反抗心を增長させるところです、然るに大連の刑務所は眞に我々に對して溫い慈悲と同情を以つて接して呉れます、これに對し私は再び惡事を働く氣にはなれません」と裁判長に改悟を誓つて泣き崩れ傍聽者も貰ひ泣きをした、判決言渡しは來る八日

略式命令では密賣處罰さる

大連市紀伊町六山田銃砲店石動朝秀に係る銃砲火藥取締規則第三十五條の違反事件が營業上の行爲として大連地方法院で無罪の判決があつたのは當業者間のみならず一般に驚異の感を以て迎へられてゐるが同じく第三十五條の違反で略式命令を以て罰金八十圓に處せられた大連市彌生町岩崎銃砲店岩崎庄太郎は正式裁判を仰がなかつたゝめに犯罪が確定し罰金を納付する反對の奇觀を呈するに至つた岩崎の違反は山田銃砲店とは全然關係なく單獨に自己の製造した拳銃を許可を受けずして賣却して罪に問はれたもので仲介者等連累者も同じく處罰されたがこれ等は三十五條には該當せぬので疑問はないが岩崎の行爲は當業者として山田銃砲店と同樣の關係にあり三十五條に該當する點に就て正式裁判を仰がなかつたゝめに馬鹿を見たといつてゐる

山田銃砲店は愈々檢事控訴

銃砲火藥取締規則第三十五條の條文の疑義から無罪の判決を言渡された山田銃砲店こと石動朝秀(三八)にかゝる所謂銃器密賣事件は同規則の有效論を主張する高井檢察官によつて二日附檢事控訴を見るに至つた

鳥井氏講演

去る十五日來連した世界十萬哩徒歩旅行者日本開南協會長鳥井三鶴氏は世界各國々情探檢談について三日午後六時より市內敷島町青年會館に於て講演會を開催する

忌明け寄附

三井物產大連支店員川口彌之助氏は先頃逝去した夫人の忌明に際し市内貧困者等に對し金三十圓を贈りたき旨日本社に依頼して來たので本社では直ちにこれを大連市役所に取り次ぎその手續きをすることにした

天氣予報

三日 東北の風(晴)後曇り

各地溫度 二日午前十一時
大連 二 奉天 零下二
旅順 五 新京 同二
營口 〇

けふの小洋相場(十一時)
金百圓 一二二四圓丁度

物騷な歳の暮

▼…いよ／＼物騷な歳の暮がやつて來ました、暮には各警察刑事部の犯罪統計は、毎年きまつて激增を示してゐます、殊に本年は排日、滿洲を通じて大事件が續發し、近來稀な殺伐の時代相を現出してゐますので、この年末は一層氣づかはれてゐます

▼…當局でも皆樣が安心して生活出來るやうに、早いところは十二月一日から非常警戒に當つてゐますが、この際唯當局にばかり賴らず、自ら被害を防いで、民衆警察の實を擧げることに努めればならぬと思ひます、如何に兇暴な強盜竊盜の類も、各家庭の一寸した注意で案外容易に除かれるものであります

▼…防犯の注意としては、戶締の用心、勝手口の注意南京錠を使ふな……等々、色々とありますが、是非とも行つていたゞきたいのは外燈、街路照明等の施設の完備であります、經濟的事情もありませうが「屋外の照明は無言の警官」といふ標語すらある程です各家庭各町會は是非屋外照明に今一段の意を用ゐられたいものです

ソフトの被り方
斯うすれば理想的

◇…東洋人は百人が百人まで帽子を被ぶるときや脫ぐときに帽子の山を指三本でつまむ惡い癖がありますが、このために高いお値段の品物も僅かな間に指のあたるところに孔があいて臺なしになるばかりでなくスタイルを全くくづしてしまひます（寫眞上）

◇…で、帽子を被ぶつたり脫いだりするときには何といつても右手で前ツバを持ち、左手で後ツバをもつのが理想的で、これなら決して型の崩れる心配もなく帽體に孔をあける憂れもありません（寫眞下）

◇…西洋人はながい習慣も手傳つてゐませうが、東洋人のやうに帽子を無雜作に取扱ひませんので彼等の帽子はいつもキチンとしてゐます、モボをもつて自ら任ずる彼氏や彼氏、帽子の被り方をお改めになつては如何です

婦人靴の選び方
先づ第一に自分の體格や足の形と相談が必要です
極く自然な型が無難

小さい時から下駄や草履を履き馴れた日本人の足は一體に巾が廣くて扁くおまけに甲が高くて洋靴を穿くには不恰好ですがそれでも靴の選び方によつて相當誤魔化せるものです、足が大きいからといつて無理矢理に小さい靴を穿くのは却て大きく見せるやうなもので橫の深さも相當あることが必要です、足のはみ出るやうな窮屈な靴を、さも痛さうに引摺つて步くのは見られたものではありません、このごろ流行の紐も釦もないパンプスは足を大きく見せますから足の大きな方には禁物です淺く編上げて稍幅の廣い紐を結ぶと一寸足の

大きさ がかくされますが最も效果的なのはT字型のストラップ（釦かピジヨウでかけ紐をとめる式のもの）で、ストラップのために足を半分に區切られて細く見えます、踵は高い加減の方が細く見えるのは、無論ですが靴に馴れない方や扁平足の方には不向です、馴れない方がハイヒールでお步きになるのは見ろからに危つかし氣ですし、扁平足の方がハイヒールで遠みちでもなさらうものならそれこそ新調の靴を投げ捨ててしまひたい位足の筋がつゝぱるからです、日本婦人にはこの

扁平足 が案外多いやうですがさういふ方は幅の廣い踵の低い靴に限ります、スラリとしたスタイルのよい方には先の細いパンプスのハイヒールもシツクですが、極端に背の高い方ならヒールは餘り高くない方がお得でせう、ズングリした方には勿論ハイヒールが効果的ですが、餘りヒールの華奢なのは寧ろ滑稽ですから相當肉のあるハイヒールをお選び下さい、小さい時から靴ばかりで育つた歐米人でさへ足に合はない靴には隨分惱まされるものと見えて先年トウ（爪先）の極端に細いポイント型が流行つた當時にはドイツあたりでも靴の型錄には必ず靴まめ廣告がついてゐたと聞きます

今では こんな非衞生的な靴はアチラでは殆ど影を潛めて圓味のあるごく自然な型にかへりつゝあるのですから、特別に足先の扁たい日本人が今更この弊に倣ふまでもありますまい、お正月の靴でもお選びになるやうでしたら先づ第一に自分の體格や足の形と相談する事が必要ですが、わけても中年以後になつてはじめて靴をはかうといふ方はよほど愼重に考へて、靴の恰好より何より先づ自分の足に履き易い足の疲れないものといふモツトーの下にお選びになるべきでせう、それにはヒールの極端に高いパンプスは不向です、ストラップのついた二吋位の踵で爪先の圓い廣目のものなら大がい御婦人方に步き易くて醜くないと思ひます

齒と健康……（上）

大連醫院齒科醫長　田中貫一

口は禍ひの門と申します、醫學上の見地から見ましてもまた、との言葉に眞理があると思はれるのであります、多くの病が口から入つて參りますことはこゝに申し上げる迄もないのでありますが、最も明かな場合を申しますと「コレラ」にしろ「チフス」にしろ又は赤痢にしろ、いづれも口を通して入つて參ります（勿論口を通らず入つて來る病も澤山ある例へば「ペスト」の如き）其等の病はいづれも急性の病で流行の時期と云ふものが大體に於て一定して居り且つ防疫方法もよく行屆いて居りますから、かなり避け得られるものであります、罹病する人の數も、今日では著しいことはない、文化の程度の進んだ都市では殆ど之れ等の病に對して心配する事はなくなつたのであります、我大連は殘念乍ら未だ其の程度にはなつて居りません

▼……▲

今申しました樣な急性の病に對しては、人々は可成り敏感でありまして、非常に注意を致しまするが、慢性の病即ち非常に徐々にやつて來る病、言葉を替へて申しますれば、徐々に健康を害して、尊い生命を短くするといふ樣な病に對してはあまり關心をもたないのが一般であります、死と云ふ事に對しては、誰しもが恐怖を有するが、これに直面しない間は忘れてゐる、これはそうなくては人は生きて行かれない、が然し死を恐れる必要はないにしても、之れある事を忘れずに、一日でも長く生きなければならない事を願はなければなりますまい、勿論國家有事の際に、一命を捨てる事は誰れしもしなければならない事で有りますが、其れにしても健康なる身體を不斷から養つて居なければ、たゞ犬死に終る樣な事さへも起り得るので有ります

▼……▲

諸種々なる慢性の病、又は不知の間に健康を害する樣な事は口に其の源を發して居る場合が非常に多いのであります、口と申しますが、こゝで云ふ口とは、主として齒を指すので有ります、口の病の主なるものは即ち齒の病で有るからで有ります、齒の病を大別しまして齲齒と齒槽疾患（齒グキの病）との二つにする事が出來ます、齲齒と申しますと、齒牙硬質の缺損を來すもので之れに引續いて起る種々の病を總括して假に齲齒と申します、齒槽疾患と申しますと、齒牙實質には關係なく齒牙を支持して居る周圍の組織、主として骨、粘膜及び結締織の病であります、今之の主なる二つの病が全身の健康に如何なる影響を與へるかを暫く述べて見度いと思ひます

▼……▲

口は消化器系統の一器官として如何なる役目をなするかと申しますと、我々が食物を口の中へ取りますと先づ齒を以て噛み碎く其の際に如何なる變化が起るかと申しますと、第一に大きな塊を細く碎くして次にそれを桶の樣に平たくする、この作用が非常に必要なのでありましてこれによつて食物の表面を廣くする即ち消化液が作用し易くなる樣にするのであります例へば氷砂糖を水に入れても中々溶解しないがこれを碎き細かくすると早く溶解する之は水が作用する表面を大きくした爲めである其れと同じ理由で有ります、其れから口の中にある唾液でありますがこの中には「プテアリン」と稱して「タカヂアスターゼ」と同じ作用を有する酵素が含まれて居て含水炭素即ち米、野菜の主成分を糖化するのであります、斯樣にして噛み碎かれて一部分酵素により消化された食物は胃並に腸に送り込まれ、そこで又胃液腸液の作用を受けるのであります

▼……▲

今假に消化器系統の門戶である口の機械的並に化學的の作用（この二つの作用を一所にして咀嚼と申します）に不完全な處があつたとしますると、其の不完全な部分だけ胃又は腸で補つて行かなくてはならない、即ち胃又は腸はそれだけ餘分の働きを常に營む爲めに破損し易くなるは理の當然な事であります、其れ故に胃腸を健康に保つ上に咀嚼機能を完全にしておくと云ふ事は絶對必要な事であります、この問題について統計的に調べて見ると、胃腸病者の多くの人に咀嚼機能の不良の者が多い、又日本の或大學で實驗的に咀嚼機能の不良な人で然も胃腸病で入院して居る人の咀嚼機能を完全なる義齒を以て回復した結果いづれも非常な好成績を得たと云ふ實驗報告があるのであります。

(59)

アナノナカノカジトハオカシイナア

キモチカワルイナアマックラデ

ニンゲンナンカフベンナモノダ ボクナンカヘイキダ

ポンコアブナイゾキヲツケロヨ

コリヤバカニフカイアナダ

ダンダンセマクナツテキタヨウダ

滿洲婦人歌壇

前島泉竹

○滿洲の野に秋たけて降る雨の露に山べのもみぢ染めゆく

○晚秋の風の間に／＼落葉せしポプラの並木路淋し夕ぐれ

○この日頃風いと寒く學びやに出で行く子の身思ひやる朝

○霜月の風吹き荒るゝ曠原に戈とる皇國ますら夫を思ふ

○いかづちの荒るゝ夕べは南山ゆ吹き來る風もすさまじきかな

家庭顧問

肝油をのませた三人の子の耳がたゞれた

【問】三歲と五歲と七歲の子供に二十日程前から肝油を服用させてをりますが飲みにくがりますので葡萄酒の上に落してやつてゐます、ところが四五日前に氣づいたのですが三人共耳の附根がただれた樣になつてカサブタが出來てゐます、肝油のために出來たのでせうか（大連一愛讀者）

汗油の爲でなく誰かの濕疹が傳染したもの

金子甚藏

【答】たゞれたのは肝油のためでなくたま／＼誰かに濕疹が出來、それが傳染したのだらうと考へます、お子さんに肝油をお上げになるのは結構ですが一時的に多量與へるのは害あつて效果が尠いから、少量づゝ永續して用ゐられるやうおすゝめします、飲みにくければ砂糖水、サイダーなどに浮して用ひてもよいが酒精性の飲料はお子さんの發育に害がありますから葡萄酒に浮すのはよくありません、年齡によつてはドロツプでもよいでせう、下痢や消化不良の際には服用を中止して元氣な時にやるやうになさい、虛弱な腺病質の子供には肝油は大變效果がありますが健康な營養狀態の良好なお子さんには一般食餌に注意すれば肝油は寧ろ不必要です。

お料理のメモ

牛肉の白菜卷

▲材料（五人前）＝牛肉七十匁、白菜五六枚、葱少々、砂糖五匁、醬油二勺半

調理 牛肉の挽肉に葱又は玉葱を細かく刻んだものをまぜます白菜は大きなやはらかな葉をえらびサツと熱湯に通し俎の上にひろげて固い所をこそげとり一枚一枚少しづゝづらして重ね手前から並べます、前の牛肉を棒狀にまるめて白菜の手前の端に置きクル／＼と端から卷いて鍋に入れ、分量の砂糖と水八勺を加へてとつぷり煮込み醬油をさして更に暫く煮ます、內部まで程よく味がしみましたら小口から五六分に切揃へ、深皿に格好よく上向に並べ上から煮汁を少しかけて供します、お好みによりその上から胡椒、七色唐辛子等をかけたのも風味があります。

里芋田樂

▲材料（五人分）里芋三合、味噌五十匁、青柚子一個、砂糖大匙一杯、煮出汁少量

調理 里芋は俗にまご芋といふ小粒の圓つこいなるべく粒の揃つたものを選びます、これを擂鉢に入れれんぎでゴロ／＼擦つて皮をよく落し綺麗に洗ひ上げます、鍋に湯をたつぷり煮立てて前の里芋を軟かになるまで茹で後水にとつてヌラ／＼を洗ひ去り笊にあげておきます、柚子は丸ごとよく洗ひ周りの青いところを卸し金で摺り卸して置きます。味噌は擂鉢でよく摺り砂糖を加へ、更に適宜の煮出汁を加へてドロリとした加減に摺りのばし裏漉しにかけて置きます、前の里芋を一つづゝ布巾に包み水氣を拭きとつてそれから芋の頭を指でつまんで好みの形をつけ、金串に三つ四つゞゝさして中位の炭火で兩目に燒き目をつけます、串から拔いて皿に恰好よく盛ります、味噌は前に準備したものを鍋に入れ火にかけて適當に練り上げ、お芋の上からかけ、その上に摺り卸した柚子を振りかけてあたゝかいうちに供します、もし金串がなければ金網で燒いてもよく、炭火の代りに瓦斯で氣水に燒いてもかまひません

滿洲日報
昭和七年十二月三日　（土曜日）　第九千五百六十二號　（一）

動議、決議案の內容と報告提出期間の確定

聯盟總會の二重要問題

【ジュネーヴ二日發】總會前のジュネーヴは靜寂ながら息詰まる緊張の小康狀態が續く譯だが、總會開會の曉には聯盟の立役者總出で聯盟始まつて以來の危機と稱せられてゐる、總會における興味は總會に提出され、次いで十九ケ國委員會に附託されるべき諸種の動議乃至決議案の類の內容如何に集中される譯であるが、これ等の決議案中最も重要なる點は聯盟が滿洲國に對して執るべき態度如何である、この點に關してはアメリカの協力を求める必要上、結局滿洲國不承認の決議が採擇されるだらうといふのが一般の觀測である、今一つの重要なる問題は總會の最終報告提出延期々間を確定する件で、これは結局總會の討議結果に基いて十九ケ國委員會が決定すべき問題の一つとなる模樣である總會において日本代表は再びその態度を闡明し、今回は理事會における聲明よりも突込んで單に過去の事實を詳說するに止まらず將來に對する日本の政策にも觸れるものと外國側で觀測してゐる

支那逆宣傳材料配布

わが意見書に對抗して

【南京二日發】調査團が支那滯在中顧維鈞が提供した逆宣傳材料は極めて尨大なもので、近く之を印刷し諸府で各國代表に配布し日本の意見書に對抗して專ら宣傳に努むる事となつた

日本誹謗の逆宣傳

紐育にて發表

【ニユーヨーク一日發】當地支那文化協會は對日逆宣傳のため支那政府よりの公文書類を今日發表したが、右公文書類は顧維鈞よりリツトン調査團並に聯盟理事會に對し提出されたる覺書及び同覺書に關する文書より成るもので右覺書の內容は

日本は食糧品、原料品の供給を滿洲に求めることを期待してゐるものに非らずして一九一一年以來滿洲に對する支那主權の分割に努力し來つたものであると日本を誹謗し且つ支那における排日貨運動が正當の理由ある所以を力說したものである

滿洲國團體の報告反駁書數

リツトン報告書に對する滿洲國民間團體の反駁書は或は單獨に或は外交部を通じて國際聯盟に宛て續々發送されつゝあるが、十一月一日の蒙古各旗民衆代表の反駁書を初めとし十二月一日まで合計電送せるもの十種十通、原文に譯文を添へて送附するもの二十餘種五十通、原文のまゝ送附せるもの二千餘通の多きに達して居り、電報輸送料の總額一萬數千圓の巨額に達してゐる有樣である【新京電話】

利益を提供し小國側を抱き込む

支那代表部躍起運動

【ジュネーヴ一日發】理事會開會以來の强硬な決意表明と率直な所信披瀝が奏功し、總會出席の大國間に總會劈頭滿洲國不承認等の決議を爲さず、すべて十九ケ國委員會に附託し裏面的解決に努力すべき諒解成立したが、この形勢に驚いた支那代表部の躍起の策動奏功しスペインのマダリアガ氏、スイスのモツタ氏、コロンビアのサントレポ氏等の間には抽象的にも總會で滿洲國成立反對意思を表示せしめんと考慮しゐると傳へられ利害反する小國と大國間の微妙な動きにより成行が決する譯であるが、イーマンス議長は總て一旦十九ケ國委員會に移し總會においては小國筋に充分論議せしめたる後大國筋が實際に卽した穩健な意見を發表し、過激なる決議を牽制せしめんとしてゐる如くである、これがため支那代表部は手段を選ばず利益提供等の陋手段により小國筋を積極的に反日態度に傾かしむるやう狂奔しつゝあるが、何處迄喰ひ込み得るものかと注目されてゐる

議長總長會見

【ジュネーヴ一日發】イーマンス議長は松岡代表と會見後直ちに事務局に赴きドラモンド事務總長を訪ひ委員會直前まで四十分餘に亘り會談を遂げた會見內容は臨時總會を如何に導くべきか日支問題を如何なる方向に向くべきかでドラモンド總長は之に就き自己の腹案をイーマンス議長に示し意見交換が行はれた消息通の談に依るとドラモンド總長は日支問題處理の策第一、二、三と數個の假定案を準備してゐるが其の何れにも確信ないらしい未だ日本にも內示されて居らず嚴重なる秘密裡に取扱はれる模樣である

要すれば進んで獨立不可侵を强調

滿洲國の對聯盟態度

最近における聯盟の情勢は滿洲國の利益に重大なる影響を與へんとするの傾向あるに鑑み滿洲國政府は從來の對聯盟無關心主義を排し聯盟の結論に對する萬般の外交政治をなすことになつた、卽ち滿洲國政府は曩に聯盟並に小國側の諒解のために特に滿洲國政府顧問ブロンソン・リー氏及び丁士源氏を派遣したが聯盟の動向の如何に依つては敢然聯盟に對し公式代表の資格に於て堂々滿洲國の建國並にこれが獨立國家としての不可侵性について論陣を敷く豫定である、右に關し兩代表は日本ジュネーヴ全權代表部並に本國政府に對しジュネーヴの雰圍氣を豫想しこれに對する準備として指令を仰ぎ來つた、滿洲國政府としては結局左の範圍內に於て對聯盟態度を決定すべく聯盟が萬一左の範圍を越えたる結論に誘導せんとするに於ては斷乎として新國家の獨立性の認識喚起のため適當なる措置を採ることゝなつた、新國家の獨立に對する滿洲國の對聯盟態度は左の如くである

一、「滿洲は支那の一部なり、而して支那政府の主權は今なほ滿洲に及びつゝあり」との誤れる觀念は放棄すべし

一、滿洲國の獨立は全滿民族の自決に基くもので何國といへどもこれを妨ぐるを得ぬ必然性のものなること

一、滿洲國は數次に亘つて聲明したる如く滿洲國が支那より分離作用を起し完全に支那の主權を排除し獨立したる現事態に對し列國が九國條約に違反して生じたる事態と認め徒らに條約違反呼ばはりをなすは民族の最高意思並に國家の獨立性を侵害するも甚だしきもので滿洲政府はかゝる聯盟の結論に對しては絕對に承服し難きものである

等である、なほブロンソン・リー、丁士源兩氏に對して滿洲國政府は近く何分の回訓を發するはずである【新京電話】

丁使節の意見書內容

【ジュネーヴ一日發】滿洲國執政特使丁士源氏は目下ホテルに籠りリツトン報告と支那代表顧維鈞の演說に對し滿洲國執政代表としての意見書の執筆に沒頭してゐるその內容は大體左の如きものである

一、滿洲事件が起らざりせば張學良の暴政に對し、飢餓に瀕せる農民の暴動が必ず起り、滿洲は兵火の巷と化し收拾し難き狀態となつてゐたことであらう、滿洲事件は單に獨立の契機となつたに過ぎない、この點顧支那代表の演說は誤りであり、リツトン報告書も調査不十分である

一、民族自決はヴエルサイユ條約により生れた、聯盟が滿洲國獨立の事實より眼を塞ぎ、日支紛爭の一部分としてこれを取扱はんとするが如きは不合理である

獨代表は赴壽困難

【ベルリン一日發】ノイラート男は英佛兩首相の招請に對しドイツの內政的危機が解決される迄はジュネーヴに赴くこと能はざる旨を回答した

松岡代表

イ氏と會見

【ジュネーヴ一日發】松岡代表は十九ケ國委員會を前に一日午前九時半委員會委員長イーマンス氏を訪問前後二十五分に亘り會見を遂げた松岡代表はイーマンス氏のジユネーヴ到着に敬意を表し日支紛爭事件の處理に關する手續問題の打合せを遂げた

首相藏相懇談

【東京二日發】高橋藏相は閣議に先だち齋藤首相と會見、二十六日鈴木總裁と會見し諒解した政友會の對政府態度につき懇談した

『內地資本家の進出を說得した』

歸任の途 小磯參謀長談

【東京特電一日發】小磯參謀長は有富副官帶同一日午後一時東京驛發急行により西下したが驛頭には荒木陸相、南大將、林教育總監、武藤全權夫人、藤原銀次郞氏その他百數十名が盛んな見送りをした參謀長は香港丸により海路四日着連直に北行の豫定である、これより先參謀長は見送りの記者に語る

滿洲問題解決の重要なる着眼點は屢々いふが如く第一に治安維持第二に交通、通信機關の整備第三に產業の開發であつて目下武藤全權はこの方針の下に日滿官民の協力を求め大いに活躍をしてゐる次第で、吾輩は中央政府に對しこれが一般的報告をなし今後の打合せをなした次第である

◇…治安維持は先づ奉天省よりといふモツトーの下に着々その實を舉げ今や北滿黑龍江省に及んでゐる

◇…第二の交通、通信の整備においても治安維持の事業と相伴つて諸般の計畫なり或は實行されつゝある、例へば電信電話、通信網の完備に若しくは道路工事に各種の方面に實現し或は實現せんとしつゝある

◇…翻つて產業開發に關する現狀についていへば採算上中には有利ならざるものもあるかも知れぬが、國家政策上緊要なるものに對しては着々實現の基礎をかためつゝある、その他有利なる產業開發について相當莫大なる資本を要するので內地側資本家に滿洲進出を大いに說得したが多少危惧の念を抱くものゝあるのは頗る遺憾であつた、滿蒙問題の解決如何は帝國の興廢に關するのであるから資本家たると然らざるとを問はず敢然としてこの機會に產業開發のため勇敢なる步武を進められんことを希望してやまない、このことを可なり徹底させて來たわけだ

日本の長所を採り各方面の刷新必要

張海鵬氏の渡日印象

我陸軍大演習の參觀を終へ歸奉せる張海鵬氏は張公館にて語る

我々一行は貴國に參つて衷心からの歡待を受け非常な喜びに堪へない、將來は勿論兩國民一致協力し兄弟のやうに手に手をとつて東洋平和の確立に邁進し得る確信を得た、今回貴國の陸軍大演習を參觀して日本の軍事統制が如何に立派なものであるかに一驚した、殊に豫て聞及んではゐたが、天皇陛下に對し日本國民が如何に赤誠を披瀝してゐるかを目の當りに見て異常な感激にうたれた、わが滿洲國も友邦日本の長所をとつてあらゆる方面に大革新を行ふべき時だと思ふ、殊に當面の緊要問題としてわが滿洲國は陸軍の大刷新を行はなければならない、產業の發達も政治機構の完備も先づ軍事的統制が行はなければ駄目だ今回の渡日は余にとつて終生忘れ得ない思出となるであらう、近く機會を得てこの感想記を筆にし永く記念したいと思ふなほ張將軍は最後に貴紙を通して貴國同胞によろしくお傳へ願ひたいと記者に固い握手を交した【奉天電話】

新京大使館職員

一日官報で任命發表

【東京一日發】新京大使館職員は本日官報を以て左の如く任命された

大使館一等書記官　栗原　正
同　松島　鹿夫
同　米澤　菊二
滿洲國在勤を命ず（各通）
大使館二等書記官　林出賢次郞
同　三等書記官　花輪　義敬
吉林在勤を命ず
外務警視　末松　吉次
同　鶴見　憲
同　桝谷　秀夫
同　三浦　和一
滿洲國在勤を命ず（各通）
總領事　栗原　正
新京在勤を命ず
領事　林出賢次郞
奉天在勤を命ず

張景惠氏一行奉天着

張景惠氏は一行と共に二日午後一時安奉線にて奉天着、滿洲國側各要人、協和會中野氏等多數の出迎へを受け直に特務機關長板垣少將を訪問の上、午後三時發列車にて新京へ向つた、張氏は一行を代表して語る

今回の訪日は種々な意味で非常

駐獨大使後任

武者小路公使

【東京二日發】駐獨大使小幡酉吉氏は本月十七日橫濱着の靖國丸で歸朝するが、內田外相は氏に東方面の要職に就任を懇望する筈、なほ小幡大使の後任は瑞典公使武者小路公共氏が榮轉しその後任には米大使館參事官齋藤博氏が擬せられてゐる（寫眞は武者小路氏）

財政の根本的建直し急務

豫算膨脹と我國の財政狀態

（一）

明年度豫算も正式に決定を見たので政府は冬の議會に臨むべく諸般の準備を進めて居る、明年度豫算は二十二億三千九百萬圓といふ巨額であつて、我國財政史上特筆すべき尨大なる豫算である、昭和七年度の實行豫算十九億四千三百萬圓すら旣に最近稀有の豫算とせられたのに、更にこの七年度豫算に比し實に二億九千五百萬圓の膨脹となつて居る

（二）

本豫算については來るべき議會に貴衆兩院において論議を惹さるゝであらうが、一部の人々は本豫算を目して我國力に相應せざるものであり、同時にその內容も決して最善のものであるとは謂ひ難いと稱して居る、この見解に從へば歲入總額の約四割――八億九千五百萬圓は公債に據るものでしかもこの公債の殆ど大部分が不生產的である、卽ち赤字公債六億六千萬圓、滿洲事件費公債一億八千六百萬圓であり、生產的事業公債としては電話公債一千三百萬圓、震災善後公債一千八百萬圓、道路公債一千六百萬圓、電信事業公債七十萬圓、これ等を合計して漸く五千萬圓程度を數へるに過ぎぬではないかと評して居る

（三）

明年度豫算中、新規事業の主なる費目は

一、滿洲事件費一億八千六百萬圓
一、軍事費 陸軍一億千四百萬圓―海軍九千五百萬圓―計二億九百萬圓（このうち時局匡救豫算と看做すべきもの一億九千百萬圓を含む）
一、時局匡救費二億七百萬圓（生產的と見るべきもの）
一、爲替下落に伴ふ差損金八千八百萬圓

等である、しかして政府當局としては一會計年度にたいして八億九千萬圓の公債を發行することは遺憾ではあるが、旣に增稅を行はないとして廟議一たび確定した以上公債に依る外他に適當の方法がないのである

（四）

又政府が增稅反對の理由としては

一、我國民の富の程度は英米諸國とは全くその趣きを異にして居る、卽ち我國における大所得者は英米諸國等に比し極めて少數である、從つて假りに我國において之等大資本に增稅するも世上傳へらるゝが如き大なる增收は望み得ない

一、倘若し一般時に所得稅、營業收益稅等に對し增稅を行へば國民の消費力を減退する、從つて購買力が無くなり產業の發達を阻害する

一、政府の時局匡救施設によつて最近折角財界に一抹の生色を帶びて來た、若し玆に增稅を實行すれば非常なる打擊となり各般の施設に障害を來たすことゝなる

（五）

一方增稅論者の論據は

一、最近英米各國いづれの國と雖も赤字財政に苦しめられ、これが補塡の爲めに增稅方策を採つて居る、必ずしも外國を眞似る必要はないが、我當面せる財政難を處理するに當つては、現在の國民もまた將來の國民も共にその苦を頒つべきである、しかるに現內閣は多額なる公債を發行して將來の國民のみに負擔を嫁せしむることは妥當なる方策とは謂はれぬ

一、現在は勿論不況時ではあるが增稅力あるものも無しとは限らぬ、相續稅、奢侈稅等の如き增稅の餘地なきか否か考慮する必要があらう

以上がその主要な論點である

（六）

增稅の可否は暫く措き、政府當路も財界有力者も我國の財政情態が此儘に推移すれば遂に收拾すべからざる危機に瀕することは共に憂慮するところであり、かたく政府は最近の機會に權威ある財政調査機關を新設し赤字防止策―公債償還計畫、增稅その他增收方法を檢討し以て根本的方策樹立に邁進すべき急務であると傳へられその成行については一般の注目を惹いて居る（東京支社TF）

アメリカ海軍の定時聯合大演習

軍令部長計畫を發表

【ワシントン三十日發】アメリカ海軍の定時聯合大演習に就ては本日プラツト軍令部長より左の如く發表した、右大演習は三月以來太平洋に滯留してゐた大西洋艦隊と太平洋艦隊合同で行はれ布哇のオアフ島が假想敵のため占領せられた假想の下に同島奪還の演習を行ふものである

一、クラーク提督は一月中に大西洋艦隊と巡洋艦七隻、驅逐艦十三隻、航空母艦を指揮し布哇に赴くが同地にて演習後太平洋岸に歸還し太平洋艦隊と合併二月の六日よりの模擬戰に參加す

二、模擬戰は二月六日より十七日迄舉行

三、模擬戰後全艦隊はサンデイエゴ、サンペドロ軍港方面に集中

四、演習は三月末に完了

五、大西洋艦隊は多分四月中に東海岸に歸還す

社員部長制大贊成

宮島監理官談

【東京特電一日發】滿鐵の職制改正は大體に於て好評であるが拓務省の宮島滿鐵監理官は語る

今回の職制改正は先づ無難であつて原則として社員を部長に任命することになつた點は大賛成である、只拓務省で問題となつた點は從來會社を監督する意味で設けられた監理部といふものを廢止し總務部に配屬せしめたことであるがつまり人のために職制の改廢をやつたり作つたりすることは十分議論の餘地があるといふやうなわけであつたが山西理事の說明によるとこれは決して從來會社を輕視するのではない從來とても國際運輸など鐵道部に關係が深い、昌光ガラスになると商事部に關係があるといふわけで根本的の方針を決めた場合には若軍役會議にかけて決定してゐたのである、依つて從來の經驗から監理部を廢止した方が良いのだとの理由が分つたので認可したわけである、又東京支社の初めハルビン、上海事務所、撫順炭礦、鞍山製鐵所の昇格、經濟調査會の總裁直屬等は先づ妥當なるものと認める、これによつて社員も前途に希望が生じ又理事の活動も非常に自由になつたものと考へる

各省新規增加

基準豫算以外

【東京一日發】明年度一般會計歲出概算總額二十二億三千九百三十二萬五千圓中基準豫算を除く新規增加額は左の通り（單位圓）

經常部	一七七、六二四、九六九
臨時部	五六七、〇三二、四三七
計	七四四、六五七、四〇六

各省所管別左の如し

外務省	九、四五五、六五九
內務省	一二〇、九九七、三四〇
大藏省	一三九、六四六、三一三
陸軍省	二六五、七六五、九六四
海軍省	一四六、四二九、五九六
司法省	一、〇四〇、二一四
文部省	五、二四六、五二五
農林省	三五、七七七、三五九
商工省	四、七〇一、五九五
遞信省	七、八二〇、一三四
拓務省	七、七七六、七〇七
計	七四四、六五七、四〇六

米穀證券借換

【東京一日發】大藏省發表、十二月一日支拂期日の米穀證券（第八回）一千二百萬圓及び（第九回）五千萬圓合計六千二百萬圓は借換へる事に決し預金部引受にて日步八厘と決した

滿洲國通信社

滿洲國通信社は一日午前九時より軍部側岡村參謀副長、臼田、藤本兩參謀、大使館より松島書記官、滿洲國側より阪谷總務廳長、皆川秘書處長其他の來社あり先づ里見主幹の挨拶で岡村副長、阪谷廳長の祝辭、阪谷廳長の發聲にて滿洲國通信社の萬歲を三唱、するめ、勝栗で冷酒を酌交し十二月一日附第一便を配布した【新京電話】

馮司法部總長八日參內

【東京一日發】天皇陛下には滿洲國司法部總長馮涵淸氏に對し來る八日午前十時宮中にて謁見仰付らるる旨一日御沙汰あつた

馮滿洲國司法部總長入京

日本各地の司法制度觀察と治外法權問題に關し意見交換の重要使命を帶び渡日せる滿洲國司法部總長馮涵淸氏一行五名は二十八日午前九時東京驛着で入京【寫眞東京驛にて（右）馮總長（左）出迎の山岡萬之助氏】

社説

植民地教育改善と擴充

沿線在住邦人の一般教育に關しては、夙に各方面にその改善が要望されて居るが、近時關東廳並に滿鐵に於ても新たに教育體系の發表を爲すとのことだ。勿論體系といつた所で總體的には大して急激な變化を期待すべくもない。否なさうした改善點にしても餘程考へて懸らぬと、單なる朝令暮改を繰返すに過ぎぬ。折角の改善が却つて改惡に陷するなきを保しない。唯だ吾人が常に痛感して居る問題は、その小中學と專門校とを論ぜず實際に即した教養訓練が缺けて居ることだ。年々幾多の改正刷新が、教授法に、教材に、將た保健行政に試みられて居るが、動もすれば机上の空論や、或は內地から、或は海外から、輸入された儘の先縱を無條件に模倣されたに過ぎぬのが少くない。殊に小中學教育の如き屋上屋を重ねて練熟の遑なく、輪奐の美はあり、事務的整頓はあるが、現地に適應した質實强健な內容を有する者に至つては、甚だ遺憾とすべき點が多い。尤も新開植民地の一般生活は、內外共に各方面からの寄合世帶なるが故に、住み馴れて鄕土が有つ慣習の考察照校すべき者が得難い。それが學政當事者と教育者と、若くは教育機關と家庭との間に國民的訓養上最も必要な理解及び連繫を固うすべく、非常な障碍となつて居るやに思はれる。少くともさうした缺陷が、學校と、家庭と、教育行政者との間に、離れ離れな考へを有たせた傾向あるは、當の教育家から屢々耳にする所だ。

◇

植民地教育は土地自體が新開の境域であるだけ、傳統典據の依つて以て範とすべきもの少いが、而もそれだけ又自由奔放な規格を定め、雄大な氣象と淸新な人格とを涵養するに適して居る。換言すれば土地の自然が固有する風物氣候を教材となし、その自然への適應性を簡明に暢達成育させ得る長所がある。然るに現時の沿線諸學校を通覽すれば、日本內地の教育機能として適はしく、若くはそれ以上の整頓振りをさへ誇つて居るが、滿洲植民地の教場であり、その鄕土の獨立人たる資格を養成させんとするに於て、却つて頗る識者の眼に慊焉たる所少くない。普通教育上今後の急務は、現地に即した人物を養成するにある。委しくいへば現地の産物に衣食し、現地の事情に活動基礎を置く常識と實行力とを備へさせることだ。現地の鄕土人たることは決して無條件に先住者に同化せよといふことではない。先住後來を問はず、その地の自然に適應して安住し得る素質の完成である。切言すれば所謂內地人らしい日本人を造るのでなく、健全な日系滿洲人を造ることだ。

◇

この意味を擴充して拍車を懸けられねばならぬ事項に、農工業を主とする實業教育がある。沿線初期の實業教育は何處までも日本智識の紹介にあつたが、それは近年土地の實狀を研究しそれに自己を適應させ得る人物の訓練に重きを置かせるやうになつた。沿線各地の農商實習所の如きその實例だが、年歲猶は淺く成績の人目を驚かすほどの者はまだないけれど、その出身者の一般傾向は概して好い。地に依り人に依つて種々批判はあつても、それは教育機關その者の責任ではない。寧ろこの際かうした機關を擴充して、內外子弟に勞働哲學と土に即した實地訓練とを注入すべきだ。移民問題は認識の足不足よりも、適應性の有無及び强弱如何だ。これが養成體得させるには先づ子弟の教育から基礎を築かねばならぬ。如何に移植民の方法や組織が論議されても、移植地に關する理解なき生硬な渡來者では駄目だ。而してこの理解は風土を異にする內地の拓殖教育でも、縱しそれが徒勞でないにしても効果は少い。自らその環境の間に起臥して體得せしむべきである。例へば滿洲に於ける商取引のごとき、如何に通商貿易の特質を曉諭しても、親しく個人と接觸し、その人情風俗通貨の日常取引に馴れないでは、眞に鄕土人たる活動はなし得られぬ。

◇

農業亦然りで、先づ現地既存の作物手法を理解して、始めて改良利化し得べき方法が發見されるのだ。

◇

且つ夫れ今の內國農家の行詰り狀態を見ても、滿洲農業の傳統技術を加味することに依つて所謂自力更生策に資すべき新方法は幾許もある。殊に領土の七割を山岳高原に依つて蔽はれた日本の農村は、肥料の改良、食料の變化の爲に、さうした地形に適はしい新副業を思ひ立つべき必要と餘裕とを生じて居るがその副業中、範を滿洲農業に採るべきもの甚だ多い。牧畜、果樹、穀種の如き何れもそれだが農家の子弟がこの理を知つて實行し得ざる所以の者は、訓練足らず、若くは訓練啓發さるべき環境なき爲である。それは恰も加州の出稼者が日本人固有の技巧を以て、太平洋岸の農業界に貢獻すると共に、其地の見聞遺物を齎らし歸つて、舊日本が未だ知らざりし果樹蔬菜の種類と利益とを增加させたやうに、滿洲農業の紹介に依つて內國農村に新光明を投ずべき項目は枚擧に違ない。かくて沿線に於ける實業教育振興はその使命を二重に有する。即ち現地への適應性養成と、その適應性の活用を內國の産業界に擴充し得る事とであつて、吾人は特に當局者が思をこの方面の指導誘掖に盡さんことを切望する。

大連の爲替市場に不正あらば取締る

噂さほどでは無いと思ふが――山田大藏省檢査官談

大野正金、荒木鮮銀、杉本東拓の各支店長の見送りをうけ新京から「はと」で大連に直行した大藏省銀行檢査官山田龍雄氏は滿洲に於ける金融狀況と銀行業務を調査中であるが語る

十一月の海運界

大連港を中心とする

大連港を中心とする十一月中の海運市況を概するに、先づ近海方面においては……

混沌狀態

大連のプロムナード (3)

河野想

ルンペンの恐怖

北西の風、時々曇り、氣溫零下二十五度

日滿海運統制

海事懇親會開催

對米戰債とポンド爲替慘落

考察すべき二原因

ストツク

ロシア政府の對滿商業政策轉換

新情勢を考慮して

歐洲より

商業方針

商策轉換は全くデマ

奉天代表部長談

保安主任會議 (第二日)

希望事項聽取後閉會

買上げ說で人氣混亂

大藏當局見解

外貨公債買上

關東廳豫算拓務省承認

奉天鐵西三工場復活方法を立案

奉天商議工業部門會

滿洲童子團歸滿

人事

比事實を何と見る

市況(二日)

株式

東新株新高値 當市も强調

特産

買氣旺盛で大豆堅調

錢鈔

材料難で保合閑散

商品

麻袋强保合 綿糸昂騰

奥地市況

市場電報

東京株式 / 大阪株式 / 神戸特産 / 大阪期米 / 神戸期米

わが軍の猛撃に遭ひ張軍の損害甚大

敵主力は西北方に逃走

興安嶺東北の永安屯を襲撃した服部先遣部隊は三十日午後四時二十分札蘭屯東方高地を占領してゐた敵を急襲して交戰約二時間の後これを撃破し午後五時完全に札蘭屯を占領した、敵は張殿九匪賊軍の機關銃歩兵砲等を有する歩騎兵聯合の約八百名でわが軍の猛烈なる攻撃に遭ひ非常な損害を受け死體百を戰場に遺棄してその主力は西方に逃走した、わが軍は捕虜五十を獲たる外兵器彈藥糧食及び重要書類等を無數に捕獲し目下これを整理調査中である、尚わが軍は何等の損害なし【新京電話】

夕食を分捕つて士氣揚る

【チチハル二日發】茂木部隊の主力は一日午前十一時一家樹に進出、同地の敵は食事の準備中であつたが我軍の急襲に逢ひ西方に向つて退却したが我軍は敵の遺棄せる豚、鶏等多數を鹵獲し夕食に供し士氣大いに揚つた

未釋放邦人の運命

目下の處大丈夫か

但し蘇軍に兵變の懼れ

【チチハル二日發】空中偵察の報告に依れば碾子山の敵は約一で團主力は碾子山の西南李三家方面に退却せるもの、如く白雪の街道には入り亂れて多數の足跡が殘つてゐる

蘇炳文、張殿九軍の反省を促すためわが軍は最後的手段をとるに至りわが軍の總攻撃は彼等に非常なショックを與へ從つて未釋放邦人に對し最惡の運命を招致するに至つたのではないかとも想像されぬではないが〇〇方面では蘇炳文が部下部隊に威令の行はれぬ限り絶對に右の如き運命を想像するには及ばぬとの見解を有してゐる、たゞ條理をわきまへぬ部下が兵變を起す惧れありといふ【新京電話】

黑省の長老會議

チチハルで開催

韓省長の新しい試み

【チチハル二日發】韓省長は官民一致して地方治安の維持に努力する筈で省内各縣の長老を省城に招集した、省内の古老連は先日來續々と參集しつゝあつたが全省九十四名の多きに達し十二月一日第一回長老會議を開催した、引續き一週間續行せられ各縣各鄕の希望を聞き將來施設を行はんとする省長の新しい試みには參加長老一同の感激せるところでその効果は頗る期待されてゐる

黑省警備軍

匪賊を撃滅

【チチハル特電二日發】在望奎の黑省警備軍旅長王克鎭が部下劉雅軒、馬振榮の騎兵二團を指揮して附近の匪賊を討伐中であつたが二十八日王軍は望奎東方約三十キロの蓮花鎭で鄧文、檀自新、崔剛、吳天石の匪賊聯合軍を包圍攻撃してこれを撃破した、匪賊は散々の態で潰走し匪首鄧、檀、崔は命辛々逃走した模樣だが吳天石は王軍に逮捕され身柄は近くチチハルに護送される筈

徐景德歸順か

馬占山の第一の腹心であつて現在黑河に在る徐景德は反滿行動の前途に見切をつけ歸順を申出でんとする模樣である【奉天電話】

照宮樣御微恙

【東京一日發】照宮樣には二十四日より御風邪にかゝらせられ女子學習院初等科御通學をお取止め當分御静養遊ばされる由である

滿鐵社員演說會

一日夜の協和會館

滿鐵青年社員演說會は一日午後六時より協和會館において開催、郡社員會幹事長の挨拶についで太田藤三郎（鐵道工場）秋滿彰夫（總務部）西岡淳（埠頭）飯田誠一（技術局）松尾四郎（鞍山地方事務所）の五氏が交々起つて滿蒙維新に對する滿鐵青年社員の覺悟について熱辯を揮ひ、終つて松山忠二郎……審査員の批評演說あり沙河口工場ブラスバンドを聞いて八時四十分散會した、滿鐵社員會最初の試みであつたが聽衆は七分の入りで、熱心な拍手と彌次が飛び近頃珍しい演說會であつた【寫眞は演說會場】

ラグビー展覽會

本社講堂にて

滿洲ラグビー協會主催のラグビー十周年記念祭展覽會は愈々三、四兩日午前九時より午後五時まで本社三階講堂に於て開催するが同展覽會は滿洲に於て最初の催し物だけに運動關係者より非常な期待を以て迎へられて居る、即ち協會加盟の各チーム、ユニフォーム及び滿洲ラグビー史寫眞並に全國中等學校ラグビー大會の優勝校京城師範學校より出品の優勝旗その他、滿洲内外對抗優勝旗、全國中等學校ラグビー大會滿洲代表旗等あり、スポーツファンの見逃し難い展覽會である、尚協會では四日午前十一時より大連運動場に全滿運動關係者を招じ十周年記念祭を施行する

冬がれの故國へ白骨となりて還る

二百二十三勇士の遺骨着連

二日を名殘の慰靈祭

北滿の警備と兵匪掃蕩の重任を帶び全滿各地に亘つて轉戰幾多の光輝ある武勳を宣揚せし我が精鋭中不幸にして悲壯なる戰死を遂げた林輝人、齋藤誠爾少佐以下二百二十三勇士の遺骨は悼ましくも一日午後四時四十五分大連驛着列車にて輸送指揮官小野寺實歩兵大尉以下戰友三十餘名に護られて靜かに到着したこの日事變以來始めての多數の遺骨を迎へる大連驛では陸軍兵站支部を始め各方面と打ち合せ準備を整へ、英靈を迎へんとするものまた日頃にも增して市長代理岡野助役、永井民政署長、森本法院長、石井大連署長以下各署長、草間滿洲所長、滿鐵山西、竹中兩理事、岩井少將、大内市會議長以下各市議その他在連名士多數を始め全市中等學校、各種團體、一般官民無慮數千は驛頭を埋め香煙は縷々として立ち昇り數十の弔旗は師走の風に淋しく搖れ、漸く降る氣溫の冷寒も忘れて靈柩車の到着を待つことしばし、定刻午後四時四十五分北滿の曠野に永眠する吾等が勇士二百二十三體の遺骨はその英靈と共に濕やかに到着し指揮官小野寺大尉の悲痛なる挨拶あり暮れ方の陽も早沈み在鄕軍人百五十餘名の援助を得て遺骨を捧持し約三十分を要して漸く七十餘臺の自動車に移されたがこの間絶えず日蓮宗を始め大連フレッシユマンバンドの奏する哀悼曲に一入追悼の念を想起せしめた、やがて河本兵站支部長の先驅にて七十餘臺の自動車を列れて天神町

手向の香煙は縷々とし

常安寺

に向ひ同寺に安置され二日午前八時半より埠頭待合所において慰靈祭を執行の上うらる丸にて故國へ悲壯なる凱旋の途についた

入營兵の出發

關東軍倉庫で來滿第一夜を明した獨立守備隊入營兵中の最後の班たる第三班四百餘名は盛んな歡迎裡に午後十時大連驛發各衛に向つた

不遇の鮮人一行

上海から來た四十餘名

遂に宿屋を逃出する

ストライキの犧牲となつて上海から送還された朝鮮人四十六名の一行は宿料二百餘圓滯つた爲め遂に十三日限り市內監部通り九六番地朝鮮旅館及び大黑町二〇番地大同旅館を追ひ出され文化臺十八番地朝鮮人會に身を寄せたが、こゝでも食事は給されぬので、四十七名が所持品を持ち寄つて入質し漸く四十圓を得、これによつて茲數日露命をつなぐことゝなつた、所轄大連署高等係へは每日代表者が訪れ救濟方を嘆願してゐるが不況の際とて就職口もなく哀れな一行に同情が寄せられてゐる

警察は本年四月廿九日天長節當日の新公園爆彈事件の有力なる共犯者〇〇（）〇〇〇及び同人の甥〇〇（）が佛租界某所に立廻つたとの情報を得て三十日午後八時過ぎ十一名の署員を派し折柄居合せた〇〇、〇〇〇の兩名を逮捕し次いで午後九時〇〇をも某所より引致したが佛警察との諒解がなかつたため警官が〇〇を護送し自動車に搭乘せしめんとした際佛租界巡警に妨げられ山崎外一名の巡査は佛租界警察に連行されたが我警察は目下其引渡し要求中で本日中には身柄を引取る筈、尚〇〇、〇〇は共に朝鮮〇〇派の幹部であり爆彈事件の有力幹部として暗躍し爆彈事件の有力共犯たる外或種の不逞策動にも携はつてゐたものである

門學校まで卒業したが十年程前愛妻が不義な働いたのにカツとして前科を働き三年を長崎刑務所に淋しく暮らしその後渡鮮清津、安東各地を廻り去る十一月二十七日來連したもので懷中にはわづかな金子より無いらしく同署としても同情はするが何とも致し方がなく途方に暮れてゐる

ラヂオ聽取者

ラヂオ季節となつて當關東廳遞信局にもなほ新規聽取施設の許可を出願する者尠くないが十一月中の許可數は二百四十一件で同月末現在の施設數七千三百五十五件に達した

これを施設地別にすると大連が三千五百四十七件、新京五百九十二件、撫順五百八十三件、奉天四百二十一件、安東三百八十四件、旅順二百九十四件、鞍山百六十九件、四平街百五十六件、鐵嶺百四十七件、遼陽百三十二件の順である

今後も同樣事件は用捨なく檢擧摘發

銃砲取締と法院の解釋に對し

檢察局の方針決定

既報、銃砲火藥取締規則第三十五條に關し大連檢察局では地方法院が如何なる解釋を下さうとも、それに拘らず依然各銃砲店に於て許可證を所持せぬ者に販賣した場合は規則違反として

檢擧

摘發するに方針決定した、右につき檢察當局では語る

銃砲店なれば何人に銃器を賣つても勝手たるべしといふ法院の解釋であれば、どんな不逞の徒の手に銃器が渡るやも知れず、現下の如き暗殺團やギヤング團橫行時代に社會の治安は絶對に保たれない、行政官廳の銃器取締にしても所持者は嚴重に取締るが肝腎の販賣元は取締らぬさあつては頭隱して尻隱さずの矛盾も甚だしく、また賣つた者は罰せられないが買つた方だけ罪になるではこれ亦社會の秩序が保たれない、取締規則の第三十五條の立法の精神はこれらの

意味

が含まれて作られてゐるもので、たとひ法院で無罪の判決を言渡したとはいへ、檢察局では今後同樣の事件が起れば用捨なく檢擧する方針である

畏き聖旨を拜して

參列將校一同感激

町尻侍從武官新京着

町尻侍從武官は二日午前十時五十分新京飛行場着直にヤマトホテルに入り休憩午後一時二十分關東軍司令部に赴き小憩の後特務原高級副官の先導にて營庭の式場に臨むこれより先式場には武藤軍司令官以下將校二百餘名が整列奉迎町尻武官は優渥なる聖旨を傳へるところあつた武藤司令官は有難き聖旨に奉答したが參列將校は何れも感激した、傳達式終り後侍從武官は武藤司令官より關東軍當下の軍狀を聽取し後司令部內各科を巡視同三時四十分ヤマトホテルに歸還した、尙晨きあたりよりは在滿警察官六千名に對して有難き御下賜品があつたが斯の如き前例はないと【新京電話】

聖旨令旨傳達

町尻侍從武官は左の如く聖旨及び令旨を傳達した

天皇陛下におかせられては軍司令官以下一同が和衷團結幾多の困苦缺乏に耐へ或は匪賊の掃蕩治安の維持に或は住民鐵道等の保護警備に常に危險に身を挺して重任を全うしよく皇軍の威武を中外に宣揚しある段深く苦勞に思ふ、この上とも各自一層自愛してその責務に努力するやう申傳へよ、との聖旨にあらせらる、皇后陛下におかせられては將兵一同が天候の障害、補給の不便等幾多の困難を冒して戰鬪に警備に最も重大なる任務に服し居ること誠に苦勞多きことゝ察す、特に君國のため犧牲となりたる戰病死傷者に對しては眞に氣の毒に堪へず、傷病者は充分に勞はりつかはす、今より寒氣も愈々嚴しき折柄一同一層身體を大切にするやうよく申傳へよとの令旨にあらせらる

これに對し武藤軍司令官は左の通り奉答した

今般侍從武官を差遣され優渥なる聖旨、令旨を賜はり且つ臣僚義に御目錄を將校以下に御菓子を又特に傷病者には御菓子を下賜せられ誠に恐れ多き極みにて感激の至りに堪へませぬ、將來彌々部下を督勵し盡忠奉公の誠をいたし以て聖旨、令旨に副ひ奉らんことを期します

侍天皇、皇后兩陛下より特別の思召しを以て軍司令官、師團長、司令官、旅團長憲兵隊長に御目錄の品を將校一同に御品を傷病者には御菓子を下賜せらる【新京電話】

侍從武官日程

侍從武官の日程は二日新京着と同時にヤマトホテルに休憩午後一時半より關東軍司令部營庭で聖旨令旨傳達式擧行三日は同じく駐剳騎隊の營庭で午前九時半より十時まで各部隊長に對し同十時十分より憲兵司令部においてそれぞれ傳達式を擧行する【新京電話】

樽の秘密を發く探り針の觸覺

苹果と見せたは多量の生阿片

稅關檢查所の大手柄

一日午前十一時頃市內入船町埠頭稅關檢查所において最近珍しく大量な生阿片が巧妙な手段でリンゴの樽の中に隱匿され密輸されんとしたが未然に稅關吏の發見するところとなつた

リンゴ樽は合計十八樽いづれも二重底としてその中に布包みにして分割の上隱匿されてゐたもので同稅關檢查所の幸田義氏の探り針によつて發見されたもので幸田氏は檢查中樽の内部に深淺があるのでテッキリ怪しいさに一阿片の轉け出たリンゴ樽】

らみ取敢へず開蓋したところ黝かなリンゴの中からドス黑い阿片が轉がり出たものだその數量は二百六十六キロ、價格にして十萬圓餘、同所としては最近の大手柄といはれ矢田外務部長はじめこの獲物に雀躍してゐる、尙該リンゴ樽の荷出人等の詳細は不明だが市內小崗子協盛德の出荷らしくこれが中間に當つた運送店は市內監部通り三十番地丸盛公司で荷受先は新京經由ハルビン行であると、同檢查所ではこの多量の阿片發見と共に直に本部に通知した嚴重保管し警察當局の搜査に備へるべく同公司に命じ一應所轄警察に屆出るところあつた【寫眞は

積出地は天津か

主謀者を目下嚴探中

北滿にリンゴ輸送と見せかけて巧妙な大量生阿片を密輸せんとして一日朝市內入船町埠頭稅關檢查所にて發見された密輸事件について小崗子署では二日正午その出荷人たる市內西崗街小崗子市場野菜商協盛德主人楊德明（四五）を引致取調中であるが楊は去る十九日新京より知人の紹介にて來連した前記密輸主謀者の依賴を受けて成功の際は報酬を受ける契約のもとに憾を知りつゝ二重底仕掛けの籠にリンゴに阿片を詰める準備迄り一切を同人がなし輸送したものでこの大量阿片は天津方面より密輸したもののらしく主謀者某は當時現場に居合せたが發覺と同時に姿を晦ましたので同署では目下手配搜查中

滿鐵旅館のサービス改善

和式にも室料制

滿鐵旅館事務所では一日から一部規定の改正を行ひ、サービス改善をなすことゝなつたがそのうち主なものは左の如くである

一、チエック、アワー制度を設けしかもその時間を三時間とする（外國は通常二時間）

一、一日未滿の食事附部屋代を廢止し、即ち未滿のものは食事代を別として宿泊客の便利を圖る

一、北平扶桑館宿泊料はその後銀高により三七％の値下を斷行

一、新京滿洲屋旅館は市中さの釣合さ、設備の改善に伴ひ一九％の値上を斷行

一、和式旅館の短時日の室料を制定、即ち從來和式旅館は部屋だけにすることを認めてゐなかつたのを以上の如く改正

本社の第二回全滿健康週間は大成功を收めて終了したが、その總決算が……によつて旅大兩市の成績を見ると……

健康週間に參加した旅大の醫院並びに歯科醫院は、關東廳旅順醫院、大連醫院、赤十字病院、聖愛醫院等なも加へて百三十七醫院で、この健康週間一週間に扱つた診斷者數は一萬五千三百十八名、旅大兩市の人口を合計すると十一萬九千九百六十四人であるから、約一割三分が受診したことになる。

假に、これを金錢に換算して見るさ、大連醫院その他官公設病院の診斷料は五十錢で、市中普通醫院では一圓となつてゐるが平均して七十五錢として……

静岡市の大火

【静岡二日發】二日午前一時四十分静岡市吳服町三丁目田中屋デパートより出火し附近の魚安旅館、立見商店、遠州銀行其の他全燒し六時鎭火したが燒死一名、行方不明一名、負傷十四名を出し損害は田中屋のみでも八十萬圓に上りその他の損害原因調查中

爆彈事件の共犯逮捕

【上海一日發】上海日本總……

海と空と (42)

高杉晋一郎 作
橋本清史 畫

手紙（一四）

「遲くなつて濟みません」

それを襄に對する詫でもあるやうに云つて暢が細い身體を見せたのは二十分ほどもしてからだつた。谷は早速食卓を圍む事にした。正子の手で各々のコップにビールが注がれると谷は「お互に勝手な事のために乾盃だ」と云つてコップを擧げた。襄は苦笑してコップを上げたとも上げぬともつかぬ手附きのままそれを口へ持つて行つた。

「暢君は酒は嫌ひなんでしたね」

「弱いし美味くないんですよ。正直に」

と暢は最初の一口は氣持よく飲んで云つた。

「さうか、ぢや無理に勸めませんから食ふ方をやつて下さい」

さう云つて達也が食卓の上をくる〳〵と指さし廻すと、正子は稚い顔をした。

暢はそれでもコップ一杯は干した。それで最早頬と瞼へぽつと紅を上せて、後を注がうとした正子の手を止めた。色白の上品な暢の顔が桃色にほてつてゐるのは男ながらも「美しい」と云ふ感じだつた。襄はそれを冷たい眼で横眼に眺めてゐた。

「ところで君はまだ當分ぶら〳〵してゐるつもりなのか」

と谷はビールのさかなに花あられを摘まみながら云つた。

「さうだらうな……食へるんだから別に職に就く必要も無い」

「食へるつて親父をか」

「さうさ。今の所いくら食つたつて親父は痩せないし、食へない連中の狙つてゐる席を何處の席だらうと奪ふ必要はないぢやないか」

「ふんそれで氣持が濟んでゐればそれでいゝのさ」

と谷は微笑で云つて

「さうすると暢君なんか滿鐵に勤めて、餘計な事をしてゐるわけだな」

襄はじろつと暢の顔を見て「うむ」と云つた。暢は俯むいてトマトの皿へ箸を持つて行つてゐた。正子は何か不安さうな顔をして兄と襄のコップの隙へビールを滿たしてゐた。

「暢君には御飯にするといゝ、ビールはこつちで勝手にやるから、まだこれから暫時飲むんだから」

と達也は笑ひながら妹の手からビールを取上げて

「お前は お給仕をして あげて呉れ」

「えゝ」

何故ともなく正子は暢と顔を見合せると、はにかむやうに微笑んだ。

それからも襄と谷はなかなか飲む方を切上げやうとはしなかつた。話は先日からの手紙の上の議論をむし返して次第に暢の存在を忘れる形だつた。有産者の子弟はなまじ人道主義的な顔をして結局噓をつく事になるより利己に固まつてしあ〳〵してゐる方が餘程潔く無くてよいと云ふ襄の言葉に達也は少し宗教的な口吻さへ交へてさう反動的に個我に固まる必要もない事を説いた。「君が一氣に鬪士にならうとするから君の本體と君の行爲との間にギャップを見出して苦痛なんだ。尤も實を云ふとそのギャップとの無限の競争が非常に尊いんで、社會的自己の認識が充分ならば假令大ブルジョアの子弟でも鬪士にならうとせざるを得ないのだがね。事實としてはさうさう階級戰線が一列に先頭だけに並列される筈もなし必要もないんだ各々の立場から愛情で動いて行けばいゝんだ。單なる正義感ぢや駄目、それは君の云ふ通りで、愛情と云ふ奴は漠然としてゐるが底の力だぜ、理窟ぢやないよ」

そんな事を達也は額に指を當てながら少しづゝ云つてゐた。

正子は取殘された暢の相手をして、暢と同じ課にゐる同窓のタイピストの話などをしてゐた。先刻から臺所にばかりゐた母親も出て來て、年寄らしい冗談などをその間へ交へた。三人とも時々側の襄と達也を眺めたが、二人の世界は全然別だつた。

けふの放送

大連 JQAK

▲三日午後七時　ニュース（七時十分子供の時間）▲童話「古いゆり籠」竹田幸雄▲獨逸語講座「テキスト第六十四課」大連語學校講師荻榮▲ピアノ連彈「ベートウベン第三交響樂全章」（一名英雄交響樂）照井和子、同興子▲箏曲（一）時鳥の曲（二）六段、箏星野夫人、榎本光子、富山文子替手羅森勾當、尺八磯崎萱洲、北村秦堂▲職業紹介事項▲ニュース▲氣象通報

東京 JOAK

三日午後六時三十分▲講演（未定）▲獨唱と二重奏（七時）（新交響樂團練習所より）獨唱藤原義江、ピアノ伴奏木村三郎、二重唱ソプラノ三上たかよ、テナー藤原義江、管絃樂伴奏日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラット（一）獨唱（ピアノ伴奏）（イ）旅人の唄（佐伯隆雄作詞、指本國彦作曲）（ロ）ウキウキパリ（森磯作詞、松山吉則作曲）（ハ）荒城の月（土井晩翠作詞、瀧廉太郎作曲、山田耕作々曲）（ニ）佐渡おけさ（堀内敬三編曲）（ホ）海のサンタルチア（マリオ作曲、伊庭孝譯詞）（ヘ）フニクリフニクラ（デンツア作曲、藤原義江譯詞）（二）二重唱（管絃樂伴奏）歌劇ラボエーム第一幕より（プッチニー作曲）▲忠臣藏花暦第三（七時四十五分）義太夫（大阪より）「假名手本忠臣藏廳谷判官館の段」淨瑠璃竹本旭穣、三味線同廣春

滿日俳壇 募集規定

次回課題「枯野」「炭」「水鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月十二日▲大字にて楷書の事▲雅號氏名及び封筒には「滿日俳句」と明記のこと▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

第十三回 滿日特選碁戰

四段 向井一男氏
三段 加藤三七一氏

——【4】——

黒	白
●六一ロの三	○六二ヌの五
●六三リの五	○六四ハの五
●六五ニの四	○六六リの六
●六七リの四	○六八ソの十一
●六九カの九	○七〇ソの十
●七一ヲの九	○七二チの十六
●七三への五	○七四リの十五
●七五への十六	○七六チの十二
●七七ルの十四	○七八チの十五
●七九ルの十五	○八〇ワの十三

對局者の感想

白曰く　六八の手が早く打ちたいのですが其の時機がきませんでした六十八でこの手が打てゝこの手を打つては白たしかに面白くなつたと思ひます

黒曰く　六八の當は先手ですから早く打つのでした

白曰く　七四は打過でしたでせう七十五においてよかつたように後から思ひます、それで七十六と打つたのですで八十と四目を取ることの出來たのはよいやうに思ひます

文化椅子と卓子
優美堅牢
廉價至便
折りためば
広げれば
株式会社
大連 奉天
山葉洋行
大連市信濃町・電代表四一四八

（會社）和商會
（大）連市佐渡町三〇
（電）話八一二七番

履物店
電話四九一七番

各地有名なる洋品店化粧品店毛糸店、藥店にあり

（…）石鹸
毛糸、毛織物、絹物の洗濯に
缺くべからざる必需品なり
マルセル石鹸同質の優良品にして使用至つて輕便效果極めて絶大なり
F…
Fo…
L…
MANCH…
滿洲石鹸株式會社

氣の利いた
家具と装飾は
カーテン・敷物
ブラインド・リノリーム
壁紙・其他
商店陳列設計
大連伊勢町滿銀向
滿蒙工業所
電七九六八番・振替大連一三〇一九番

秋のお化粧料は
全世界に誇る
獨逸モウソン會社製品
其他歐米各國有名化粧品會社
特約店
髙新洋行
大連伊勢町二二
電話八二五九番

入院隨意
ミミ・ハナ・ノド ノビヨウキ
森本耳鼻咽喉科医院
大連市大山通三越隣り
醫学博士 森本辨之助
電話五三七〇番

各種 毛糸
大連市信濃町市場
電話四四五七番
山本洋行

ナニワホテルの特色
一、室料の低廉なこと
一、位置は第一等御便利な所にあること
一、サービスが行届いて而も一割チップなこと
室料
一圓六〇錢　二圓四〇錢　二圓八〇錢
三圓二〇錢（バス付）三圓六〇錢（バス便所付）四圓
大連市浪速町
ナニワホテル
電話代表七一六四番

強腦精力 千五番
適切有効 千五番
能率増進 千五番
家庭圓満 千五番
新定價金三円 千五番
・有名薬店ニアリ・

サーワ白粉

華麗にも
瀟洒にも
チタニウムを主剤に特殊の成分を配合せる

愛用家御優待

懸賞

賞品

一等	錦紗繪羽羽織	一組宛	十名
二等	錦紗小紋著物	一本宛	十五名
三等	鹽瀬丸帶	一反宛	二十名
四等	流行柄本御召	一個宛	四十名
五等	婦人持クロトム側腕時計 又はモンパレス長襦袢	一枚宛	八十名
六等	姫鏡臺	一臺宛	百五十名
七等	最新流行銘仙	一反宛	三百五十名
八等	サーワ化粧品詰合せ箱	一箱宛	五千名
	サーワ固形白粉	一個宛	

規定

やさしい懸賞の課題
一、サーワ白粉の發賣元で發賣してゐる石鹸は何ですか
一、この懸賞を御覧になつた新聞名は何ですか

答案の書き方と送り方
三木元子女史創製 サーワ白粉と化粧品
サーワ固煉白粉（白・肌色）各（三十五錢・六十錢）
サーワ煉白粉（白・肌色）各三十五錢
サーワ水白粉（白・肌・濃肌・新肌色）各三十錢・五十錢
サーワクリーム白粉　五十錢
サーワ化粧水　四十錢
サーワ白粉下　三十錢
サーワヴアニシング・クリーム（三十錢・五十錢）
サーワコールド・クリーム（五十錢・七十錢）

上記化粧品の外裝（外箱）全形の裏面白地に「サーワ化粧品の懸賞課題」の答案と御住所御氏名（なるだけ詳しくお書き下さい）を明記の上、開封（二錢切手貼付）にて左記宛御送り下さい。又は他の用紙
答案送り先　東京市日本橋區米澤町三ノ五　丸見屋商店懸賞係
◎懸賞課題の正解者に對しては、公正なる抽籤の上、當籤者へ賞品を御贈呈申上げます。
◎答案を書いた外裝（外箱全形）は御一人で何枚でも多いほど賞品の當る率も多いわけです（二十九匁まで郵税は貳錢です）
▲締切　昭和八年三月末日
▲抽籤發表　昭和八年五月中紙上を以て發表
▲賞品發送　當籤發表後二ケ月以内

ミツワ石鹸本舗
サーワ白粉發賣元
◎丸見屋商店
東京・兩國（日本橋區米澤町）
振替東京七一〇番・電略〇ミヤ
電話浪花（67）代表番號 二〇〇〇番 四四三〇番 四四六一番

三木元子女史創製 サーワ白粉と化粧品
固煉（白・肌色）各（金三十五錢・金六十錢）
煉（白・肌色）各金三十五錢
固形（白・肌色）各金十錢
水（白・肌・濃肌・新肌色）各（金三十錢・金五十錢）
粉（白・肌・濃肌・新肌色）各（金二十錢・金四十錢）
クリーム白粉　金五十錢
化粧水　金四十錢
白粉下　金三十錢
ヴアニシング・クリーム（金三十錢・金五十錢）
コールド・クリーム（金五十錢・金七十錢）
頬紅　金三十五錢
口紅（壜入と棒紅）各金三十五錢
眉墨　金三十五錢
打粉（標出用・中瓶付）金二十錢
（内地以外は關税運賃を加ふ）

賣捌
信用ある化粧品店・藥店・雑貨店・百貨店に若し無き時は本舗へ（運賃本舗持ち）郵便切手代用二圓以下よろしく東京市内は一壜一箇にても配達

K 34

內科 小兒科
肺尖・肋膜及慢性諸病
腎臓・血壓及婦人内科
呼吸器及消化器慢性病
肺門淋巴腺炎及發育不良
醫学博士 澁谷創榮
西公園町春日小学校前
電話六五六五番
X線完備 入院隨時

永原小兒科醫院
大連南山麓柳町二三（共營住宅電車停留所前）
電話七九八七番

婦人・子供服地は
連鎖街 デルコ

安價と美味
そして清潔と氣持のよい事は
邦人の經營する弊館の誇り

三階食堂
新年宴會 忘年會 内地よりの視察團、軍人學生團體見學の方々
結婚御披露には三百五六十人様迄は樂で御座います
日本座敷も四室御座います

二階食堂
一室四百人様迄は大丈夫で御座います小は一卓半卓よりどし〳〵御利用を歡迎いたします
其清新なる装飾と氣持のよい事は吃度皆様の御氣に召す事と存じます。

一階食堂
主として民衆的一品料理 肉うどんの一杯から二、三人様の小會食にもお氣に召す様に別に御家族室も御座います
料理は飛切り日本酒は菊正宗で御座います

珍味の中心
人氣の焦點
北京料理
大連連鎖街銀座通榮町角
扶桑仙館
電話（日人専用）三一一〇
（華人専用）三一九一〇
（三階）三二六四

國難日本刀（172）

高桑義生作　京極佳夕畫

嵐の花（八）

駕籠が二挺

目のさめるやうにあざやかな、姿の女が駕籠わきに一人、あたりの景色に誘はれて、窮屈な駕籠から出ての漫歩であらう。

避難民ではないらしい。避難民は大抵奥武州を目ざして行く。危険な東海道を、そんな姿で通るものはないのである。

「けばけばしい服装をしてるぢやないか」

「何者だらう」

若い、美しい姿なので、この血氣の連中は少からぬ好奇心を感じて、口々にいふのだつた。すると

「らしやめんだぜ、ありやあ、あの服装が、あのいけ圖々しさが——らしやめんに違えねえのだ」

横濱通の清次の言葉に

「なるほど、さうかも知れない」

といふうちに、駕籠が止まつて女の姿は、駕籠のなかに吸はれてしまつた。

彌太得意のピストルなのである鐵砲彌太と呼ばれるのは、このピストルを持つてゐるからで、當時の日本人で、持つてゐる者は數へるほどしかなかつた。

彌太は笑つた。

「撃つてたまるか。もつたいない。たつた一發しかない、大切の彈丸だ」

一同の笑ひが爆發した。

「怪しいな」

と清次がいつた。

「たかが女ぢや。棄て置かつしやい」

年長者の義觀がいふので、一同はそのまゝ先をいそいだ。

まもなく、うしろから

「おうい……」

と呼ぶ聲がした。

清次は振返つた。と意外にもそれは今の二挺駕籠だつた。ほかの者も振返つた。

「おや／＼、今度は向うで呼んでゐるぜ」

「おや／＼入つてしまつた」

「無理もない。物騒だと思つたのだらう」

「こんな連中が、ぞろ／＼歩いて來るのを見たら、女でなくても驚くだらうよ」

「らしやめん奴、引摺り出して、恥をかゝしてやれ」

「さうだ。毛唐に尾を振る牝犬だつたら、ほんとうに棄てゝは置かねえぞ」

二挺の駕籠は近づいた。浮足だつて——たれを深くおろしてあつたが、その隙間から隠しても隠しきれぬはでな色彩がのぞかれる。

駕籠舁は、恐怖と警戒を顔に見せて、いそいですれ違つた。駕籠のなかでは、多分若い女が息を殺してゐるのだらう。

連中はじろ／＼と睨んだ。

とたんに

「待てツ」

と鐵砲彌太が叫んだ。威しだつたのだらう——が、その聲を聞くと、二挺の駕籠は、それツとばかり、あわてゝ走り出した。

「待てツ、待たぬか。待たぬと、ぶツ放すぞ」

彌太の右手はピストルをかまへてゐた。

駕籠は夢中で走る。

「をかしな事があるものだ。何だらう」

駕籠は走つて來た。

で、連中も足を止めて、待つた。

やがて、二十間足らずの處まで來ると、駕籠舁は肩を下ろした。すぐに、たれを上げて、若い女があらはれた。けばけばしい姿の、さいぜんの駕籠を出て歩いてゐた女らしかつた。

女は履物をはくと、裾もあらはに走り寄つた。それをながめてゐる一團の中から

「あツ」

と間宮一は叫んだ。

子供舞踊デー

大連舞踊研究所では來る四日午後一時から協和會館でコドモ舞踊デーを開催し、澤モリノが特別助演するが、會費十錢、女學生及び附添者は二十錢で當日のプログラムは左の如くである

▲小島のこさば田村初子、法貴…

雍子▲波止場のたそがれ山井滿喜子▲山は招く稲垣滿壽子▲なんなん菜の花小澤京子▲十五夜お月さん島根照▲緑の牧場小野京子▲雀のお宿早川マリア▲渡り鳥大政喜代子▲お馬のお鈴田村初子▲故郷の廢家大塚スミエ▲首ふり人形法貴雍子▲夢山井滿喜子▲卵と殿様小野京子▲沖の小島大政喜代子▲一寸法師島根照▲號外賣早川マリア▲カヘルさヘウタン小澤京子▲空は青空稲垣滿壽子、大政喜代子▲キユウピーチヤン早川マリア島根照▲道化師のセレナーデ稲垣滿壽子▲カバチナ澤モリノ▲柳の雨稲垣滿壽子▲ミヌエット（パデレスキー曲）澤モリノ▲麗しき朝稲垣滿壽子、小野京子、大政喜代子、山井滿喜子、大塚スミエ、早川マリア、島根照、田村初子、法貴雍子

帝國館は陣容を一新して解説部の櫻井滿右が中央映畫館に廻り中央映畫館の香川蘇華君が解説部主任として轉じ廣瀬純右と當分二人▲又中央映畫館の解説陣は近く内地から主任を迎へるまで瀬愛光右と櫻井右の二人▲宣傳部長は中央映畫館の瀧口良二君が兼務して一切の采配は安田支配人が振ることになつた▲三、四日兩日間中央映畫館では明菓寄贈の明治チヨコレート四千個を入場者に洩れなく贈呈する

本社特選 新棋戰（其二）

平香交　七段▲宮松敏三郎
平手番　先六段△飯塚勘一郎

（圖は四一玉迄の局面）

飯塚氏　持駒ナシ

（持駒 特ナシ　宮松氏）

△二四歩　▲同　歩
△同　飛　▲二三歩
△二六飛　▲七四歩
△三六歩　▲五三銀
△五七銀　▲六四銀
△四六銀　▲八六歩
△同　歩　▲同　飛

累計二十八手

【土居八段講評】 宮松君は後手の番だけに飛車の位置を決めてしまふことは味がないので七四歩以下暫時見合せて銀を繰り出し攻勢的の方針を立てたのは巧妙な指し振りである、尚又八六歩突の處は七五歩、同歩、同銀、二三角成、同銀、八八銀、八六歩、同歩、同銀、八七歩、四四角、二八飛、八七銀、同銀、九九角成と烈しく且つ面白い攻め筋もあるが、その時敵に八四歩と打たれて後がれると後手方は攻撃を繼續することが困難である。

【萩原六段解説】 飯塚氏の二四歩は何れ交換する處で飛車の位置が定まつても以下先手の常套手段たる二六飛の浮飛車の作戰のもとに二四歩と指したのである宮松氏の七四歩は此處で敵と對抗して八六歩と飛車先を切るのも順であるが、何時でも飛車先は切れるのと何れ七四歩は指すべき順であるので敵の模様を見るのと飛車の位置を八四飛又は八二飛の何れかに殘して七四歩と指したのである、飯塚氏の三六歩は此處で一六歩と突くと敵に八六歩と突かれ同歩、同飛、八七歩、八四飛と指されると一六歩の一手の爲め先手後手が逆になり後手に先手を取られる恐れがあるので敵が八六歩と突かす飛車の位置が未定の時はこの三六歩の順が正しい